

第3回みえ県民意識調査

集計結果 報告書

平成26年4月

三重県戦略企画部

目次

調査の概要.....	1
1 . 調査の目的.....	1
2 . 調査の概要.....	1
3 . 調査の内容.....	1
4 . 回収結果.....	1
5 . 報告書の見方.....	2
6 . 回答者の属性.....	3
集計結果.....	5
1 . 幸福感.....	5
2 . 地域や社会の状況についての実感.....	13
3 . 生活や仕事のこと.....	49
4 . 地域や社会とのつながり.....	61
5 . 家族や精神的なゆとり.....	79
その他.....	95

調査の概要

1. 調査の目的

県では、「みえ県民力ビジョン」において「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げており、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。第3回調査の概要は以下のとおりです。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 三重県全域
- (2) 調査対象 県内居住の20歳以上の男女
- (3) 標本数 10,000人
- (4) 抽出方法 各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
- (5) 調査方法 郵送による発送・回収
- (6) 調査期間 平成26年1月～平成26年2月
- (7) 調査主体 三重県戦略企画部戦略企画総務課
- (8) 調査委託機関 株式会社スクエア三重事業所(調査対象者の抽出及び調査票等発送業務)
有限会社NEXT2000(調査票のデータ入力業務)
集計作業は戦略企画総務課で実施しました。

3. 調査の内容

下記の6つの調査項目により構成しています。

- (1) 幸福感
- (2) 地域や社会の状況についての実感
- (3) 生活や仕事のこと
- (4) 地域や社会とのつながり
- (5) 家族や精神的なゆとり
- (6) 自由意見 (質問総数53問)

4. 回収結果

- (1) 標本数 10,000人
- (2) 実回収総数 5,467人(回収率 54.7%)
- (3) 有効回答数 5,456人(有効回答率 54.6%)
- (4) 無効回答数 11人

図表1-4-1 有効回答率の推移

	調査時期	有効回答率
第3回(今回)	平成26年1月～2月	54.6%
第2回(前回)	平成25年1月～2月	54.3%
第1回	平成24年1月～2月	57.1%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

居住地域	市町	標本数	有効回答数	有効回答率 (%)	構成比 (%)
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、 亀山市、いなべ市、木曽岬町、 東員町、菰野町、朝日町、 川越町	4,471	2,445	54.7	44.8
伊賀地域	名張市、伊賀市	961	536	55.8	9.8
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、 大台町	2,704	1,516	56.1	27.8
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、 玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町	1,424	738	51.8	13.5
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、 御浜町、紀宝町	440	221	50.2	4.1
合計		10,000	5,456	54.6	100.0

5 . 報告書の見方

- (1) 報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数 (= 有効回答数) を表しています。
- (2) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100% にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数 (n) で割った比率となっており、比率の合計は通常 100% を超えます。
- (4) 図表の見出しや回答の選択肢の表現では、スペース等の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。
- (5) スペースの関係で、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。
- (6) 属性項目間の比較で大きな差が見られない属性や第2回調査から大きな変化が見られない属性等については、記述を省略しています。
- (7) サンプル数 (n) が 50 未満の属性項目、世帯類型の「その他」、世帯収入の「わからない」の属性項目については、原則として記述を省略しています。

6. 回答者の属性

(1) 集計する際の基本的な属性は、地域、性別、年齢（10歳階級）、主な職業、配偶関係、世帯類型、世帯収入の7つとしています。

(2) 世帯収入について、前回調査では本人収入を質問していることから、前回調査との比較はできません。

(3) 回答者属性の構成比について、前回調査との差における主な特徴は次の通りです。

- ・地域別では、「北勢」、「東紀州」の割合が前回調査より高く、「伊賀地域」と「中南勢」、「伊勢志摩地域」は低くなっています。

- ・性別では、「男性」の割合が前回調査より低い一方で「女性」が高くなっており、男女間の差が大きくなっています。

- ・年齢別では、「20歳代」と「40歳代」、「50歳代」の割合が前回調査より高く、「30歳代」、「60歳代」、「70歳以上」は低くなっています。

- ・主な職業別では、「企業、役所、団体などの正規職員」や「パート・アルバイト・派遣社員など」、「その他の職業」、「学生」、「専業主婦・主夫」の割合が前回調査より高く、「自営業、自由業」、「無職」が低くなっています。

- ・配偶関係別では、「不明」の割合が前回調査より低く、「未婚」、「有配偶」、「離別・死別」はいずれも高くなっています。

- ・世帯類型別では、「一世代世帯」、「二世帯世帯」、「三世帯世帯」の割合が前回調査より高く、「単独世帯」、「その他世帯」が低くなっています。

前回調査の世帯類型は同居家族の回答の組み合わせにより判断しています。（詳細は97ページ）

図表 1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比(%)		(前回差)
			今回	前回	
地域	北勢	2,445	44.8	44.1	(0.7)
	伊賀	536	9.8	10.3	(-0.5)
	中南勢	1,516	27.8	27.9	(-0.1)
	伊勢志摩	738	13.5	13.8	(-0.3)
	東紀州	221	4.1	3.9	(0.2)
性別	男性	2,346	43.0	44.9	(-1.9)
	女性	3,045	55.8	52.8	(3.0)
	不明	65	1.2	2.2	(-1.0)
年齢	20歳代	379	6.9	5.9	(1.0)
	30歳代	658	12.1	12.3	(-0.2)
	40歳代	946	17.3	15.9	(1.4)
	50歳代	994	18.2	17.2	(1.0)
	60歳代	1,239	22.7	23.8	(-1.1)
	70歳以上	1,157	21.2	23.1	(-1.9)
	不明	83	1.5	1.8	(-0.3)
主な職業	農林水産業	174	3.2	3.2	(0.0)
	自営業・自由業	507	9.3	9.6	(-0.3)
	正規職員	1,374	25.2	25.0	(0.2)
	パート・アルバイト・派遣	1,028	18.8	17.9	(0.9)
	その他の職業	273	5.0	3.8	(1.2)
	学生	75	1.4	1.3	(0.1)
	専業主婦・主夫	792	14.5	13.7	(0.8)
	無職	1,094	20.1	22.8	(-2.7)
	不明	139	2.5	2.8	(-0.3)
配偶関係	未婚	707	13.0	11.7	(1.3)
	有配偶	3,959	72.6	72.4	(0.2)
	離別・死別	583	10.7	9.4	(1.3)
	不明	207	3.8	6.6	(-2.8)
世帯類型	単独世帯	394	7.2	7.6	(-0.4)
	一世代世帯	1,685	30.9	27.1	(3.8)
	二世帯世帯	2,448	44.9	43.7	(1.2)
	三世帯世帯	752	13.8	13.5	(0.3)
	その他世帯	83	1.5	5.6	(-4.1)
	不明	94	1.7	2.4	(-0.7)
世帯収入	～100万円未満	227	4.2	-	-
	～200万円未満	544	10.0	-	-
	～300万円未満	867	15.9	-	-
	～400万円未満	731	13.4	-	-
	～500万円未満	597	10.9	-	-
	～600万円未満	531	9.7	-	-
	～800万円未満	645	11.8	-	-
	～1,000万円未満	449	8.2	-	-
	1,000万円以上	410	7.5	-	-
	わからない	328	6.0	-	-
	不明	127	2.3	-	-
有効回答数	5,456	100.0	100.0		

集計結果

1. 幸福感

問1-1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけで囲んでください。
(は1つだけ)

➤ 日ごろ感じている幸福感

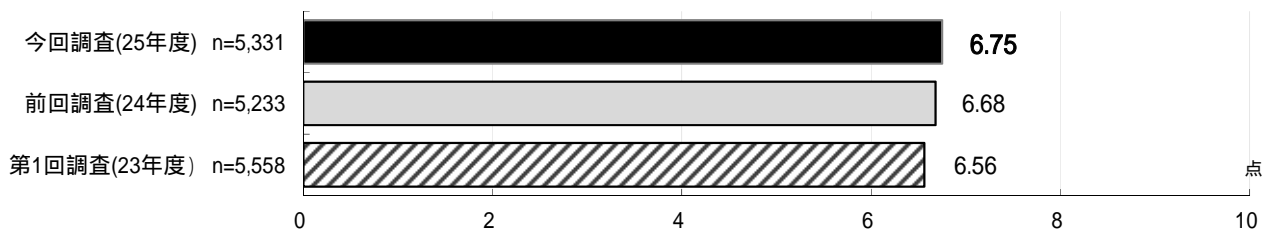
県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下、「幸福感」と記載）について10点満点で質問したところ、平均値は6.75点で、前回調査より0.07点、第1回調査より0.19点それぞれ高くなっています。

点数の分布をみると、「8点」の割合が24.2%と最も高く、次いで「7点」(18.3%)「5点」(18.1%)となっており、M字型となっています。

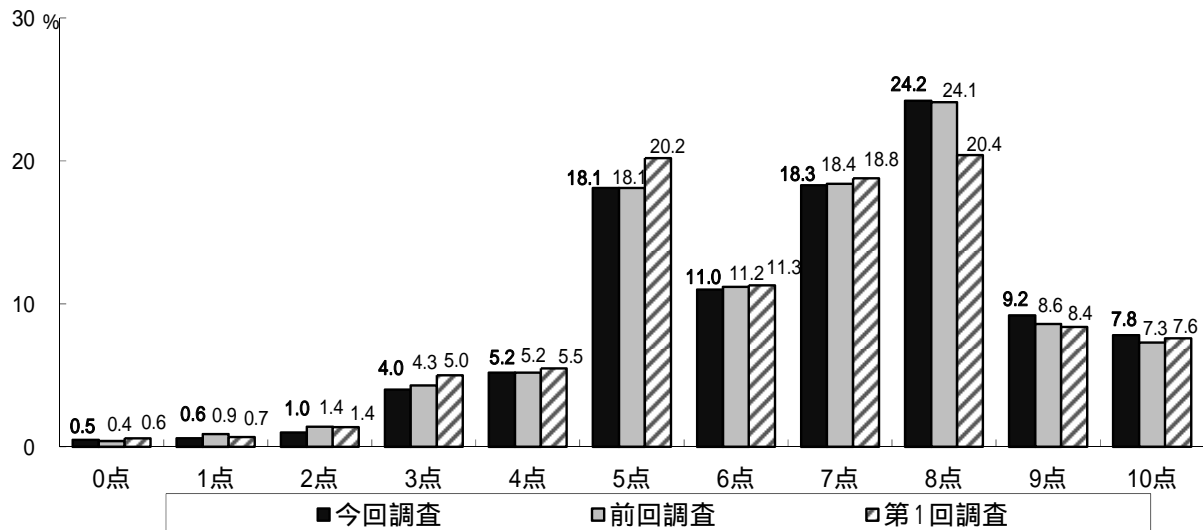
前回調査と比べると、「9点」の割合が0.6ポイント、「10点」の割合が0.5ポイントそれぞれ高く、「1点」から「3点」の割合がそれぞれ0.3ないし0.4ポイント低くなっています。

第1回調査と比べると、「8点」の割合が3.8ポイント高く、「5点」の割合が2.1ポイント低くなっています。

図表 2-1-1 日ごろ感じている幸福感の平均値



図表 2-1-2 日ごろ感じている幸福感の分布



➤ 日ごろ感じている幸福感（属性別特徴）

地域別で幸福感平均値を見ると、北勢が6.84点で最も高く、次いで中南勢、伊賀の順となっています。前回調査と比較すると、伊勢志摩で0.14点、北勢で0.12点それぞれ高く、東紀州で0.33点低くなっています。

性別で幸福感平均値を見ると、女性が6.93点で男性の6.52点より0.41点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は0.05点、女性は0.07点それぞれ高くなっています。

年齢（10歳階級）別で幸福感平均値を見ると、30歳代が6.98点で最も高くなっています。前回調査と比較すると、30歳代を除く全ての年齢階級で高くなっており、20歳代で0.16点、70歳以上で0.15点それぞれ高くなっています。

主な職業別で幸福感平均値を見ると、専業主婦・主夫が7.15点で最も高く、次いで農林水産業、正規職員の順となっています。前回調査と比較すると、パート・アルバイト・派遣社員が0.18点、農林水産業が0.14点、無職が0.10点それぞれ高く、自営業・自由業が0.10点低くなっています。

配偶関係別で幸福感平均値を見ると、有配偶が6.94点で最も高く、次いで離別・死別が6.23点、未婚が6.11点となっています。前回調査と比較すると、未婚で0.41点、離別・死別で0.25点それぞれ高くなっています。

世帯類型別で幸福感平均値を見ると、三世代世帯が6.92点で最も高く、次いで一世代世帯、二世帯世帯の順となっています。単独世帯は5.95点で最も低くなっています。前回調査と比較すると、三世代世帯で0.17点、一世代世帯で0.12点それぞれ高くなっています。

世帯収入別では、世帯収入の階層が高いほど幸福感平均値が高くなっています。

図表 2-1-3 日ごろ感じている幸福感の平均値(属性項目別)

	今回 点	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
合計	6.75	(0.07)	<0.19>
地域			
北勢	6.84	(0.12)	<0.20>
伊賀	6.65	(-0.01)	<0.14>
中南勢	6.75	(0.04)	<0.21>
伊勢志摩	6.60	(0.14)	<0.19>
東紀州	6.37	(-0.33)	<-0.10>
性別			
男性	6.52	(0.05)	<0.20>
女性	6.93	(0.07)	<0.13>
年齢			
20歳代	6.69	(0.16)	<0.15>
30歳代	6.98	(-0.06)	<0.13>
40歳代	6.79	(0.13)	<0.22>
50歳代	6.61	(0.03)	<0.11>
60歳代	6.69	(0.05)	<0.20>
70歳以上	6.80	(0.15)	<0.25>
主な職業			
農林水産業	6.93	(0.14)	<0.43>
自営業・自由業	6.74	(-0.10)	<0.09>
正規職員	6.80	(0.08)	<0.11>
パート・アルバイト・派遣	6.67	(0.18)	<0.28>
その他の職業	6.66	(-0.06)	<-0.01>
学生	6.79	(-0.04)	<0.21>
専業主婦・主夫	7.15	(-0.02)	<0.11>
無職	6.49	(0.10)	<0.26>
配偶関係			
未婚	6.11	(0.41)	<0.34>
有配偶	6.94	(0.01)	<0.16>
離別・死別	6.23	(0.25)	<0.13>
世帯類型			
単独世帯	5.95	(0.02)	<-0.04>
一世代世帯	6.91	(0.12)	<0.17>
二世帯世帯	6.73	(-0.01)	<0.23>
三世帯世帯	6.92	(0.17)	<0.10>
世帯収入			
~100万円未満	5.85	(-)	<->
~200万円未満	6.08	(-)	<->
~300万円未満	6.32	(-)	<->
~400万円未満	6.78	(-)	<->
~500万円未満	6.91	(-)	<->
~600万円未満	6.92	(-)	<->
~800万円未満	7.16	(-)	<->
~1,000万円未満	7.41	(-)	<->
1,000万円以上	7.41	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

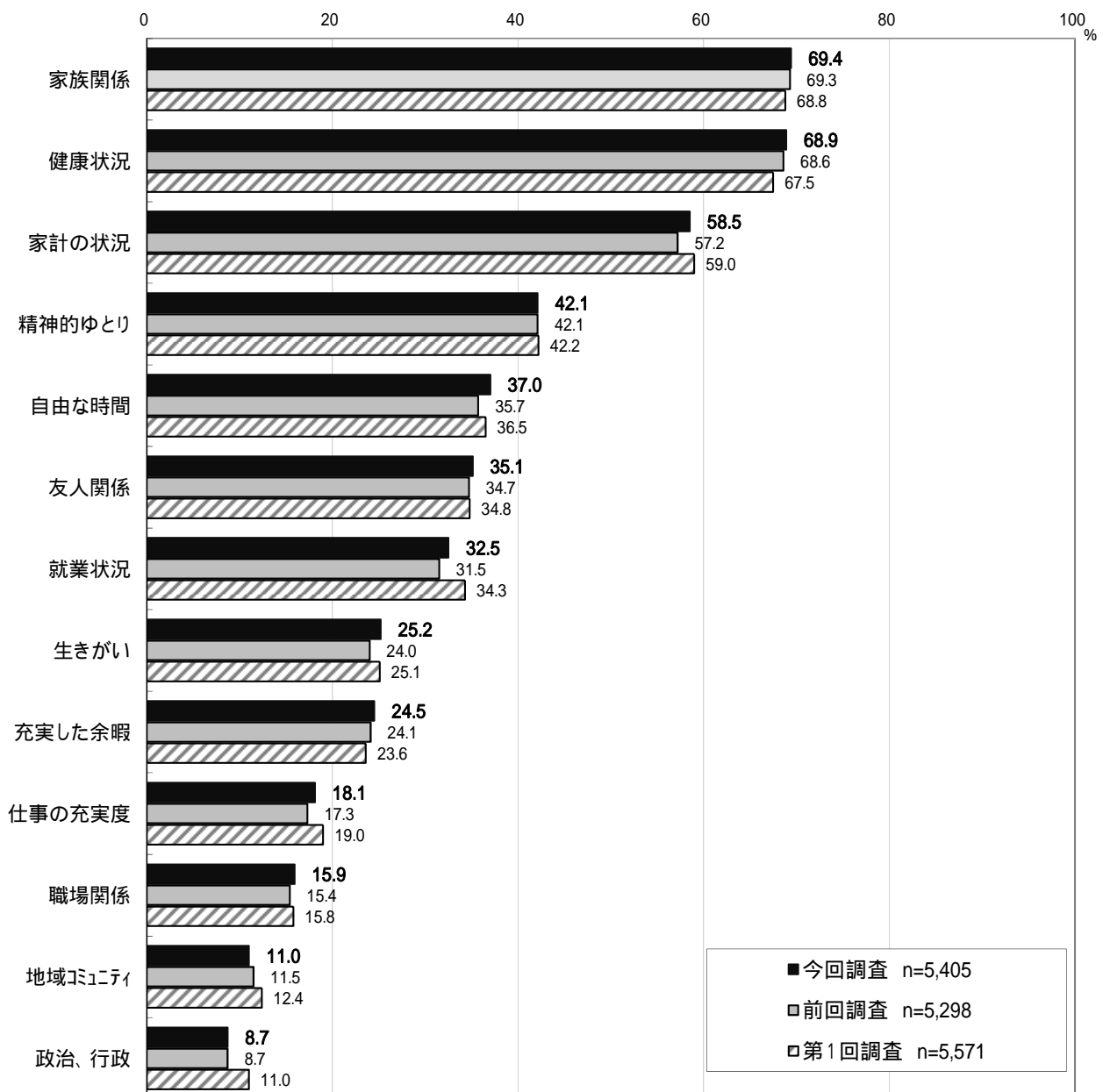
問1 - 2 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてにをつけてください。(はいいくつでも)

➤ 幸福感を判断する際に重視した事項

幸福感を判断する際に重視した事項は「家族関係」の割合が69.4%で最も高く、次いで「健康状況」(68.9%)、「家計の状況(所得・消費)」(58.5%)となっています。

前回調査と比較すると、前回9位の「生きがい」が8位に、同8位の「充実した余暇」が9位になったものの、順位に大きな変動はありません。

図表 2-1-4 幸福感を判断する際に重視した事項(複数回答)



➤ 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別特徴）

図表 2-1-5 幸福感を判断する際に重視した事項
(全体の上位6項目の属性別)

地域別では、北勢と中南勢は「家族関係」が、伊賀と伊勢志摩、東紀州では「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

性別では、男性は「健康状況」が、女性は「家族関係」が最も高くなっています。

年齢（10歳階級）別では、20歳代から40歳代までは「家族関係」、「健康状況」の順に高く、50歳代以上は「健康状況」、「家族関係」の順に高くなっています。

主な職業別では、正規職員、パート・アルバイト・派遣、専業主婦・主夫は「家族関係」が最も高く、農林水産業、自営業・自由業、その他の職業、及び無職は「健康状況」が最も高くなっています。

学生は「友人関係」が最も高くなっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族関係」が、未婚と離別・死別では「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯類型別では、二世帯世帯と三世帯世帯は「家族関係」が、単独世帯と一世帯世帯は「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯収入別では、400万円未満の層は「健康状況」が最も高く、400万円以上の層では「家族関係」が最も高くなっています。

100万円未満の層は「自由な時間」が3位となっています。

1,000万円以上の層では「家計の状況」が2位となっています。

	家族関係	健康状況	家計の状況	精神的ゆとり	自由な時間	友人関係	
全体	69.4	68.9	58.5	42.1	37.0	35.1	
地域	北勢	71.2	68.6	59.4	43.4	37.3	36.6
	伊賀	65.0	69.9	59.4	38.1	35.4	32.0
	中南勢	69.3	68.8	60.4	42.6	37.6	35.4
	伊勢志摩	68.3	69.3	54.0	42.6	37.0	33.3
	東紀州	63.5	68.9	48.9	32.4	32.4	29.2
性別	男性	65.0	67.6	59.7	39.2	35.1	27.5
	女性	72.9	70.0	57.8	44.4	38.3	40.9
年齢	20歳代	64.8	57.4	50.0	48.9	43.4	53.4
	30歳代	72.9	61.8	59.5	41.1	33.0	37.4
	40歳代	74.9	69.3	67.2	42.5	29.4	30.5
	50歳代	71.1	73.7	68.1	43.5	27.6	28.6
	60歳代	67.2	71.3	57.6	42.7	39.1	31.3
	70歳以上	65.7	70.3	47.0	38.1	49.0	40.9
主な職業	農林水産業	63.9	68.6	54.4	34.9	39.6	34.3
	自営業・自由業	65.0	70.4	61.4	44.6	33.6	32.2
	正規職員	70.0	68.1	63.4	39.7	29.7	31.3
	パート・バイト・派遣	72.6	71.5	58.4	43.6	32.9	36.1
	その他の職業	63.1	66.8	56.8	42.4	30.3	33.6
	学生	70.7	57.3	45.3	48.0	42.7	77.3
	専業主婦・主夫	78.2	69.2	63.1	47.0	42.2	40.3
配偶関係	無職	64.4	68.4	51.6	40.1	49.6	34.8
	未婚	53.2	60.9	52.6	44.5	43.2	43.9
	有配偶	73.7	70.3	62.2	41.8	34.8	33.1
	離別・死別	60.2	68.6	48.4	43.8	42.7	36.1
世帯類型	単独世帯	47.6	65.7	44.8	44.0	43.2	38.6
	一世帯世帯	69.3	70.1	59.2	42.6	40.5	36.7
	二世帯世帯	71.9	69.5	61.7	41.2	33.9	33.4
	三世帯世帯	74.0	66.7	57.7	44.2	34.4	34.5
世帯収入	100万円未満	59.6	61.0	36.7	35.3	39.0	35.8
	～200万円未満	56.2	63.6	45.7	38.2	38.4	30.6
	～300万円未満	63.7	70.4	54.0	42.6	40.7	30.8
	～400万円未満	67.2	69.4	60.9	41.6	38.5	35.7
	～500万円未満	72.1	67.8	62.1	45.6	34.6	36.4
	～600万円未満	72.2	67.5	63.3	42.2	35.2	34.6
	～800万円未満	76.7	74.7	68.5	44.9	33.1	35.4
	～1,000万円未満	80.8	74.2	69.9	40.5	32.3	36.7
	1,000万円以上	78.4	69.4	74.5	46.8	31.6	37.5

凡例： **第1位** 第2位 第3位

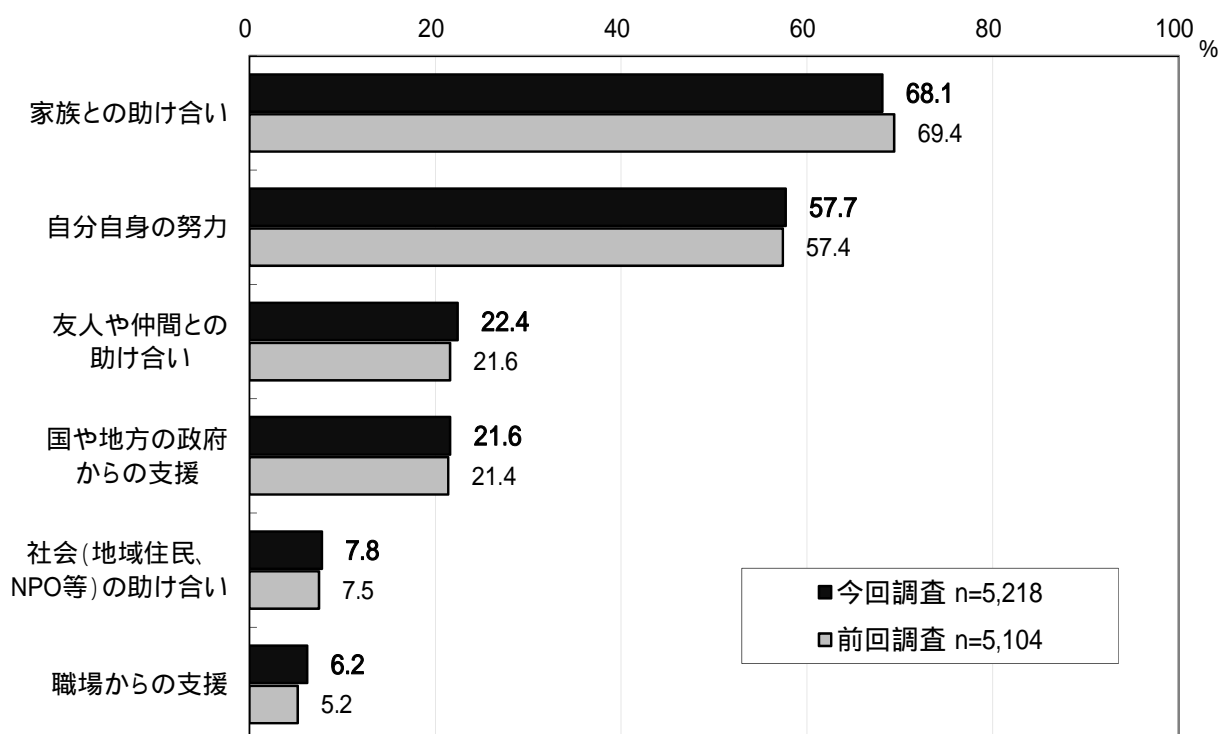
問1 - 3 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものに2つまでをつけてください。(は2つまで)

➤ 幸福感を高める手立て

幸福感を高める手立てについては、「家族との助け合い」が68.1%と最も高く、次いで「自分自身の努力」(57.7%)、「友人や仲間との助け合い」(22.4%)となっています。

前回調査との比較では、「家族との助け合い」が1.3ポイント低くなった一方、「職場からの支援」が1.0ポイント、「友人や仲間との助け合い」が0.8ポイントそれぞれ高くなっていますが、順位に変動はありません。

図表 2-1-6 幸福感を高める手立て(2つまでの複数回答)



➤ 幸福感を高める手立て（属性別特徴）

図表 2-1-7 幸福感を高める手立て（属性別）

地域別では順位の差はありません。

性別では、男女とも「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高く、3位は男性が「国や地方の政府からの支援」、女性は「友人や仲間との助け合い」となっています。

年齢（10歳階級）別では、30歳以上では「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

30歳代から60歳代までの3位は「国や地方の政府からの支援」となっています。

20歳代は「自分自身の努力」の割合が最も高くなっています。

主な職業別に見ると、学生を除く全ての職業で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

3位は農林水産業、自営業・自由業、専業主婦・主夫、無職は「友人や仲間との助け合い」で、正規職員とパート・バイト派遣、その他の職業は「国や地方の政府からの支援」となっています。

学生は「友人や仲間との助け合い」、「自分自身の努力」の順となっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族との助け合い」が最も高く、未婚と離別・死別は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯収入別では、いずれの層においても「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

	い家族との助け合い	自分自身の努力	助友人や仲間との	か国や地方の政府からの支援	の民社、NPO（地域等住）の助け合い	職場からの支援	
全体	68.1	57.7	22.4	21.6	7.8	6.2	
地域	北勢	67.9	58.7	21.7	20.9	7.6	6.3
	伊賀	67.6	55.0	23.1	22.1	9.7	8.0
	中南勢	67.3	58.1	23.0	22.2	8.2	5.9
	伊勢志摩	70.2	56.2	23.0	22.4	6.3	5.2
	東紀州	69.2	55.1	23.4	21.5	7.9	7.0
性別	男性	64.4	60.1	18.4	24.2	9.0	7.6
	女性	70.9	55.9	25.5	19.8	6.9	5.3
年齢	20歳代	46.1	56.4	43.3	22.1	3.9	12.8
	30歳代	65.3	56.0	22.3	25.6	5.7	9.2
	40歳代	69.2	55.8	17.9	23.8	5.0	10.6
	50歳代	66.9	57.8	18.7	24.4	7.6	9.2
	60歳代	71.6	60.8	20.0	20.0	10.0	2.1
	70歳以上	73.2	57.7	25.3	16.9	10.5	0.8
主な職業	農林水産業	71.6	59.3	23.5	21.6	7.4	1.2
	自営業・自由業	68.4	65.7	19.6	19.2	6.6	3.7
	正規職員	63.2	58.5	21.4	21.7	6.4	13.6
	パート・バイト派遣	68.1	57.3	20.5	24.5	6.8	7.0
	その他の職業	61.8	56.0	20.8	25.1	4.6	13.9
	学生	42.0	55.1	63.8	17.4	4.3	4.3
	専業主婦・主夫	78.8	55.7	24.9	18.8	7.8	0.5
無職	69.2	55.8	22.4	21.2	11.8	0.7	
配偶関係	未婚	40.3	62.9	37.0	24.6	6.3	10.5
	有配偶	74.2	56.9	19.4	20.8	7.6	5.9
	離別・死別	57.6	59.8	24.9	25.5	10.9	4.2
世帯類型	単独世帯	40.6	64.5	36.1	23.9	9.5	6.4
	一世代世帯	73.4	58.8	20.0	20.0	7.7	4.9
	二世代世帯	68.2	56.5	21.2	22.2	7.8	7.6
	三世代世帯	70.7	56.6	24.1	22.5	7.5	4.9
世帯収入	100万円未満	64.5	50.7	28.4	22.7	10.0	3.8
	～200万円未満	58.7	56.7	20.5	29.2	10.5	4.1
	～300万円未満	66.9	58.9	20.7	23.6	8.8	3.7
	～400万円未満	69.0	55.6	22.6	23.9	8.1	6.5
	～500万円未満	70.2	57.1	24.4	21.6	7.0	5.6
	～600万円未満	65.7	57.8	24.3	22.7	7.9	8.3
	～800万円未満	73.1	57.3	20.0	21.0	5.6	8.4
	～1,000万円未満	73.8	60.4	23.5	15.7	6.2	8.4
1,000万円以上	72.0	65.4	18.1	13.0	8.4	7.6	

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

2. 地域や社会の状況についての実感

「地域や社会の状況についての実感」は、平成24年度に策定した「みえ県民カビジョン」で政策分野ごとに設定した16の「幸福実感指標」に対応した質問となっています。

「幸福実感指標」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

なお、「幸福実感指標」と関連する県の政策分野は以下のとおりです。

問2	幸福実感指標	関連する県の政策分野
(1)	災害等の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合	危機管理
(2)	必要な医療サービスが利用できていると感じる県民の割合	命を守る
(3)	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じる県民の割合	暮らしを守る
(4)	必要な福祉サービスが利用できていると感じる県民の割合	共生の福祉社会
(5)	身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じる県民の割合	環境を守る持続可能な社会
(6)	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合	人権の尊重と多様性を認め合う社会
(7)	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合	教育の充実
(8)	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	子どもの育ちと子育て
(9)	スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じる県民の割合	スポーツの推進
(10)	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合	地域との連携
(11)	文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができると感じる県民の割合	文化と学び
(12)	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合	農林水産業
(13)	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合	強じんて多様な産業
(14)	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合	雇用の確保
(15)	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じる県民の割合	世界に開かれた三重
(16)	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合	安心と活力を生み出す基盤

問2 次の(1)から(16)までの16の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(はそれぞれ1つずつ)

➤ 地域や社会の状況についての実感(16項目全体の集計結果)

項目毎の集計結果は16ページから47ページに記載

『実感している層』の割合

地域や社会の状況についての実感を聞いたところ、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した『実感している層』の割合は、「(12)三重県産の農林水産物を買いたい」が85.6%で最も高く、次いで「(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」(72.4%)、「(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(61.5%)の順となっています。

『実感していない層』の割合

「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した『実感していない層』の割合は「(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」が65.2%で最も高く、次いで「(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている」(60.3%)、「(1)災害等の危機への備えが進んでいる」(59.0%)の順となっています。

前回調査との比較

前回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは16項目のうち9項目で、増加幅が大きい順に「(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+11.8ポイント)、「(13)県内の産業活動が活発である」(+6.3ポイント)、「(7)子どものためになる教育が行われている」(+3.8ポイント)となっています。また低くなった7項目の減少幅は全て1ポイント未満となっています。

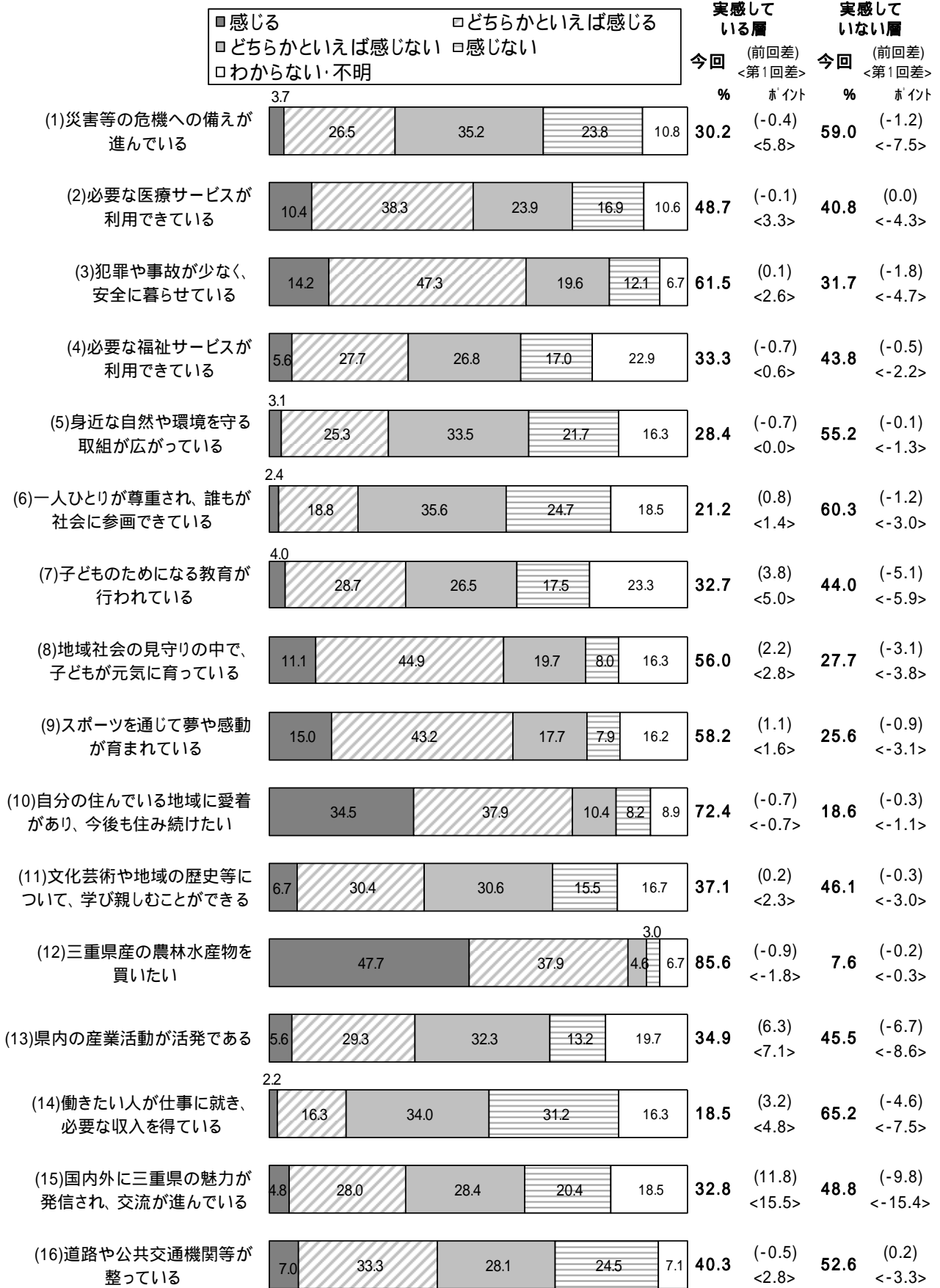
一方、『実感していない層』の割合は「(16)道路や公共交通機関等が整っている」(+0.2ポイント)を除いて前回調査と同率が低くなっており、減少幅が最も大きいのは「(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」のマイナス9.8ポイントとなっています。

第1回調査との比較

第1回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは16項目中13項目で、増加幅が大きい順に「(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(+15.5ポイント)、「(13)県内の産業活動が活発である」(+7.1ポイント)、「(1)災害等の危機への備えが進んでいる」(+5.8ポイント)となっています。

一方、『実感していない層』の割合は16項目全てで第1回調査より低くなっており、減少幅が大きい順に「(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(-15.4ポイント)、「(13)県内の産業活動が活発である」(-8.6ポイント)、「(1)災害等の危機への備えが進んでいる」(-7.5ポイント)及び「(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」(同)となっています。

図表 2-2-1 地域や社会の状況についての実感（一覧）



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

➤ 地域や社会の状況についての実感（項目毎の集計結果）

問2 - (1) 災害等の危機への備えが進んでいると感じますか。

（関連の政策分野：危機管理）

災害等の危機への備えが進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が30.2%で、『実感していない層』の割合（59.0%）より28.8ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感していない層』が3番目に高くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.4ポイント、『実感していない層』が1.2ポイントそれぞれ低く、「わからない・不明」が高くなっています。

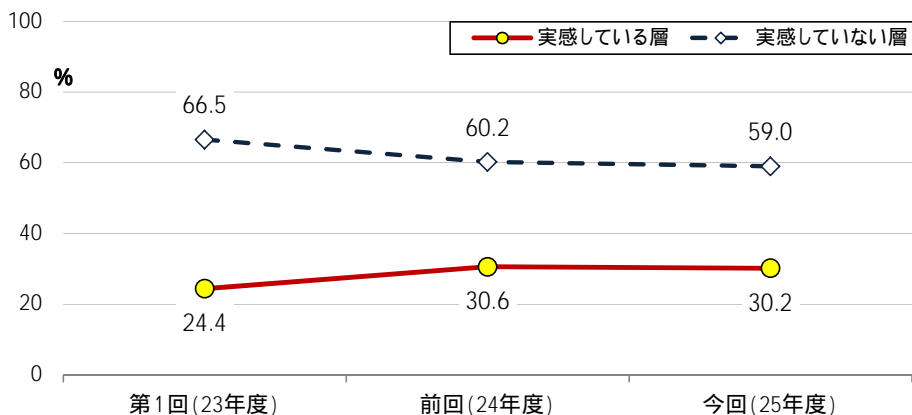
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が5.8ポイント高く、『実感していない層』は7.5ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ3番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・東紀州の『実感している層』は全体より9.2ポイント高い。
- ・20歳代の『実感していない層』は全体より6.2ポイント高い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より5.0ポイント低く、第1回調査からの変化（+0.7ポイント）は属性項目の中で最も小さい。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感していない層』は全体より18.9ポイント低い。

図表 2-2-2 災害等への危機への備えが進んでいる（第1回調査からの推移）



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-3 災害等の危機への備えが進んでいる(属性別)

						実感している層			実感していない層								
						今回	(前回差)	<第1回差>	今回	(前回差)	<第1回差>						
						%	ポイント	ポイント	%	ポイント	ポイント						
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> ■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明 </div>						全体	3.7	26.5	35.2	23.8	10.8	30.2	(-0.4)	<5.8>	59.0	(-1.2)	<-7.5>
地域																	
	北勢	3.4	25.9	36.2	23.7	10.7	29.3	(-0.2)	<6.4>	59.9	(-1.3)	<-9.2>					
	伊賀	3.2	24.8	36.2	23.9	12.0	28.0	(-1.3)	<3.5>	60.1	(-1.3)	<-4.4>					
	中南勢	4.1	26.5	35.9	23.7	9.8	30.6	(0.3)	<5.8>	59.6	(-1.3)	<-5.4>					
	伊勢志摩	3.1	28.0	30.6	26.0	12.2	31.1	(-2.0)	<5.2>	56.6	(-0.5)	<-7.6>					
	東紀州	7.7	31.7	31.2	19.5	10.0	39.4	(0.6)	<7.2>	50.7	(-1.7)	<-8.7>					
性別																	
	男性	3.6	26.0	34.4	27.6	8.5	29.6	(-0.3)	<6.7>	62.0	(-0.9)	<-8.4>					
	女性	3.8	27.1	36.0	21.1	12.1	30.9	(0.0)	<5.0>	57.1	(-1.4)	<-6.1>					
年齢																	
	20歳代	4.7	22.2	36.4	28.8	8.0	26.9	(1.0)	<6.2>	65.2	(-3.0)	<-6.2>					
	30歳代	3.0	26.6	33.4	28.1	8.8	29.6	(-0.3)	<7.3>	61.5	(-1.9)	<-8.9>					
	40歳代	2.4	27.9	38.7	23.4	7.6	30.3	(1.9)	<4.4>	62.1	(-3.3)	<-6.7>					
	50歳代	3.0	24.1	36.7	25.6	10.5	27.1	(-2.6)	<4.3>	62.3	(-2.0)	<-8.3>					
	60歳代	3.1	27.0	36.3	24.1	9.4	30.1	(-1.7)	<7.1>	60.4	(0.1)	<-6.5>					
	70歳以上	6.1	28.7	31.1	18.6	15.6	34.8	(2.2)	<5.9>	49.7	(-0.8)	<-8.0>					
主な職業																	
	農林水産業	5.2	31.0	35.6	19.5	8.6	36.2	(-5.5)	<6.1>	55.1	(4.9)	<-4.1>					
	自営業・自由業	3.7	25.6	33.9	27.6	9.0	29.3	(-6.0)	<3.6>	61.5	(2.5)	<-6.0>					
	正規職員	2.8	23.4	36.7	29.8	7.2	26.2	(-1.2)	<4.2>	66.5	(-1.9)	<-5.7>					
	パート・アルバイト・派遣	3.2	27.4	36.2	22.4	10.8	30.6	(-1.3)	<6.9>	58.6	(-0.4)	<-10.4>					
	その他の職業	2.4	26.4	32.2	28.9	10.3	28.6	(5.1)	<2.9>	61.1	(-3.3)	<-4.0>					
	学生	4.0	26.7	40.0	21.3	8.0	30.7	(5.7)	<4.7>	61.3	(-9.3)	<-3.7>					
	専業主婦・主夫	3.9	29.5	37.2	18.4	10.9	33.4	(1.9)	<8.7>	55.6	(-4.4)	<-8.0>					
	無職	4.7	27.7	32.4	20.7	14.5	32.4	(2.2)	<6.4>	53.1	(-2.2)	<-8.4>					
配偶関係																	
	未婚	3.4	22.5	34.4	28.9	10.9	25.9	(1.0)	<7.0>	63.3	(-2.9)	<-9.2>					
	有配偶	3.5	27.8	36.5	23.5	8.8	31.3	(-0.8)	<6.1>	60.0	(-0.6)	<-6.7>					
	離別・死別	5.0	24.2	31.2	22.3	17.3	29.2	(3.1)	<3.1>	53.5	(-3.9)	<-7.2>					
世帯類型																	
	単独世帯	4.6	20.6	31.0	24.4	19.5	25.2	(1.3)	<0.7>	55.4	(-4.3)	<-7.5>					
	一世代世帯	4.3	27.8	34.2	23.9	9.7	32.1	(-0.6)	<7.6>	58.1	(0.3)	<-9.0>					
	二世帯世帯	3.2	26.8	36.8	24.3	8.8	30.0	(-0.5)	<5.9>	61.1	(-0.6)	<-6.4>					
	三世帯世帯	3.3	27.8	36.3	23.3	9.3	31.1	(-0.6)	<5.2>	59.6	(-2.6)	<-5.8>					
世帯収入																	
	~100万円未満	7.0	29.1	22.5	17.6	23.8	36.1	(-)	<->	40.1	(-)	<->					
	~200万円未満	4.2	23.5	29.6	26.5	16.2	27.7	(-)	<->	56.1	(-)	<->					
	~300万円未満	3.6	27.5	34.5	23.6	10.9	31.1	(-)	<->	58.1	(-)	<->					
	~400万円未満	3.1	26.1	39.5	22.7	8.5	29.2	(-)	<->	62.2	(-)	<->					
	~500万円未満	3.2	26.6	39.4	24.0	6.9	29.8	(-)	<->	63.4	(-)	<->					
	~600万円未満	2.1	24.3	39.9	26.0	7.7	26.4	(-)	<->	65.9	(-)	<->					
	~800万円未満	3.7	27.9	35.2	25.7	7.4	31.6	(-)	<->	60.9	(-)	<->					
	~1,000万円未満	3.8	29.2	36.3	24.1	6.7	33.0	(-)	<->	60.4	(-)	<->					
	1,000万円以上	3.4	29.3	36.3	24.6	6.3	32.7	(-)	<->	60.9	(-)	<->					

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (2) 必要な医療サービスが利用できていると感じますか。

(関連の政策分野：命を守る)

必要な医療サービスが利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が48.7%で、『実感していない層』の割合(40.8%)より7.9ポイント高くなっています。

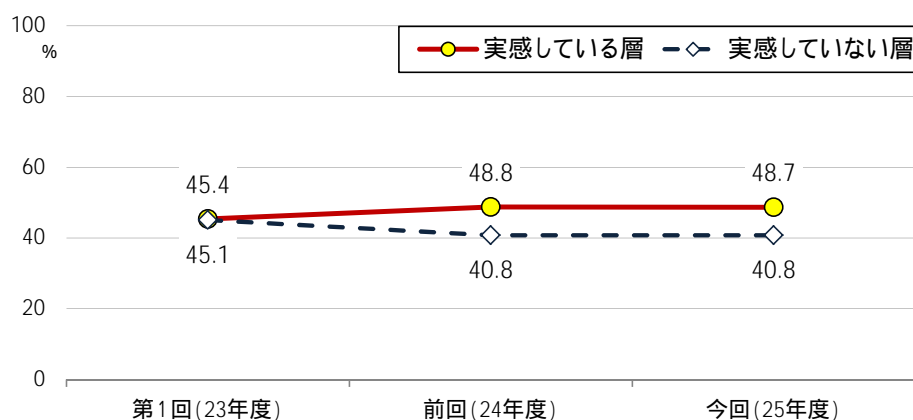
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』は0.1ポイント低く、『実感していない層』は同率となっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.3ポイント高く、『実感していない層』は4.3ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は全体より9.2ポイント低いものの、前回調査より6.3ポイント、第1回調査より10.1ポイントそれぞれ高い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より11.6ポイント低く、前回調査より6.4ポイント低い。
- ・40歳代の『実感している層』は全体より5.2ポイント低い。
- ・50歳代の『実感している層』は全体より9.5ポイント低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より10.0ポイント高い。
- ・パート・バイト・派遣社員の『実感している層』は全体より5.1ポイント低い。
- ・農林水産業、学生、無職の『実感している層』は全体よりそれぞれ9ポイント以上高い。

図表 2-2-4 必要な医療サービスが利用できている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-5 必要な医療サービスが利用できている(属性別)

	■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明					実感している層			実感していない層		
	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント					
全体	10.4	38.3	23.9	16.9	10.6	48.7	(-0.1)	<3.3>	40.8	(0.0)	<-4.3>
地域											
北勢	11.2	39.5	24.1	14.9	10.3	50.7	(0.8)	<2.6>	39.0	(-0.7)	<-3.9>
伊賀	7.8	31.7	26.5	24.6	9.3	39.5	(6.3)	<10.1>	51.1	(-4.4)	<-11.1>
中南勢	11.7	39.9	22.8	14.5	11.1	51.6	(-3.2)	<2.1>	37.3	(1.2)	<-3.1>
伊勢志摩	7.5	38.9	22.8	19.5	11.4	46.4	(-0.2)	<4.7>	42.3	(1.4)	<-6.5>
東紀州	9.0	28.1	25.8	27.6	9.5	37.1	(-6.4)	<0.1>	53.4	(7.6)	<2.1>
性別											
男性	11.3	39.4	24.1	17.2	8.0	50.7	(0.6)	<3.7>	41.3	(-0.6)	<-3.5>
女性	9.6	37.6	23.9	16.7	12.2	47.2	(-0.5)	<3.2>	40.6	(0.6)	<-5.3>
年齢											
20歳代	12.4	37.2	21.6	15.6	13.2	49.6	(-1.2)	<1.3>	37.2	(2.3)	<-5.2>
30歳代	9.9	40.3	22.0	18.1	9.7	50.2	(1.4)	<8.4>	40.1	(-2.9)	<-8.8>
40歳代	6.8	36.7	27.4	19.8	9.4	43.5	(1.9)	<3.6>	47.2	(-2.4)	<-4.8>
50歳代	5.1	34.1	28.3	22.7	9.7	39.2	(-1.3)	<-0.1>	51.0	(0.4)	<-1.9>
60歳代	9.7	40.6	24.1	16.0	9.6	50.3	(1.4)	<6.7>	40.1	(-0.7)	<-6.3>
70歳以上	18.2	40.5	19.4	10.1	11.7	58.7	(-1.2)	<0.9>	29.5	(2.0)	<-2.5>
主な職業											
農林水産業	15.5	42.5	19.5	13.8	8.6	58.0	(-6.6)	<5.4>	33.3	(3.6)	<-7.0>
自営業・自由業	11.8	33.3	27.2	17.2	10.4	45.1	(-2.8)	<-0.3>	44.4	(2.5)	<-1.7>
正規職員	8.0	37.3	27.4	18.6	8.7	45.3	(-0.3)	<0.9>	46.0	(-1.0)	<-2.0>
パート・アルバイト・派遣	5.7	37.9	26.5	18.1	11.8	43.6	(-0.3)	<6.6>	44.6	(0.3)	<-7.8>
その他の職業	7.7	35.5	23.4	26.7	6.6	43.2	(0.3)	<3.7>	50.1	(2.8)	<-2.5>
学生	12.0	49.3	13.3	14.7	10.7	61.3	(8.4)	<5.4>	28.0	(-8.8)	<-9.7>
専業主婦・主夫	10.2	39.5	22.9	16.2	11.2	49.7	(-0.3)	<3.6>	39.1	(0.2)	<-5.1>
無職	16.5	41.5	18.8	12.2	10.9	58.0	(2.7)	<5.7>	31.0	(-2.5)	<-6.3>
配偶関係											
未婚	9.5	35.9	22.8	17.0	14.9	45.4	(-0.6)	<4.3>	39.8	(0.1)	<-8.3>
有配偶	10.1	39.8	24.7	16.9	8.5	49.9	(0.2)	<3.8>	41.6	(-0.5)	<-3.8>
離別・死別	12.3	34.0	22.3	17.8	13.5	46.3	(0.3)	<-1.3>	40.1	(1.4)	<-2.1>
世帯類型											
単独世帯	10.2	36.0	23.9	13.7	16.2	46.2	(2.5)	<0.4>	37.6	(-4.0)	<-2.8>
一世代世帯	11.6	38.6	24.8	16.1	8.8	50.2	(-1.0)	<4.3>	40.9	(2.7)	<-4.0>
二世帯世帯	9.4	38.3	24.5	17.4	10.3	47.7	(-0.7)	<4.8>	41.9	(-0.3)	<-6.4>
三世帯世帯	10.0	40.4	21.4	18.4	9.8	50.4	(1.0)	<-3.0>	39.8	(-2.3)	<1.1>
世帯収入											
~100万円未満	15.0	32.2	19.8	15.0	18.1	47.2	(-)	<->	34.8	(-)	<->
~200万円未満	10.1	32.0	23.9	19.7	14.3	42.1	(-)	<->	43.6	(-)	<->
~300万円未満	10.8	39.2	24.2	16.1	9.6	50.0	(-)	<->	40.3	(-)	<->
~400万円未満	11.8	39.9	23.8	16.0	8.5	51.7	(-)	<->	39.8	(-)	<->
~500万円未満	7.4	43.0	24.3	17.6	7.7	50.4	(-)	<->	41.9	(-)	<->
~600万円未満	10.4	39.7	24.3	16.8	8.8	50.1	(-)	<->	41.1	(-)	<->
~800万円未満	7.9	38.4	25.7	17.7	10.3	46.3	(-)	<->	43.4	(-)	<->
~1,000万円未満	10.2	38.3	25.8	17.4	8.3	48.5	(-)	<->	43.2	(-)	<->
1,000万円以上	10.5	42.9	24.4	15.9	6.4	53.4	(-)	<->	40.3	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (3) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じますか。

(関連の政策分野：暮らしを守る)

犯罪や事故が少なく、安全に暮らせているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が61.5%で、『実感していない層』の割合(31.7%)より29.8ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が3番目に高くなっています。

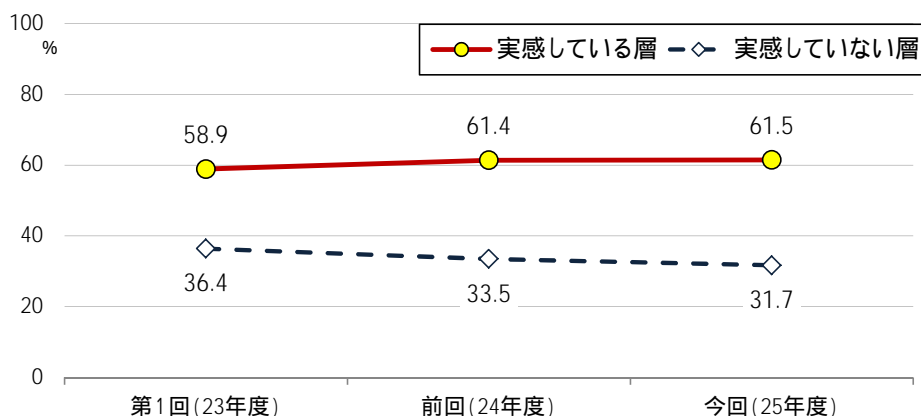
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.1ポイント高く、『実感していない層』は1.8ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.6ポイント高く、『実感していない層』は4.7ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感している層』は全体より5.1ポイント低い。
- ・伊勢志摩の『実感している層』は全体より9.3ポイント高く、前回調査より6.1ポイント高い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より13.1ポイント高い。
- ・20歳代の『実感していない層』は全体より7.6ポイント高い。
- ・世帯収入が100万円未満の層及び100万円以上200万円未満の層の『実感している層』は全体より7ポイント以上低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より11.2ポイント高い。

図表 2-2-6 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-7 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	14.2	47.3	19.6	12.1	6.7	61.5	(0.1)	<2.6>	31.7	(-1.8)	<-4.7>
地域											
北勢	12.3	44.1	22.7	14.2	6.7	56.4	(-3.6)	<0.2>	36.9	(1.1)	<-3.4>
伊賀	14.7	48.5	17.2	12.5	7.1	63.2	(0.2)	<1.3>	29.7	(-2.1)	<-3.0>
中南勢	14.6	48.2	20.0	11.0	6.2	62.8	(3.6)	<5.2>	31.0	(-4.5)	<-5.0>
伊勢志摩	16.9	53.9	14.0	8.9	6.2	70.8	(6.1)	<7.5>	22.9	(-4.3)	<-8.7>
東紀州	22.6	52.0	9.0	6.3	10.0	74.6	(-1.1)	<0.9>	15.3	(-4.8)	<-5.7>
性別											
男性	15.9	47.1	20.1	11.7	5.2	63.0	(0.5)	<2.5>	31.8	(-1.8)	<-3.9>
女性	13.0	47.6	19.3	12.5	7.6	60.6	(-0.3)	<2.9>	31.8	(-1.5)	<-5.1>
年齢											
20歳代	14.5	41.2	20.6	18.7	5.1	55.7	(-3.5)	<-6.1>	39.3	(1.3)	<3.8>
30歳代	11.7	47.6	22.3	13.5	4.9	59.3	(0.7)	<-1.3>	35.8	(-2.5)	<-1.1>
40歳代	10.1	47.7	23.7	14.0	4.5	57.8	(-3.3)	<-0.1>	37.7	(2.2)	<-2.2>
50歳代	11.4	51.2	19.6	12.1	5.7	62.6	(0.7)	<4.8>	31.7	(-2.4)	<-7.5>
60歳代	15.6	49.9	17.7	10.7	6.2	65.5	(2.9)	<6.9>	28.4	(-5.0)	<-7.8>
70歳以上	20.2	43.2	16.5	9.4	10.7	63.4	(0.9)	<3.9>	25.9	(-2.1)	<-5.7>
主な職業											
農林水産業	23.0	46.6	14.4	10.3	5.7	69.6	(-1.9)	<3.9>	24.7	(0.1)	<-1.1>
自営業・自由業	14.8	48.5	17.8	12.2	6.7	63.3	(1.1)	<3.8>	30.0	(-3.6)	<-6.9>
正規職員	12.8	48.0	21.8	12.7	4.6	60.8	(-0.1)	<-1.0>	34.5	(-1.8)	<-1.5>
パート・アルバイト・派遣	10.0	48.9	22.0	13.9	5.1	58.9	(-0.2)	<3.6>	35.9	(-1.3)	<-5.2>
その他の職業	11.0	49.5	18.3	15.0	6.2	60.5	(-4.3)	<-0.7>	33.3	(3.5)	<1.1>
学生	18.7	48.0	17.3	13.3	2.7	66.7	(0.5)	<5.6>	30.6	(-1.7)	<-5.8>
専業主婦・主夫	13.8	47.0	19.6	12.0	7.7	60.8	(-2.9)	<3.7>	31.6	(-0.5)	<-6.2>
無職	18.9	45.4	17.4	9.6	8.7	64.3	(3.6)	<5.7>	27.0	(-4.3)	<-7.2>
配偶関係											
未婚	14.7	44.3	22.2	11.7	7.1	59.0	(2.3)	<2.6>	33.9	(-3.9)	<-5.5>
有配偶	13.8	48.8	19.7	12.2	5.5	62.6	(-0.9)	<2.0>	31.9	(-1.0)	<-3.6>
離別・死別	15.4	47.0	17.5	12.5	7.5	62.4	(4.3)	<8.4>	30.0	(-2.6)	<-8.1>
世帯類型											
単独世帯	11.2	46.7	19.8	11.9	10.4	57.9	(-0.6)	<0.9>	31.7	(-1.1)	<-3.3>
一世代世帯	16.9	45.3	18.5	12.5	6.8	62.2	(-0.4)	<2.5>	31.0	(-1.3)	<-4.7>
二世帯世帯	12.7	48.7	21.2	12.2	5.3	61.4	(-0.2)	<2.9>	33.4	(-1.2)	<-4.0>
三世帯世帯	15.2	49.5	17.7	11.6	6.1	64.7	(1.7)	<3.5>	29.3	(-3.6)	<-5.6>
世帯収入											
~100万円未満	18.1	35.7	16.3	11.9	18.0	53.8	(-)	<->	28.2	(-)	<->
~200万円未満	13.1	41.0	18.2	16.7	11.0	54.1	(-)	<->	34.9	(-)	<->
~300万円未満	14.5	45.9	19.7	12.8	7.0	60.4	(-)	<->	32.5	(-)	<->
~400万円未満	17.0	46.6	19.2	12.7	4.5	63.6	(-)	<->	31.9	(-)	<->
~500万円未満	14.1	49.9	21.3	10.7	4.0	64.0	(-)	<->	32.0	(-)	<->
~600万円未満	13.6	51.6	20.2	10.0	4.7	65.2	(-)	<->	30.2	(-)	<->
~800万円未満	12.9	50.2	20.5	11.6	4.9	63.1	(-)	<->	32.1	(-)	<->
~1,000万円未満	11.8	53.0	19.6	11.1	4.5	64.8	(-)	<->	30.7	(-)	<->
1,000万円以上	12.9	59.8	16.6	8.3	2.4	72.7	(-)	<->	24.9	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (4) 必要な福祉サービスが利用できていると感じますか。

(関連の政策分野：共生の福祉社会)

必要な福祉サービスが利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が33.3%で、『実感していない層』の割合(43.8%)より10.5ポイント低くなっています。

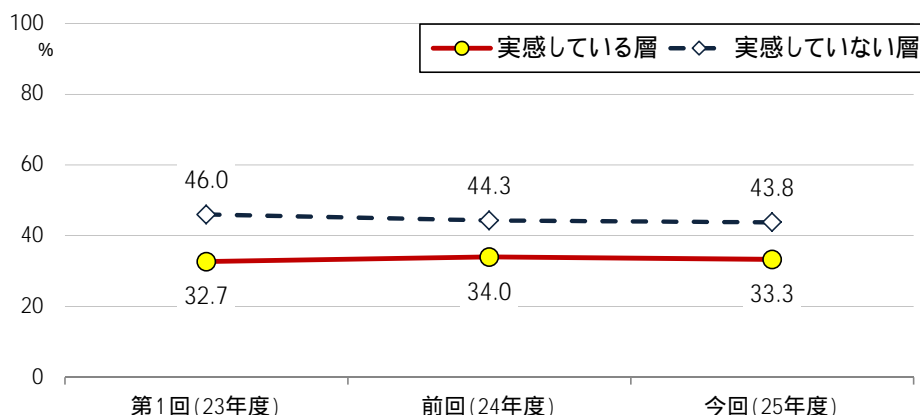
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.7ポイント、『実感していない層』が0.5ポイントそれぞれ低く、「わからない・不明」が高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.6ポイント高く、『実感していない層』は2.2ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感していない層』は全体より10.7ポイント低い。
- ・40歳代の『実感している層』は全体より8.0ポイント低く、年齢(10歳階級)別では最も低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より11.0ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は前回調査より12.3ポイント低い。
- ・正規職員の『実感していない層』は全体より5.8ポイント高い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より5.8ポイント低い。

図表 2-2-8 必要な福祉サービスが利用できている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-9 必要な福祉サービスが利用できている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	5.6	27.7	26.8	17.0	22.9	33.3	(-0.7)	<0.6>	43.8	(-0.5)	<-2.2>
地域											
北勢	5.2	26.3	27.9	17.4	23.2	31.5	(0.2)	<0.8>	45.3	(-1.6)	<-1.9>
伊賀	5.6	26.3	28.0	18.5	21.7	31.9	(0.8)	<-0.5>	46.5	(-1.2)	<0.0>
中南勢	5.9	27.7	26.0	17.3	23.1	33.6	(-2.2)	<-0.7>	43.3	(0.1)	<-1.8>
伊勢志摩	6.5	30.9	25.3	15.9	21.4	37.4	(-1.0)	<4.2>	41.2	(2.7)	<-4.1>
東紀州	5.4	34.8	22.2	10.9	26.7	40.2	(-3.7)	<-2.6>	33.1	(-1.0)	<-5.3>
性別											
男性	5.2	28.5	28.3	17.4	20.6	33.7	(-0.3)	<1.3>	45.7	(-2.1)	<-3.1>
女性	5.9	27.1	25.7	16.7	24.5	33.0	(-1.0)	<0.1>	42.4	(0.8)	<-1.3>
年齢											
20歳代	5.3	22.7	23.2	17.4	31.4	28.0	(-0.1)	<1.3>	40.6	(0.8)	<2.4>
30歳代	4.0	25.4	24.3	16.7	29.6	29.4	(2.5)	<0.9>	41.0	(-6.9)	<-3.9>
40歳代	3.6	21.7	30.3	20.4	24.0	25.3	(-1.3)	<1.3>	50.7	(0.1)	<-1.9>
50歳代	3.6	24.8	29.4	20.2	21.9	28.4	(-1.9)	<-1.8>	49.6	(-1.8)	<-2.4>
60歳代	4.8	32.4	26.8	16.1	19.9	37.2	(1.4)	<3.1>	42.9	(-1.6)	<-4.3>
70歳以上	10.9	33.4	24.8	12.4	18.6	44.3	(-1.4)	<0.9>	37.2	(3.4)	<-1.3>
主な職業											
農林水産業	8.0	33.9	25.3	10.9	21.8	41.9	(-12.3)	<-7.8>	36.2	(4.8)	<-0.4>
自営業・自由業	5.7	28.2	24.9	16.2	25.0	33.9	(-0.6)	<-1.7>	41.1	(-3.4)	<-2.4>
正規職員	3.9	24.5	30.1	19.5	21.9	28.4	(0.5)	<0.2>	49.6	(-3.5)	<-1.1>
パート・アルバイト・派遣	3.8	24.7	27.7	20.2	23.5	28.5	(0.2)	<0.8>	47.9	(1.3)	<-1.2>
その他の職業	1.8	23.4	29.3	21.2	24.2	25.2	(-3.6)	<-3.1>	50.5	(3.7)	<-0.1>
学生	4.0	22.7	17.3	17.3	38.7	26.7	(1.7)	<2.0>	34.6	(-3.7)	<-4.4>
専業主婦・主夫	6.7	30.1	26.5	12.8	24.0	36.8	(-0.4)	<3.7>	39.3	(0.9)	<-3.2>
無職	8.6	32.7	24.3	14.6	19.7	41.3	(-0.5)	<2.9>	38.9	(-0.1)	<-4.7>
配偶関係											
未婚	4.7	22.8	25.7	19.0	27.9	27.5	(0.2)	<1.2>	44.7	(-0.5)	<-3.0>
有配偶	4.9	28.8	27.7	16.6	21.9	33.7	(-1.4)	<-0.1>	44.3	(-0.5)	<-1.7>
離別・死別	8.1	28.5	24.5	18.0	20.9	36.6	(3.8)	<3.5>	42.5	(-1.3)	<-3.5>
世帯類型											
単独世帯	7.1	25.6	24.4	18.3	24.7	32.7	(4.2)	<3.5>	42.7	(-2.7)	<-4.1>
一世代世帯	5.9	27.8	26.5	16.4	23.4	33.7	(-3.6)	<1.6>	42.9	(1.6)	<-4.4>
二世帯世帯	4.5	27.5	28.3	17.4	22.3	32.0	(0.3)	<1.2>	45.7	(-0.1)	<-1.1>
三世帯世帯	7.0	29.7	25.4	16.8	21.2	36.7	(0.9)	<-3.6>	42.2	(-4.7)	<0.3>
世帯収入											
~100万円未満	11.0	21.1	19.8	16.7	31.3	32.1	(-)	<->	36.5	(-)	<->
~200万円未満	7.9	22.8	24.3	20.0	25.0	30.7	(-)	<->	44.3	(-)	<->
~300万円未満	4.4	31.7	28.6	17.0	18.4	36.1	(-)	<->	45.6	(-)	<->
~400万円未満	6.0	28.7	25.7	18.2	21.4	34.7	(-)	<->	43.9	(-)	<->
~500万円未満	5.0	29.6	28.3	14.9	22.1	34.6	(-)	<->	43.2	(-)	<->
~600万円未満	5.8	30.3	25.0	16.4	22.4	36.1	(-)	<->	41.4	(-)	<->
~800万円未満	2.3	27.6	28.7	17.7	23.8	29.9	(-)	<->	46.4	(-)	<->
~1,000万円未満	4.5	24.7	33.9	14.7	22.3	29.2	(-)	<->	48.6	(-)	<->
1,000万円以上	5.9	27.3	25.4	18.0	23.5	33.2	(-)	<->	43.4	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (5) 身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じますか。

(関連の政策分野：環境を守る持続可能な社会)

身近な自然や環境を守る取組が広がっているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が28.4%で、『実感していない層』の割合(55.2%)より26.8ポイント低くなっています。問2の16項目の中では、『実感している層』が3番目に低くなっています。

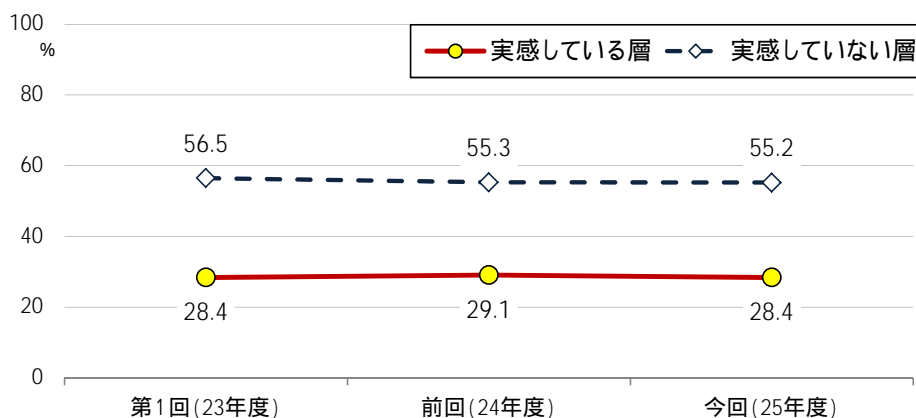
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.7ポイント、『実感していない層』が0.1ポイントそれぞれ低く、「わからない・不明」が高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』は同率で、『実感していない層』は1.3ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感していない層』は第1回調査より4.7ポイント高い。
- ・伊勢志摩の『実感していない層』は前回調査より6.5ポイント高い。
- ・東紀州の『実感していない層』は第1回調査より8.3ポイント低い。
- ・20歳代の『実感している層』は第1回調査より7.8ポイント低い。
- ・農林水産業の『実感している層』は前回調査より6.7ポイント低い。
- ・学生の『実感している層』は前回調査より6.7ポイント高い。

図表 2-2-10 身近な自然や環境を守る取組が広がっている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-11 身近な自然や環境を守る取組が広がっている(属性別)

	■感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	3.1	25.3	33.5	21.7	16.3	28.4	(-0.7)	<0.0>	55.2	(-0.1)	<-1.3>
地域											
北勢	3.1	25.7	33.2	21.8	16.3	28.8	(0.5)	<0.6>	55.0	(-2.4)	<-2.5>
伊賀	3.0	25.7	34.0	22.9	14.4	28.7	(0.2)	<-2.3>	56.9	(2.4)	<4.7>
中南勢	3.4	25.3	34.4	20.4	16.6	28.7	(0.4)	<0.5>	54.8	(-0.9)	<-1.9>
伊勢志摩	2.7	23.3	34.7	22.1	17.2	26.0	(-7.1)	<-1.5>	56.8	(6.5)	<1.5>
東紀州	4.1	27.6	25.8	25.3	17.2	31.7	(1.3)	<2.7>	51.1	(1.1)	<-8.3>
性別											
男性	3.1	25.7	35.1	23.1	13.0	28.8	(0.2)	<1.0>	58.2	(-1.9)	<-2.9>
女性	3.1	25.2	32.4	20.8	18.5	28.3	(-0.9)	<-0.8>	53.2	(1.3)	<0.5>
年齢											
20歳代	4.0	18.7	31.9	25.9	19.6	22.7	(-3.5)	<-7.8>	57.8	(2.9)	<5.2>
30歳代	2.6	26.9	30.4	23.4	16.7	29.5	(0.8)	<2.3>	53.8	(-3.5)	<-5.2>
40歳代	2.3	25.1	36.3	21.8	14.6	27.4	(-0.6)	<-1.4>	58.1	(-0.3)	<1.4>
50歳代	1.5	25.3	34.8	24.2	14.2	26.8	(-0.3)	<-2.4>	59.0	(-1.5)	<-0.7>
60歳代	2.8	25.2	35.8	22.9	13.3	28.0	(-0.2)	<1.0>	58.7	(1.6)	<-0.3>
70歳以上	5.5	27.4	30.6	15.7	20.7	32.9	(0.0)	<3.3>	46.3	(-1.1)	<-5.3>
主な職業											
農林水産業	6.9	27.0	30.5	21.3	14.4	33.9	(-6.7)	<-0.4>	51.8	(-0.8)	<-0.8>
自営業・自由業	4.1	24.1	31.2	24.1	16.5	28.2	(0.1)	<0.4>	55.3	(-4.0)	<-3.8>
正規職員	2.4	26.0	35.4	23.4	12.9	28.3	(0.5)	<-1.2>	58.8	(-2.4)	<-1.5>
パート・アルバイト・派遣	1.8	26.4	35.3	21.2	15.2	28.2	(1.0)	<1.4>	56.5	(-0.1)	<0.2>
その他の職業	2.2	19.4	33.7	31.9	12.8	21.6	(-3.8)	<-2.7>	65.6	(9.0)	<1.8>
学生	4.0	30.7	18.7	26.7	20.0	34.7	(6.7)	<2.2>	45.4	(-9.0)	<-1.4>
専業主婦・主夫	2.9	25.3	34.3	19.6	17.9	28.2	(-4.3)	<-1.0>	53.9	(3.3)	<0.5>
無職	4.6	25.1	33.4	17.8	19.1	29.7	(-0.3)	<1.6>	51.2	(0.2)	<-3.2>
配偶関係											
未婚	3.6	20.1	31.3	26.9	18.2	23.6	(-0.5)	<-3.7>	58.2	(-0.2)	<0.3>
有配偶	2.7	26.7	34.9	21.4	14.3	29.4	(-0.4)	<0.5>	56.3	(-0.3)	<-0.9>
離別・死別	5.3	24.7	30.5	18.2	21.3	30.0	(0.4)	<2.5>	48.7	(-1.8)	<-4.7>
世帯類型											
単独世帯	3.6	20.3	31.0	22.6	22.6	23.9	(-2.5)	<-1.7>	53.6	(2.6)	<-3.9>
一世代世帯	3.2	26.9	32.9	21.6	15.4	30.1	(-0.7)	<2.6>	54.5	(1.8)	<-3.9>
二世帯世帯	2.6	25.8	34.7	22.0	15.0	28.4	(0.6)	<0.1>	56.7	(-0.8)	<-0.2>
三世帯世帯	4.0	23.8	34.3	22.2	15.7	27.8	(-3.6)	<-5.1>	56.5	(-2.0)	<3.5>
世帯収入											
~100万円未満	5.7	24.2	23.3	19.8	26.9	29.9	(-)	<->	43.1	(-)	<->
~200万円未満	3.5	21.7	29.6	24.1	21.1	25.2	(-)	<->	53.7	(-)	<->
~300万円未満	2.8	25.3	35.2	21.9	14.9	28.1	(-)	<->	57.1	(-)	<->
~400万円未満	3.4	25.7	36.1	21.9	12.9	29.1	(-)	<->	58.0	(-)	<->
~500万円未満	2.8	27.8	37.0	20.8	11.6	30.6	(-)	<->	57.8	(-)	<->
~600万円未満	3.4	25.2	35.8	22.2	13.3	28.6	(-)	<->	58.0	(-)	<->
~800万円未満	2.5	26.7	32.2	23.7	14.9	29.2	(-)	<->	55.9	(-)	<->
~1,000万円未満	2.2	27.6	36.7	19.8	13.6	29.8	(-)	<->	56.5	(-)	<->
1,000万円以上	2.7	25.1	37.1	21.7	13.4	27.8	(-)	<->	58.8	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (6) 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じますか。
 (関連の政策分野：人権の尊重と多様性を認め合う社会)

一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が21.2%で、『実感していない層』の割合(60.3%)より39.1ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が2番目に低く、『実感していない層』が2番目に高くなっています。

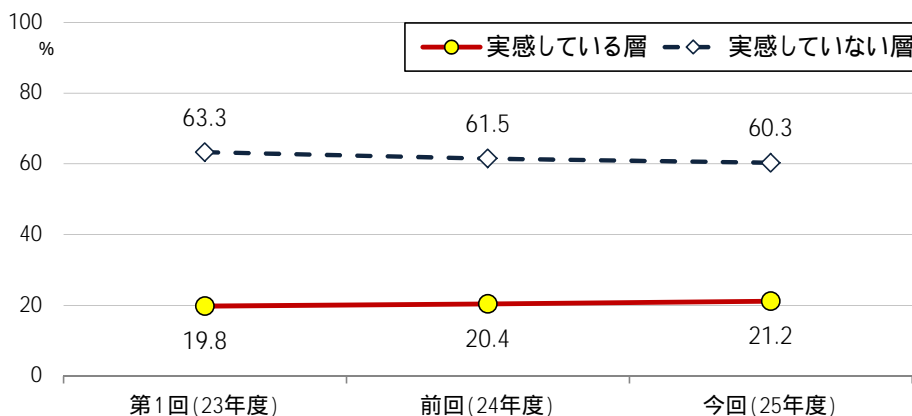
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.8ポイント高く、『実感していない層』は1.2ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.4ポイント高く、『実感していない層』は3.0ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感していない層』は第1回調査より2.6ポイント高い。
- ・東紀州の『実感していない層』は前回調査より4.1ポイント高い。
- ・50歳代の『実感していない層』は全体より7.0ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感していない層』は全体より12.2ポイント低く、『実感している層』及び「わからない・不明」の割合が高い。
- ・農林水産業と学生の『実感している層』は全体より10ポイント以上高い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感していない層』は全体より10.5ポイント低く、「わからない・不明」が11.9ポイント高い。

図表 2-2-12 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-13 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている(属性別)

	感じる				実感している層			実感していない層			
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	
全体	2.4	18.8	35.6	24.7	18.5	21.2	(0.8)	<-1.4>	60.3	(-1.2)	<-3.0>
地域											
北勢	2.2	19.7	33.6	25.6	18.9	21.9	(1.8)	<-2.7>	59.2	(-3.9)	<-5.7>
伊賀	2.6	18.7	36.4	27.2	15.1	21.3	(0.1)	<-1.5>	63.6	(3.3)	<-2.6>
中南勢	2.3	18.1	38.5	22.1	18.4	20.9	(-0.4)	<-0.2>	60.6	(-0.5)	<-1.6>
伊勢志摩	1.8	18.3	35.9	25.1	18.9	20.1	(1.7)	<-1.0>	61.0	(1.1)	<-1.1>
東紀州	2.7	16.3	34.8	24.9	21.3	19.0	(-2.5)	<0.3>	59.7	(4.1)	<-2.3>
性別											
男性	2.4	19.8	36.7	25.6	15.5	22.2	(0.7)	<-1.7>	62.3	(-2.5)	<-3.7>
女性	2.3	18.2	34.8	24.0	20.6	20.5	(1.6)	<-1.2>	58.8	(-0.7)	<-2.1>
年齢											
20歳代	2.1	19.8	28.2	33.8	16.1	21.9	(2.0)	<-3.1>	62.0	(-2.8)	<-1.1>
30歳代	1.2	18.1	34.8	27.2	18.7	19.3	(1.5)	<-1.3>	62.0	(-2.6)	<-4.1>
40歳代	1.7	17.4	36.8	25.2	18.9	19.1	(0.6)	<-3.4>	62.0	(-5.5)	<-7.8>
50歳代	1.3	16.5	38.8	28.5	14.9	17.8	(0.7)	<0.6>	67.3	(-1.2)	<-1.2>
60歳代	1.9	18.5	38.2	25.1	16.4	20.4	(1.2)	<-1.5>	63.3	(-1.1)	<-2.6>
70歳以上	5.2	23.2	32.3	15.8	23.5	28.4	(2.2)	<0.7>	48.1	(0.3)	<-1.9>
主な職業											
農林水産業	5.7	26.4	31.6	17.8	18.3	32.1	(-1.0)	<-2.5>	49.4	(-4.3)	<-4.1>
自営業・自由業	2.0	18.5	32.3	28.6	18.5	20.5	(0.7)	<-3.4>	60.9	(-2.8)	<-1.9>
正規職員	1.3	19.1	39.3	25.7	14.6	20.4	(0.8)	<-3.3>	65.0	(-2.5)	<-4.3>
パート・アルバイト・派遣	1.7	17.7	35.7	28.6	16.3	19.4	(1.5)	<-2.9>	64.3	(-1.1)	<-4.2>
その他の職業	1.1	16.8	32.6	32.2	17.2	17.9	(-3.0)	<0.1>	64.8	(5.7)	<-0.3>
学生	4.0	28.0	18.7	29.3	20.0	32.0	(10.0)	<8.6>	48.0	(-13.8)	<-7.9>
専業主婦・主夫	2.5	17.4	36.0	22.6	21.5	19.9	(-0.2)	<0.1>	58.6	(-0.7)	<-1.6>
無職	3.9	19.5	35.7	18.8	22.0	23.4	(2.0)	<-1.2>	54.5	(-1.1)	<-2.1>
配偶関係											
未婚	1.8	17.8	29.8	30.0	20.6	19.6	(3.1)	<-2.2>	59.8	(-5.6)	<-8.1>
有配偶	2.2	19.8	36.9	24.4	16.6	22.0	(0.7)	<-1.5>	61.3	(-1.2)	<-2.3>
離別・死別	3.6	14.8	37.7	22.5	21.4	18.4	(0.7)	<-1.2>	60.2	(3.7)	<-2.2>
世帯類型											
単独世帯	3.8	15.7	32.0	22.8	25.7	19.5	(2.3)	<-1.0>	54.8	(-3.9)	<-7.2>
一世代世帯	2.7	20.4	35.5	24.8	16.6	23.1	(1.0)	<-2.2>	60.3	(1.6)	<-2.2>
二世帯世帯	1.9	18.8	37.4	24.6	17.3	20.7	(1.5)	<-2.5>	62.0	(-2.1)	<-3.9>
三世帯世帯	2.5	18.5	34.4	25.8	18.7	21.0	(-0.8)	<-4.1>	60.2	(-5.3)	<-2.6>
世帯収入											
~100万円未満	6.6	13.2	25.6	24.2	30.4	19.8	(-)	<->	49.8	(-)	<->
~200万円未満	2.2	16.4	31.4	26.8	23.2	18.6	(-)	<->	58.2	(-)	<->
~300万円未満	2.0	19.6	38.4	23.1	17.0	21.6	(-)	<->	61.5	(-)	<->
~400万円未満	2.7	17.8	38.7	25.4	15.3	20.5	(-)	<->	64.1	(-)	<->
~500万円未満	1.7	24.1	35.7	24.0	14.5	25.8	(-)	<->	59.7	(-)	<->
~600万円未満	2.1	20.7	35.8	24.9	16.6	22.8	(-)	<->	60.7	(-)	<->
~800万円未満	1.7	17.1	38.3	27.0	15.9	18.8	(-)	<->	65.3	(-)	<->
~1,000万円未満	1.8	20.5	38.1	23.2	16.5	22.3	(-)	<->	61.3	(-)	<->
1,000万円以上	2.7	20.0	40.0	22.0	15.3	22.7	(-)	<->	62.0	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (7) 子どものためになる教育が行われていると感じますか。

(関連の政策分野：教育の充実)

子どものためになる教育が行われているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が32.7%で、『実感していない層』の割合(44.0%)より11.3ポイント低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.8ポイント高く、『実感していない層』が5.1ポイント低くなっています。

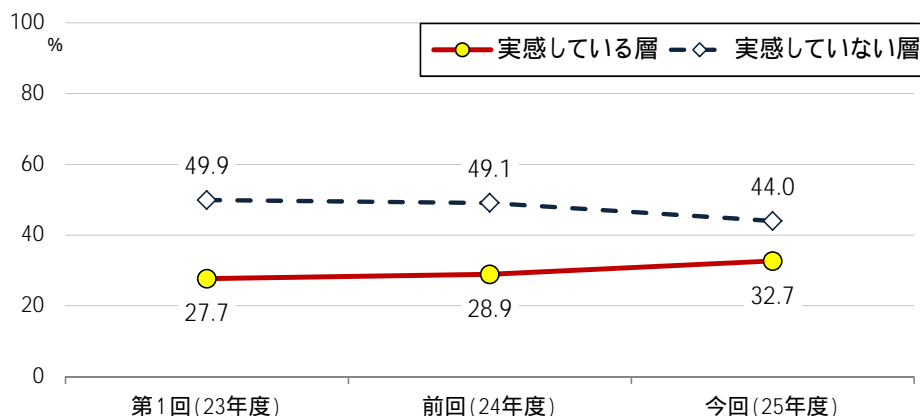
問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅がそれぞれ3番目に大きくなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が5.0ポイント高く、『実感していない層』は5.9ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・20歳代の『実感していない層』は全体より5.0ポイント高い。
- ・40歳代の『実感していない層』は前回調査より10.3ポイント低い。
- ・50歳代の『実感していない層』は全体より7.7ポイント高い。
- ・正規職員の『実感している層』は前回調査より7.0ポイント高い。
- ・学生の『実感していない層』は前回調査より13.3ポイント低い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より7.1ポイント低い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より6.8ポイント低く、「わからない・不明」が12.0ポイント高い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感していない層』は全体より5.8ポイント高い。

図表2-2-14 子どものためになる教育が行われている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-15 子どものためになる教育が行われている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	4.0	28.7	26.5	17.5	23.3	32.7	(3.8)	<5.0>	44.0	(-5.1)	<-5.9>
地域											
北勢	3.9	29.3	25.8	18.2	22.7	33.2	(5.3)	<5.4>	44.0	(-7.0)	<-6.7>
伊賀	3.9	25.6	27.1	19.6	23.9	29.5	(-1.1)	<3.1>	46.7	(-2.6)	<-1.3>
中南勢	4.7	29.0	26.7	15.4	24.1	33.7	(2.7)	<4.6>	42.1	(-4.8)	<-7.0>
伊勢志摩	3.0	29.3	28.0	17.6	22.1	32.3	(4.5)	<6.1>	45.6	(-2.6)	<-5.4>
東紀州	3.2	24.9	25.8	18.6	27.6	28.1	(4.3)	<3.5>	44.4	(-2.8)	<-2.5>
性別											
男性	3.5	28.6	28.5	19.1	20.3	32.1	(4.6)	<5.4>	47.6	(-6.0)	<-6.9>
女性	4.3	28.8	25.0	16.4	25.5	33.1	(3.3)	<4.6>	41.4	(-4.4)	<-4.7>
年齢											
20歳代	2.6	26.9	28.2	20.8	21.4	29.5	(3.7)	<3.8>	49.0	(-4.9)	<0.5>
30歳代	4.1	32.4	24.5	17.3	21.7	36.5	(4.6)	<6.0>	41.8	(-8.0)	<-8.5>
40歳代	3.3	33.2	29.1	17.9	16.6	36.5	(5.0)	<5.9>	47.0	(-10.3)	<-8.1>
50歳代	3.1	24.8	29.2	22.5	20.3	27.9	(4.0)	<6.4>	51.7	(-6.2)	<-8.2>
60歳代	3.1	26.6	28.3	17.4	24.5	29.7	(2.8)	<5.6>	45.7	(-2.4)	<-5.3>
70歳以上	6.5	29.5	21.0	12.1	30.9	36.0	(4.2)	<2.2>	33.1	(-4.0)	<-4.9>
主な職業											
農林水産業	8.6	31.0	23.0	16.1	21.2	39.6	(6.5)	<-0.3>	39.1	(-5.5)	<-1.3>
自営業・自由業	3.7	27.2	27.2	21.9	19.9	30.9	(0.6)	<1.9>	49.1	(-1.5)	<-3.6>
正規職員	3.1	30.4	29.4	18.9	18.2	33.5	(7.0)	<9.3>	48.3	(-9.3)	<-9.9>
パート・アルバイト・派遣	2.8	29.9	28.1	18.7	20.5	32.7	(2.7)	<6.0>	46.8	(-4.6)	<-6.5>
その他の職業	2.4	28.9	28.6	21.2	19.0	31.1	(5.7)	<8.0>	49.8	(0.6)	<-0.8>
学生	1.3	36.0	25.3	17.3	20.0	37.3	(6.4)	<4.8>	42.6	(-13.3)	<-8.1>
専業主婦・主夫	4.9	27.0	25.0	15.8	27.3	31.9	(0.9)	<0.8>	40.8	(-4.5)	<-2.2>
無職	5.2	26.9	23.5	13.4	31.0	32.1	(3.6)	<4.0>	36.9	(-5.4)	<-6.6>
配偶関係											
未婚	3.1	22.5	26.0	19.7	28.8	25.6	(5.3)	<5.3>	45.7	(-5.8)	<-7.0>
有配偶	4.1	30.2	27.6	17.7	20.5	34.3	(3.2)	<4.9>	45.3	(-4.9)	<-5.2>
離別・死別	3.8	28.1	23.2	14.9	30.0	31.9	(8.5)	<6.5>	38.1	(-7.5)	<-7.4>
世帯類型											
単独世帯	3.6	22.3	22.8	16.0	35.3	25.9	(5.4)	<4.0>	38.8	(-6.7)	<-8.0>
一世代世帯	4.2	26.4	25.6	17.3	26.5	30.6	(2.5)	<6.3>	42.9	(-1.2)	<-7.6>
二世帯世帯	3.8	31.3	27.7	18.0	19.2	35.1	(6.0)	<6.4>	45.7	(-6.9)	<-5.9>
三世帯世帯	4.3	30.1	28.3	17.4	20.0	34.4	(1.0)	<-1.4>	45.7	(-6.7)	<-1.0>
世帯収入											
~100万円未満	9.7	17.2	15.9	20.3	37.0	26.9	(-)	<->	36.2	(-)	<->
~200万円未満	2.9	24.6	24.1	18.9	29.4	27.5	(-)	<->	43.0	(-)	<->
~300万円未満	2.7	28.5	28.0	16.5	24.3	31.2	(-)	<->	44.5	(-)	<->
~400万円未満	6.2	26.7	26.7	16.4	24.0	32.9	(-)	<->	43.1	(-)	<->
~500万円未満	3.0	32.8	28.6	16.9	18.6	35.8	(-)	<->	45.5	(-)	<->
~600万円未満	3.6	34.8	27.1	16.6	17.9	38.4	(-)	<->	43.7	(-)	<->
~800万円未満	4.2	30.2	28.2	18.4	18.9	34.4	(-)	<->	46.6	(-)	<->
~1,000万円未満	2.9	33.9	28.1	17.4	17.8	36.8	(-)	<->	45.5	(-)	<->
1,000万円以上	2.7	29.5	30.0	19.8	18.1	32.2	(-)	<->	49.8	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (8) 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。
(関連の政策分野：子どもの育ちと子育て)

地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が56.0%で、『実感していない層』の割合(27.7%)より28.3ポイント高くなっています。

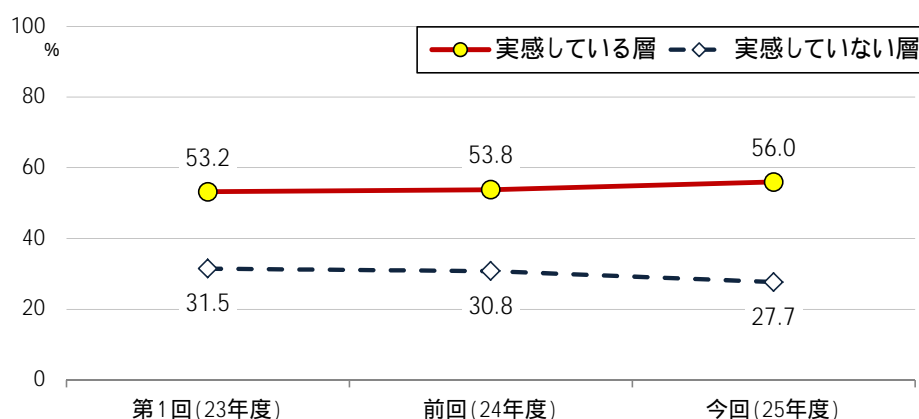
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.2ポイント高く、『実感していない層』は3.1ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.8ポイント高く、『実感していない層』は3.8ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・20歳代の『実感している層』は、30歳代以上が全て第1回調査より高い中で唯一マイナス。
- ・50歳代の『実感している層』は全体より8.2ポイント低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より8.8ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より18.1ポイント高く、前回調査より11.8ポイント高い。
- ・正規職員の『実感している層』は全体より6.2ポイント低い。
- ・学生の『実感している層』は第1回調査より10.4ポイント低い。
- ・未婚の『実感している層』は全体より9.4ポイント低い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より10.8ポイント低い。

図表 2-2-16 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-17 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている(属性別)

	感じる層					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	11.1	44.9	19.7	8.0	16.3	56.0	(2.2)	<2.8>	27.7	(-3.1)	<-3.8>
地域											
北勢	10.6	44.7	20.3	8.5	15.9	55.3	(3.1)	<2.7>	28.8	(-3.5)	<-3.8>
伊賀	10.8	48.3	17.2	9.0	14.7	59.1	(2.2)	<3.9>	26.2	(-3.8)	<-3.1>
中南勢	12.5	44.5	19.1	7.1	16.8	57.0	(1.8)	<3.7>	26.2	(-3.2)	<-4.8>
伊勢志摩	9.6	44.4	21.1	7.6	17.2	54.0	(0.3)	<1.5>	28.7	(-1.5)	<-2.6>
東紀州	13.6	42.5	18.6	7.2	18.1	56.1	(3.2)	<0.8>	25.8	(-3.1)	<-1.5>
性別											
男性	10.7	43.3	22.5	9.3	14.1	54.0	(3.1)	<3.1>	31.8	(-4.0)	<-4.5>
女性	11.3	46.4	17.7	6.9	17.7	57.7	(1.4)	<2.1>	24.6	(-2.4)	<-2.7>
年齢											
20歳代	11.3	39.8	17.7	12.4	18.8	51.1	(-1.9)	<-2.7>	30.1	(-1.6)	<3.1>
30歳代	11.6	45.0	21.3	8.2	14.0	56.6	(0.0)	<2.6>	29.5	(-0.7)	<-2.1>
40歳代	9.4	47.8	21.0	8.9	12.9	57.2	(4.4)	<2.6>	29.9	(-7.3)	<-5.7>
50歳代	5.0	42.8	24.8	10.5	16.9	47.8	(4.3)	<3.4>	35.3	(-5.5)	<-6.7>
60歳代	9.6	46.0	21.4	6.5	16.5	55.6	(2.0)	<3.3>	27.9	(-2.3)	<-3.6>
70歳以上	18.8	46.0	12.4	5.1	17.7	64.8	(3.6)	<4.5>	17.5	(-2.5)	<-4.1>
主な職業											
農林水産業	17.8	56.3	10.3	6.9	8.6	74.1	(11.8)	<5.1>	17.2	(-11.4)	<-3.9>
自営業・自由業	11.8	43.6	17.8	12.0	14.8	55.4	(-0.2)	<2.3>	29.8	(-3.0)	<-5.0>
正規職員	7.4	42.4	25.7	9.5	15.0	49.8	(2.3)	<2.4>	35.2	(-4.3)	<-4.4>
パート・アルバイト・派遣	9.4	46.6	20.6	8.3	15.1	56.0	(2.8)	<4.2>	28.9	(-2.8)	<-4.9>
その他の職業	8.8	44.7	24.2	6.2	16.1	53.5	(4.7)	<0.9>	30.4	(0.1)	<3.4>
学生	13.3	38.7	17.3	16.0	14.6	52.0	(-3.9)	<-10.4>	33.3	(2.4)	<12.5>
専業主婦・主夫	10.6	49.0	16.2	6.2	18.0	59.6	(-0.9)	<1.4>	22.4	(-2.7)	<-3.1>
無職	15.6	44.3	15.9	5.4	18.7	59.9	(3.4)	<4.1>	21.3	(-2.9)	<-4.2>
配偶関係											
未婚	9.1	37.5	20.1	9.8	23.6	46.6	(1.7)	<2.6>	29.9	(-3.8)	<-1.4>
有配偶	11.0	46.8	20.4	7.8	14.0	57.8	(1.9)	<2.2>	28.2	(-3.3)	<-3.8>
離別・死別	11.0	45.8	17.3	7.2	18.7	56.8	(6.3)	<8.2>	24.5	(-3.6)	<-5.5>
世帯類型											
単独世帯	11.7	33.5	19.3	8.1	27.4	45.2	(-0.9)	<0.3>	27.4	(-1.8)	<-0.9>
一世代世帯	11.8	45.2	18.0	7.7	17.4	57.0	(3.1)	<3.1>	25.7	(-1.6)	<-4.8>
二世帯世帯	9.9	46.2	21.8	8.3	13.8	56.1	(2.8)	<3.7>	30.1	(-3.2)	<-3.5>
三世帯世帯	12.2	49.2	19.0	7.4	12.1	61.4	(3.5)	<2.0>	26.4	(-6.3)	<-3.7>
世帯収入											
~100万円未満	18.9	30.4	13.7	8.4	28.7	49.3	(-)	<->	22.1	(-)	<->
~200万円未満	15.8	37.7	16.9	9.4	20.3	53.5	(-)	<->	26.3	(-)	<->
~300万円未満	10.4	48.1	19.5	6.1	15.9	58.5	(-)	<->	25.6	(-)	<->
~400万円未満	11.5	45.1	18.9	8.9	15.6	56.6	(-)	<->	27.8	(-)	<->
~500万円未満	9.9	52.6	18.8	7.0	11.7	62.5	(-)	<->	25.8	(-)	<->
~600万円未満	10.0	47.5	20.9	8.1	13.5	57.5	(-)	<->	29.0	(-)	<->
~800万円未満	8.7	43.7	24.7	6.5	16.5	52.4	(-)	<->	31.2	(-)	<->
~1,000万円未満	8.9	50.3	19.2	9.6	12.1	59.2	(-)	<->	28.8	(-)	<->
1,000万円以上	7.1	45.4	26.1	9.5	12.0	52.5	(-)	<->	35.6	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (9) スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じますか。

(関連の政策分野：スポーツの推進)

スポーツを通じて夢や感動が育まれているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が58.2%で、『実感していない層』の割合(25.6%)より32.6ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では『実感していない層』が3番目に低くなっています。

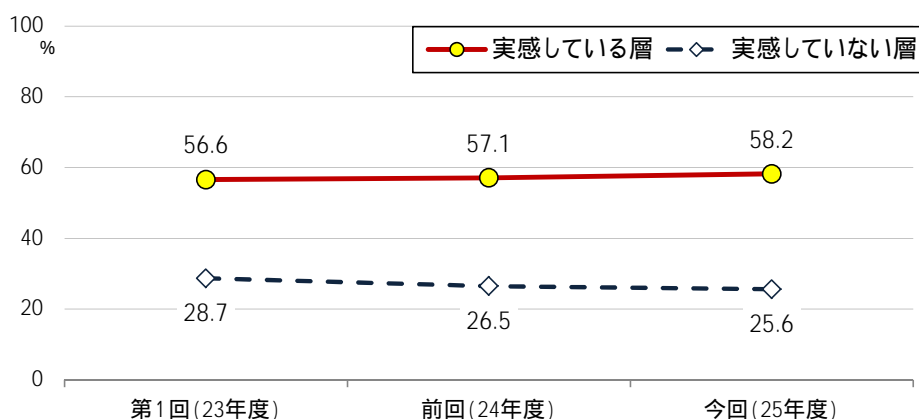
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.1ポイント高く、『実感していない層』は0.9ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.6ポイント高く、『実感していない層』は3.1ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感していない層』は前回調査より5.9ポイント低い。
- ・男性の『実感していない層』は女性より9.4ポイント高い。
- ・20歳代の『実感している層』は全体より6.0ポイント高い。
- ・40歳代の『実感している層』は全体より8.5ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は第1回調査より10.0ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は全体より9.8ポイント高いものの、前回調査より9.9ポイント、第1回調査より4.8ポイントそれぞれ低い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より11.0ポイント低い。
- ・世帯収入が800万円未満までの層では世帯収入の階層が高いほど『実感している層』が高い。

図表 2-2-18 スポーツを通じて夢や感動が育まれている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-19 スポーツを通じて夢や感動が育まれている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	15.0	43.2	17.7	7.9	16.2	58.2	(1.1)	<-1.6>	25.6	(-0.9)	<-3.1>
地域											
北勢	14.8	43.5	17.9	8.4	15.3	58.3	(2.0)	<-0.2>	26.3	(-0.9)	<-2.2>
伊賀	14.7	44.8	17.2	7.8	15.5	59.5	(3.3)	<5.9>	25.0	(-0.8)	<-3.4>
中南勢	15.6	42.3	17.3	7.7	17.1	57.9	(-1.8)	<3.6>	25.0	(-0.6)	<-5.1>
伊勢志摩	14.6	43.6	18.3	7.7	15.7	58.2	(0.8)	<1.0>	26.0	(0.5)	<-0.8>
東紀州	14.5	40.3	17.6	5.9	21.7	54.8	(4.8)	<-1.5>	23.5	(-5.9)	<-5.5>
性別											
男性	14.2	42.0	21.4	9.5	12.9	56.2	(-0.1)	<1.5>	30.9	(-0.9)	<-2.6>
女性	15.8	44.3	14.8	6.7	18.4	60.1	(2.0)	<1.0>	21.5	(-0.8)	<-2.8>
年齢											
20歳代	28.8	35.4	16.1	10.0	9.8	64.2	(-1.5)	<-2.9>	26.1	(2.4)	<2.0>
30歳代	19.0	40.0	17.9	8.5	14.5	59.0	(-2.1)	<-2.5>	26.4	(-0.9)	<-0.6>
40歳代	19.6	47.1	14.5	8.2	10.6	66.7	(4.3)	<1.6>	22.7	(-5.6)	<-3.9>
50歳代	11.5	46.3	18.8	8.9	14.6	57.8	(-0.7)	<2.3>	27.7	(-1.5)	<-5.3>
60歳代	10.3	45.3	20.0	7.4	17.0	55.6	(3.1)	<4.8>	27.4	(-0.4)	<-5.0>
70歳以上	13.2	40.2	17.2	6.3	23.1	53.4	(0.0)	<0.1>	23.5	(1.2)	<-1.3>
主な職業											
農林水産業	19.0	43.1	17.8	5.2	15.0	62.1	(3.3)	<10.0>	23.0	(-3.9)	<-7.9>
自営業・自由業	15.6	41.8	17.6	8.9	16.1	57.4	(-5.6)	<-2.0>	26.5	(2.3)	<-2.8>
正規職員	15.5	46.1	19.5	8.4	10.4	61.6	(0.6)	<1.8>	27.9	(-2.7)	<-2.7>
パート・アルバイト・派遣	17.3	45.9	15.6	8.2	13.0	63.2	(3.5)	<2.2>	23.8	(-2.5)	<-3.6>
その他の職業	15.4	41.8	15.4	12.8	14.7	57.2	(2.1)	<-5.3>	28.2	(2.8)	<7.2>
学生	36.0	32.0	12.0	9.3	10.7	68.0	(-9.9)	<-4.8>	21.3	(0.7)	<-3.4>
専業主婦・主夫	13.6	43.2	16.2	5.9	21.1	56.8	(0.6)	<1.1>	22.1	(-2.0)	<-4.5>
無職	10.5	40.0	20.3	7.3	21.8	50.5	(0.6)	<0.9>	27.6	(2.3)	<-1.6>
配偶関係											
未婚	19.4	38.2	15.6	10.0	16.9	57.6	(-1.6)	<-0.6>	25.6	(-0.9)	<-3.0>
有配偶	14.9	44.6	18.6	7.5	14.5	59.5	(0.5)	<1.7>	26.1	(-0.3)	<-2.8>
離別・死別	12.3	43.7	16.1	8.6	19.2	56.0	(5.1)	<5.4>	24.7	(-1.9)	<-2.5>
世帯類型											
単独世帯	11.4	35.8	16.2	10.2	26.4	47.2	(-1.3)	<-1.3>	26.4	(1.0)	<-2.1>
一世代世帯	13.8	44.0	17.2	8.2	16.8	57.8	(2.0)	<3.5>	25.4	(0.2)	<-4.4>
二世帯世帯	16.1	44.3	18.0	7.8	13.8	60.4	(2.4)	<2.2>	25.8	(-2.5)	<-3.2>
三世帯世帯	18.0	43.6	19.0	6.6	12.7	61.6	(-1.2)	<-2.1>	25.6	(0.7)	<0.1>
世帯収入											
~100万円未満	11.9	32.6	18.1	7.0	30.4	44.5	(-)	<->	25.1	(-)	<->
~200万円未満	12.9	35.5	17.6	11.6	22.5	48.4	(-)	<->	29.2	(-)	<->
~300万円未満	12.1	44.2	19.3	6.6	17.9	56.3	(-)	<->	25.9	(-)	<->
~400万円未満	14.2	43.8	18.7	7.9	15.3	58.0	(-)	<->	26.6	(-)	<->
~500万円未満	15.9	44.4	18.1	8.9	12.7	60.3	(-)	<->	27.0	(-)	<->
~600万円未満	17.9	46.1	16.8	7.5	11.7	64.0	(-)	<->	24.3	(-)	<->
~800万円未満	17.8	48.4	14.9	6.5	12.4	66.2	(-)	<->	21.4	(-)	<->
~1,000万円未満	16.7	47.4	19.2	6.2	10.5	64.1	(-)	<->	25.4	(-)	<->
1,000万円以上	14.4	46.8	20.2	8.3	10.2	61.2	(-)	<->	28.5	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。

(関連の政策分野：地域との連携)

自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が72.4%で、『実感していない層』の割合(18.6%)より53.8ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が2番目に高く、『実感していない層』が2番目に低くなっています。

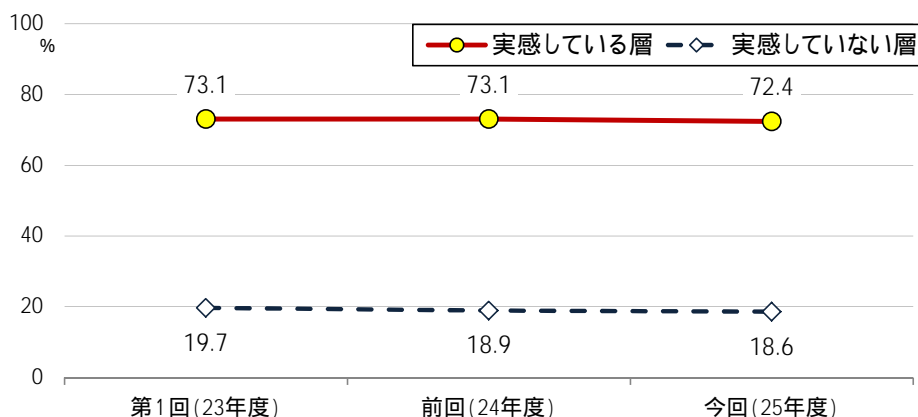
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.7ポイント、『実感していない層』が0.3ポイントそれぞれ低く、「わからない・不明」が高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.7ポイント、『実感していない層』が1.1ポイントそれぞれ低く、「わからない・不明」が高くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は前回調査より7.0ポイント低い。
- ・20歳代の『実感していない層』は前回調査より5.8ポイント、第1回調査より5.2ポイントそれぞれ高い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より6.0ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は全体より9.2ポイント高い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より6.4ポイント低い。
- ・世帯収入が100万円未満の層と100万円以上200万円未満の層の『実感している層』は全体より5ポイント以上低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より5.9ポイント高い。

図表 2-2-20 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-21 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	34.5	37.9	10.4	8.2	8.9	72.4	(-0.7)	<-0.7>	18.6	(-0.3)	<-1.1>
地域											
北勢	33.8	38.8	10.3	8.5	8.6	72.6	(-0.3)	<-1.5>	18.8	(-0.7)	<-1.1>
伊賀	30.4	39.4	12.5	8.6	9.1	69.8	(3.2)	<2.3>	21.1	(-2.6)	<-3.6>
中南勢	34.6	39.2	10.2	7.0	8.9	73.8	(-1.0)	<0.6>	17.2	(-0.1)	<-1.8>
伊勢志摩	39.3	32.2	9.9	8.9	9.6	71.5	(-1.9)	<-2.1>	18.8	(0.9)	<1.1>
東紀州	36.2	33.9	9.5	10.9	9.5	70.1	(-7.0)	<-3.1>	20.4	(4.1)	<1.6>
性別											
男性	35.3	39.2	10.6	7.3	7.7	74.5	(-0.7)	<-1.5>	17.9	(0.2)	<0.0>
女性	34.0	37.0	10.4	9.1	9.5	71.0	(-0.5)	<0.2>	19.5	(-0.4)	<-2.0>
年齢											
20歳代	32.7	36.4	11.1	11.6	8.2	69.1	(-4.4)	<-4.6>	22.7	(5.8)	<5.2>
30歳代	32.7	37.4	11.6	9.0	9.4	70.1	(-1.2)	<0.3>	20.6	(0.1)	<-2.1>
40歳代	27.5	42.7	9.7	10.7	9.4	70.2	(0.8)	<1.4>	20.4	(-2.1)	<-3.7>
50歳代	28.3	40.3	12.2	9.8	9.4	68.6	(-2.2)	<-1.7>	22.0	(1.1)	<0.2>
60歳代	36.2	38.2	10.9	6.9	8.0	74.4	(0.6)	<-1.1>	17.8	(-1.7)	<-1.6>
70歳以上	45.9	32.5	8.3	5.4	8.0	78.4	(0.8)	<-0.1>	13.7	(-0.5)	<-0.9>
主な職業											
農林水産業	46.0	35.6	5.2	5.2	8.0	81.6	(-4.2)	<-3.9>	10.4	(-1.6)	<0.0>
自営業・自由業	38.9	35.1	9.3	7.7	9.0	74.0	(-1.4)	<-2.8>	17.0	(-2.8)	<-0.5>
正規職員	31.8	42.9	9.8	8.2	7.2	74.7	(1.5)	<1.1>	18.0	(-0.8)	<-1.6>
パート・アルバイト・派遣	28.7	39.7	11.4	11.1	9.1	68.4	(1.5)	<-0.8>	22.5	(-1.3)	<-1.9>
その他の職業	32.2	38.5	10.6	8.4	10.3	70.7	(-6.4)	<-5.0>	19.0	(4.3)	<2.6>
学生	38.7	33.3	8.0	9.3	10.7	72.0	(-3.0)	<3.1>	17.3	(-0.4)	<-3.5>
専業主婦・主夫	33.7	35.6	12.5	8.2	10.0	69.3	(-4.1)	<-0.2>	20.7	(1.1)	<-1.4>
無職	39.9	35.2	10.4	6.4	8.0	75.1	(-0.2)	<0.2>	16.8	(0.3)	<-1.4>
配偶関係											
未婚	33.0	36.6	10.2	10.6	9.6	69.6	(-1.7)	<-3.0>	20.8	(1.7)	<1.7>
有配偶	34.3	39.2	11.0	7.7	7.9	73.5	(-0.6)	<-0.3>	18.7	(-0.3)	<-1.3>
離別・死別	36.5	35.2	8.1	9.9	10.3	71.7	(3.6)	<-1.1>	18.0	(-1.7)	<-1.4>
世帯類型											
単独世帯	29.7	36.3	9.6	10.7	13.7	66.0	(0.3)	<-2.4>	20.3	(-1.4)	<-3.4>
一世代世帯	35.1	37.4	11.0	8.0	8.5	72.5	(-0.4)	<-0.9>	19.0	(-1.0)	<-1.7>
二世帯世帯	33.3	39.5	10.4	8.5	8.3	72.8	(-1.0)	<0.5>	18.9	(0.6)	<-1.5>
三世帯世帯	40.3	36.3	9.4	7.6	6.4	76.6	(0.1)	<-3.4>	17.0	(0.7)	<3.4>
世帯収入											
~100万円未満	41.0	26.0	7.9	11.0	14.1	67.0	(-)	<->	18.9	(-)	<->
~200万円未満	33.3	33.5	9.7	10.8	12.7	66.8	(-)	<->	20.5	(-)	<->
~300万円未満	33.1	38.8	11.6	8.3	8.2	71.9	(-)	<->	19.9	(-)	<->
~400万円未満	37.1	36.7	12.2	7.8	6.3	73.8	(-)	<->	20.0	(-)	<->
~500万円未満	34.5	40.2	10.4	7.7	7.2	74.7	(-)	<->	18.1	(-)	<->
~600万円未満	34.1	40.9	8.1	9.0	7.9	75.0	(-)	<->	17.1	(-)	<->
~800万円未満	32.6	40.6	11.0	7.3	8.5	73.2	(-)	<->	18.3	(-)	<->
~1,000万円未満	31.2	42.8	12.2	6.5	7.3	74.0	(-)	<->	18.7	(-)	<->
1,000万円以上	35.9	42.4	8.0	8.5	5.1	78.3	(-)	<->	16.5	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (11) 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができますか。

(関連の政策分野：文化と学び)

文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が37.1%で、『実感していない層』の割合(46.1%)より9.0ポイント低くなっています。

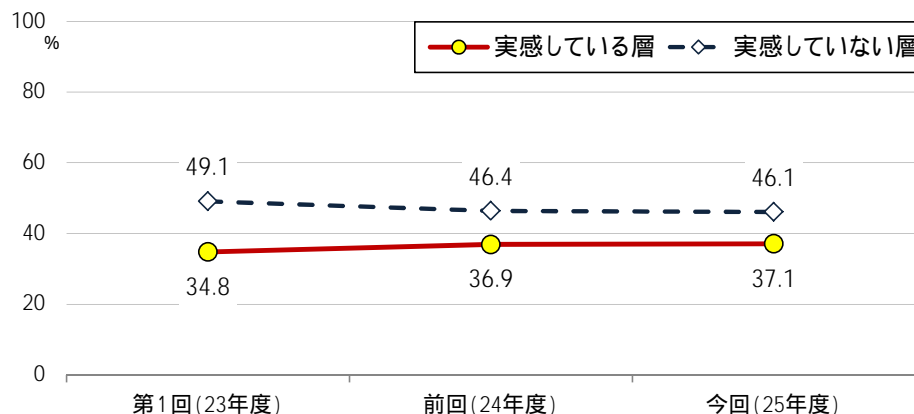
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.2ポイント高く、『実感していない層』は0.3ポイント低くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.3ポイント高く、『実感していない層』は3.0ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・20歳代の『実感していない層』は前回調査より5.0ポイント、第1回調査より3.1ポイントそれぞれ高い。
- ・40歳代の『実感していない層』は全体より7.6ポイント高い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より5.9ポイント高い。
- ・農林水産業の『実感している層』は前回調査より6.1ポイント、第1回調査より5.8ポイントそれぞれ低い。
- ・正規職員の『実感していない層』は全体より7.2ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は第1回調査より16.8ポイント高い。
- ・無職の『実感していない層』は全体より7.5ポイント低い。

図表 2-2-22 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-23 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	6.7	30.4	30.6	15.5	16.7	37.1	(0.2)	<2.3>	46.1	(-0.3)	<-3.0>
地域											
北勢	6.4	28.8	31.9	16.8	16.2	35.2	(1.2)	<2.8>	48.7	(-0.9)	<-3.3>
伊賀	6.5	33.0	29.3	14.9	16.2	39.5	(3.4)	<7.2>	44.2	(-3.9)	<-6.1>
中南勢	6.5	31.1	30.7	14.2	17.4	37.6	(-3.3)	<-1.7>	44.9	(1.1)	<0.0>
伊勢志摩	7.9	33.7	28.6	14.2	15.5	41.6	(1.5)	<4.7>	42.8	(2.3)	<-5.2>
東紀州	6.8	27.1	26.2	16.3	23.5	33.9	(1.6)	<4.0>	42.5	(-1.9)	<-7.5>
性別											
男性	6.8	30.0	33.6	16.3	13.3	36.8	(-2.3)	<1.4>	49.9	(1.7)	<-1.2>
女性	6.6	31.0	28.4	15.0	19.1	37.6	(2.7)	<3.1>	43.4	(-2.0)	<-4.2>
年齢											
20歳代	6.1	29.3	30.3	21.4	12.9	35.4	(-2.9)	<-1.2>	51.7	(5.0)	<3.1>
30歳代	7.1	31.0	28.3	19.3	14.2	38.1	(4.6)	<6.9>	47.6	(-4.0)	<-7.6>
40歳代	5.1	27.4	35.9	17.8	13.8	32.5	(-2.1)	<1.1>	53.7	(1.8)	<-1.5>
50歳代	4.9	28.1	32.9	17.7	16.4	33.0	(-0.2)	<1.4>	50.6	(-2.6)	<-4.8>
60歳代	5.8	33.0	30.8	14.9	15.6	38.8	(1.3)	<3.0>	45.7	(-1.3)	<-2.7>
70歳以上	10.2	32.8	26.2	8.6	22.2	43.0	(1.1)	<2.1>	34.8	(0.0)	<-2.8>
主な職業											
農林水産業	9.2	31.0	32.8	10.9	16.1	40.2	(-6.1)	<-5.8>	43.7	(0.8)	<3.8>
自営業・自由業	7.7	28.6	31.8	15.2	16.7	36.3	(-4.0)	<-3.5>	47.0	(1.0)	<0.3>
正規職員	5.4	30.1	34.3	19.0	11.2	35.5	(1.3)	<3.1>	53.3	(-0.6)	<-2.1>
パート・アルバイト・派遣	4.8	30.1	29.4	18.2	17.6	34.9	(0.7)	<2.9>	47.6	(-2.0)	<-5.5>
その他の職業	5.1	26.4	34.8	18.3	15.4	31.5	(-4.2)	<-2.7>	53.1	(10.2)	<3.8>
学生	13.3	36.0	21.3	16.0	13.3	49.3	(-0.7)	<16.8>	37.3	(-6.8)	<-17.3>
専業主婦・主夫	8.2	31.6	28.8	13.6	17.8	39.8	(0.6)	<6.4>	42.4	(-1.8)	<-6.8>
無職	7.7	33.3	27.4	11.2	20.4	41.0	(2.7)	<3.7>	38.6	(-0.8)	<-3.3>
配偶関係											
未婚	5.7	31.0	27.7	19.2	16.4	36.7	(1.0)	<-0.6>	46.9	(0.1)	<-1.5>
有配偶	6.8	31.1	32.0	15.4	14.7	37.9	(0.2)	<3.4>	47.4	(-0.3)	<-2.9>
離別・死別	6.7	29.0	28.3	13.9	22.1	35.7	(-1.6)	<-0.3>	42.2	(1.6)	<-1.8>
世帯類型											
単独世帯	6.6	28.4	28.9	12.2	23.9	35.0	(-0.5)	<-5.1>	41.1	(-2.2)	<-0.3>
一世代世帯	7.1	31.4	29.5	15.7	16.4	38.5	(1.0)	<4.0>	45.2	(1.0)	<-4.5>
二世帯世帯	6.3	30.5	31.9	16.8	14.5	36.8	(0.3)	<3.9>	48.7	(0.4)	<-3.1>
三世帯世帯	6.8	31.5	32.0	12.9	16.7	38.3	(-1.4)	<-2.3>	44.9	(-2.8)	<0.4>
世帯収入											
~100万円未満	6.6	29.1	21.6	15.0	27.8	35.7	(-)	<->	36.6	(-)	<->
~200万円未満	7.4	25.6	29.0	15.4	22.6	33.0	(-)	<->	44.4	(-)	<->
~300万円未満	6.3	32.1	32.4	13.1	16.0	38.4	(-)	<->	45.5	(-)	<->
~400万円未満	7.4	31.1	31.1	16.1	14.3	38.5	(-)	<->	47.2	(-)	<->
~500万円未満	6.7	33.3	32.2	15.2	12.6	40.0	(-)	<->	47.4	(-)	<->
~600万円未満	6.0	34.5	31.8	14.3	13.4	40.5	(-)	<->	46.1	(-)	<->
~800万円未満	6.2	28.4	33.0	18.6	13.8	34.6	(-)	<->	51.6	(-)	<->
~1,000万円未満	6.2	28.3	35.6	16.7	13.2	34.5	(-)	<->	52.3	(-)	<->
1,000万円以上	5.1	32.7	33.4	17.8	11.0	37.8	(-)	<->	51.2	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (12) 三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。

(関連の政策分野：農林水産業)

三重県産の農林水産物を買いたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が85.6%で、『実感していない層』の割合(7.6%)より78.0ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が最も高く、『実感していない層』が最も低くなっています。

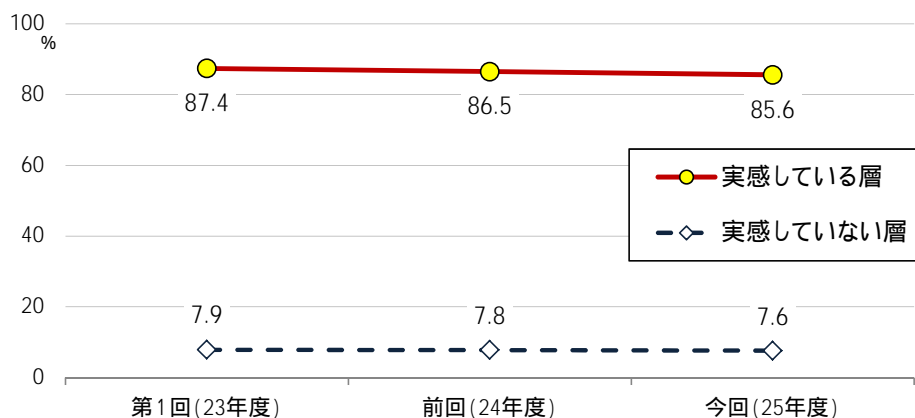
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.9ポイント、『実感していない層』が0.2ポイントそれぞれ低く、「わからない・不明」が高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.8ポイント、『実感していない層』が0.3ポイントそれぞれ低く、「わからない・不明」が高くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は全体より5.2ポイント低く、前回調査より5.4ポイント、第1回調査より6.7ポイントそれぞれ低い。
- ・自営業・自由業の『実感している層』は前回調査より7.5ポイント低い。
- ・学生の『実感している層』は全体より5.1ポイント高い。
- ・単独世帯の『実感している層』は全体より9.8ポイント低い。
- ・世帯収入が100万円未満の層の『実感している層』は全体より15.1ポイント低い。
- ・世帯収入が1,000万円以上の層の『実感している層』は全体より5.3ポイント高い。

図表 2-2-24 三重県産の農林水産物を買いたい(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-25 三重県産の農林水産物を買いたい(属性別)

		感じる					実感している層			実感していない層		
		感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
	全体	47.7	37.9	4.6	3.0	6.7	85.6	(-0.9)	<-1.8>	7.6	(-0.2)	<-0.3>
地域												
	北勢	46.0	38.9	5.5	3.0	6.6	84.9	(-0.6)	<-2.1>	8.5	(-0.6)	<-0.7>
	伊賀	38.4	42.0	7.8	3.7	8.1	80.4	(-5.4)	<-6.7>	11.5	(3.2)	<3.5>
	中南勢	51.5	36.8	3.1	2.4	6.1	88.3	(0.1)	<1.2>	5.7	(-0.9)	<-1.5>
	伊勢志摩	53.4	34.7	2.7	2.4	6.6	88.1	(1.2)	<-1.1>	5.3	(-0.7)	<-0.7>
	東紀州	45.2	36.7	3.6	5.0	9.5	81.9	(-3.1)	<-5.2>	8.6	(0.6)	<1.9>
性別												
	男性	42.2	41.3	6.4	3.6	6.4	83.5	(-0.1)	<-2.2>	10.0	(-0.8)	<0.1>
	女性	52.2	35.6	3.2	2.4	6.6	87.8	(-1.4)	<-1.5>	5.6	(0.2)	<-0.5>
年齢												
	20歳代	45.4	38.0	5.0	4.2	7.4	83.4	(1.2)	<-4.2>	9.2	(-2.0)	<2.0>
	30歳代	51.4	36.0	4.0	3.2	5.4	87.4	(-1.2)	<-1.0>	7.2	(0.5)	<-0.9>
	40歳代	49.0	41.1	3.7	3.4	4.2	90.1	(0.0)	<1.2>	5.6	(-1.7)	<-1.6>
	50歳代	46.7	39.4	4.5	3.0	6.3	86.1	(-2.0)	<-3.1>	7.5	(-0.3)	<-0.7>
	60歳代	45.7	41.4	4.6	2.7	5.5	87.1	(0.4)	<-0.5>	7.3	(-1.0)	<-1.3>
	70歳以上	49.2	32.2	5.4	3.3	10.0	81.4	(-1.3)	<-3.2>	8.7	(1.0)	<1.1>
主な職業												
	農林水産業	55.7	31.0	4.0	2.4	6.8	86.7	(-5.8)	<-5.8>	6.3	(0.6)	<3.0>
	自営業・自由業	47.7	34.5	4.9	5.1	7.7	82.2	(-7.5)	<-5.5>	10.0	(3.5)	<2.3>
	正規職員	45.4	42.7	4.4	2.5	5.0	88.1	(2.3)	<-0.4>	6.9	(-2.7)	<-1.3>
	パート・アルバイト・派遣	48.7	40.4	4.3	2.4	4.2	89.1	(0.1)	<0.6>	6.7	(0.2)	<-1.0>
	その他の職業	42.1	39.6	4.4	5.1	8.8	81.7	(-4.7)	<2.1>	9.5	(2.1)	<-1.0>
	学生	56.0	34.7	4.0	4.0		90.7	(4.0)	<-0.3>	8.0	(-3.7)	<4.1>
	専業主婦・主夫	54.4	33.7	3.0	2.3	6.6	88.1	(-3.3)	<-2.5>	5.3	(0.7)	<-0.7>
	無職	45.2	36.7	5.8	3.3	9.1	81.9	(0.2)	<-2.0>	9.1	(-0.3)	<-0.5>
配偶関係												
	未婚	47.4	36.1	3.7	5.0	7.9	83.5	(2.1)	<-1.7>	8.7	(-1.2)	<-0.6>
	有配偶	48.3	39.6	4.5	2.3	5.3	87.9	(-1.2)	<-1.1>	6.8	(-0.3)	<-0.5>
	離別・死別	46.8	34.5	5.0	4.1	9.6	81.3	(-1.4)	<-1.9>	9.1	(0.9)	<-1.2>
世帯類型												
	単独世帯	46.4	29.4	6.6	5.8	11.7	75.8	(-2.9)	<-4.2>	12.4	(0.9)	<0.1>
	一世代世帯	48.1	38.2	4.6	2.8	6.3	86.3	(-0.4)	<-1.6>	7.4	(0.0)	<-0.3>
	二世帯世帯	48.3	39.1	4.5	2.7	5.5	87.4	(-0.5)	<-1.0>	7.2	(-0.2)	<-0.4>
	三世帯世帯	48.7	39.9	3.3	2.3	5.8	88.6	(0.6)	<-0.7>	5.6	(-2.3)	<-1.7>
世帯収入												
	~100万円未満	42.7	27.8	7.5	6.2	15.9	70.5	(-)	<->	13.7	(-)	<->
	~200万円未満	44.3	34.0	5.0	5.7	11.0	78.3	(-)	<->	10.7	(-)	<->
	~300万円未満	46.4	39.7	5.2	2.5	6.2	86.1	(-)	<->	7.7	(-)	<->
	~400万円未満	49.4	38.7	4.9	2.5	4.5	88.1	(-)	<->	7.4	(-)	<->
	~500万円未満	51.8	36.7	4.2	2.5	4.9	88.5	(-)	<->	6.7	(-)	<->
	~600万円未満	49.9	40.7	3.4	4.5		90.6	(-)	<->	4.9	(-)	<->
	~800万円未満	49.0	40.5	3.9	4.8		89.5	(-)	<->	5.8	(-)	<->
	~1,000万円未満	47.7	40.8	4.5	4.9		88.5	(-)	<->	6.7	(-)	<->
	1,000万円以上	50.7	40.2	4.1	3.0		90.9	(-)	<->	6.1	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (13) 県内の産業活動が活発であると感じますか。

(関連の政策分野：強じんて多様な産業)

県内の産業活動が活発であるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 34.9%で、『実感していない層』の割合 (45.5%) より 10.6 ポイント低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 6.3 ポイント高く、『実感していない層』は 6.7 ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅及び『実感していない層』の減少幅が2番目に大きくなっています。

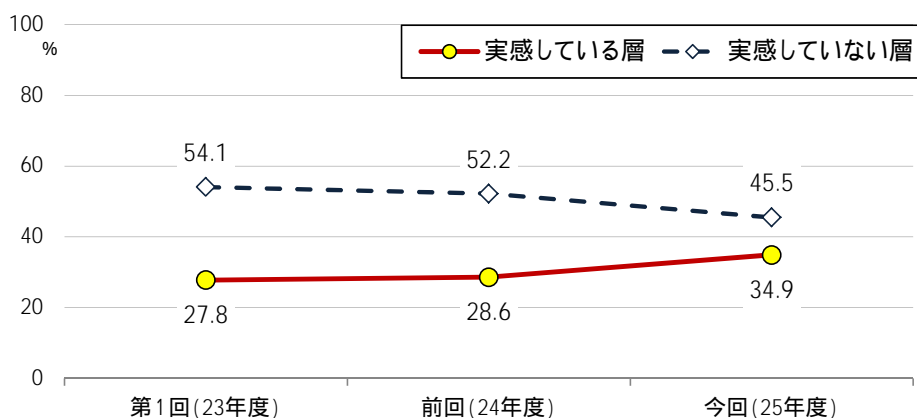
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 7.1 ポイント高く、『実感していない層』は 8.6 ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅と『実感していない層』の減少幅が2番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴 (全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等) は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・北勢の『実感している層』は全体より 5.2 ポイント高い。
- ・伊賀の『実感している層』は全体より 6.2 ポイント低い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より 13.2 ポイント低く、第1回調査より 2.8 ポイント低い。
- ・性別では、女性は男性より『実感していない層』が 13.4 ポイント低く、「わからない・不明」が 9.9 ポイント高い。
- ・50歳代の『実感していない層』は全体より 5.7 ポイント高い。
- ・正規職員の『実感していない層』は全体より 6.9 ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は全体より 5.1 ポイント高い。
- ・世帯年収が 100 万円以上 200 万円未満の層の『実感している層』は全体より 7.7 ポイント低い。

図表 2-2-26 県内の産業活動が活発である (第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-27 県内の産業活動が活発である(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	5.6	29.3	32.3	13.2	19.7	34.9	(6.3)	<7.1>	45.5	(-6.7)	<-8.6>
地域											
北勢	6.9	33.2	30.2	11.0	18.7	40.1	(7.6)	<8.9>	41.2	(-7.4)	<-10.5>
伊賀	3.9	24.8	33.6	16.4	21.3	28.7	(4.3)	<6.8>	50.0	(-4.4)	<-5.7>
中南勢	4.9	27.2	34.2	12.5	21.2	32.1	(5.0)	<4.7>	46.7	(-8.0)	<-6.9>
伊勢志摩	4.3	27.2	34.1	16.1	18.1	31.5	(7.3)	<9.3>	50.2	(-5.0)	<-10.1>
東紀州	3.6	18.1	33.5	24.0	20.8	21.7	(0.2)	<-2.8>	57.5	(-0.9)	<-2.4>
性別											
男性	5.1	27.8	36.3	16.8	13.9	32.9	(5.7)	<7.6>	53.1	(-6.1)	<-9.1>
女性	6.0	30.5	29.3	10.4	23.8	36.5	(6.7)	<6.3>	39.7	(-6.9)	<-7.5>
年齢											
20歳代	10.0	27.2	26.9	15.0	20.8	37.2	(4.2)	<6.2>	41.9	(-8.9)	<-6.9>
30歳代	7.8	29.0	30.1	13.8	19.3	36.8	(6.7)	<7.9>	43.9	(-9.3)	<-12.7>
40歳代	4.3	32.2	32.6	14.1	16.8	36.5	(5.6)	<9.5>	46.7	(-9.2)	<-12.2>
50歳代	3.8	28.4	35.1	16.1	16.6	32.2	(5.1)	<6.1>	51.2	(-6.7)	<-8.5>
60歳代	4.5	27.3	37.0	12.8	18.4	31.8	(6.3)	<6.2>	49.8	(-4.8)	<-5.9>
70歳以上	6.8	31.2	27.9	9.5	24.5	38.0	(8.3)	<7.1>	37.4	(-5.6)	<-8.1>
主な職業											
農林水産業	5.2	32.8	25.9	17.2	19.0	38.0	(2.6)	<4.2>	43.1	(-10.6)	<-8.1>
自営業・自由業	5.7	27.8	32.5	16.8	17.1	33.5	(5.3)	<8.5>	49.3	(-6.8)	<-11.4>
正規職員	4.9	29.6	36.2	16.2	13.1	34.5	(6.5)	<8.2>	52.4	(-7.2)	<-9.4>
パート・アルバイト・派遣	5.5	31.6	32.0	11.9	19.0	37.1	(6.8)	<7.0>	43.9	(-7.1)	<-9.3>
その他の職業	4.4	27.8	33.0	16.1	18.7	32.2	(7.8)	<7.2>	49.1	(-2.6)	<-5.5>
学生	13.3	26.7	24.0	13.3	22.7	40.0	(10.6)	<4.9>	37.3	(-23.0)	<-16.0>
専業主婦・主夫	6.6	29.4	30.1	9.0	25.0	36.0	(4.2)	<4.3>	39.1	(-7.5)	<-6.3>
無職	5.2	28.2	31.3	11.3	24.1	33.4	(7.3)	<7.5>	42.6	(-5.5)	<-7.1>
配偶関係											
未婚	7.2	25.5	30.0	15.8	21.5	32.7	(3.9)	<5.7>	45.8	(-6.0)	<-10.4>
有配偶	5.2	30.8	33.6	12.8	17.6	36.0	(6.7)	<7.6>	46.4	(-7.4)	<-8.5>
離別・死別	6.2	26.9	30.0	13.4	23.5	33.1	(8.2)	<7.4>	43.4	(-3.5)	<-5.6>
世帯類型											
単独世帯	5.8	28.2	29.2	13.2	23.6	34.0	(8.9)	<8.1>	42.4	(-2.8)	<-9.6>
一世帯世帯	5.6	29.5	31.8	14.5	18.6	35.1	(6.6)	<8.1>	46.3	(-4.4)	<-9.5>
二世帯世帯	5.7	30.3	33.2	12.7	18.0	36.0	(6.8)	<8.6>	45.9	(-8.5)	<-8.9>
三世帯世帯	5.2	27.9	33.8	12.0	21.2	33.1	(2.3)	<-0.1>	45.8	(-7.7)	<-5.7>
世帯収入											
~100万円未満	8.8	23.3	21.1	15.0	31.7	32.1	(-)	<->	36.1	(-)	<->
~200万円未満	5.7	21.5	32.2	15.8	24.8	27.2	(-)	<->	48.0	(-)	<->
~300万円未満	3.6	32.2	33.1	11.9	19.3	35.8	(-)	<->	45.0	(-)	<->
~400万円未満	6.8	26.5	33.1	14.8	18.7	33.3	(-)	<->	47.9	(-)	<->
~500万円未満	5.4	33.5	34.7	13.4	13.1	38.9	(-)	<->	48.1	(-)	<->
~600万円未満	6.4	28.8	35.8	13.2	15.8	35.2	(-)	<->	49.0	(-)	<->
~800万円未満	5.7	32.6	34.3	11.8	15.6	38.3	(-)	<->	46.1	(-)	<->
~1,000万円未満	5.6	32.3	31.4	15.8	14.9	37.9	(-)	<->	47.2	(-)	<->
1,000万円以上	3.9	34.1	36.1	11.5	14.4	38.0	(-)	<->	47.6	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (14) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。

(関連の政策分野：雇用の確保)

働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が18.5%で、『実感していない層』の割合(65.2%)より46.7ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』が最も低く、『実感していない層』が最も高くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が3.2ポイント高くなっており、『実感していない層』が4.6ポイント低くなっています。

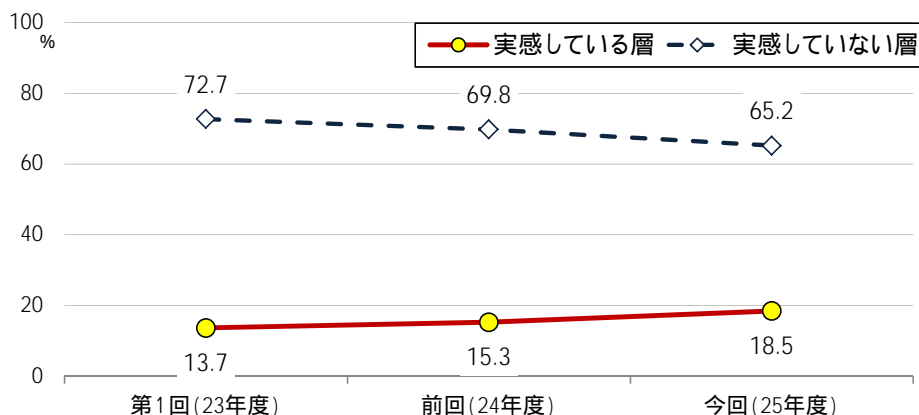
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が4.8ポイント高く、『実感していない層』は7.5ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感していない層』の減少幅が3番目に大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・東紀州の『実感している層』は全体より11.2ポイント低く、第1回調査より2.5ポイント低い。
- ・40歳代の『実感していない層』は第1回調査より12.7ポイント低い。
- ・50歳代の『実感していない層』は全体より7.6ポイント高い。
- ・学生の『実感している層』は前回調査より3.6ポイント低い。
- ・世帯年収が100万円以上200万円未満の層の『実感している層』は全体より5.2ポイント低い。

図表 2-2-28 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-29 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	22	16.3	34.0	31.2	16.3	18.5	(3.2)	<4.8>	65.2	(-4.6)	<-7.5>
地域											
北勢	24	18.4	33.5	28.6	17.1	20.8	(3.6)	<4.9>	62.1	(-6.1)	<-9.2>
伊賀	15	13.4	34.9	34.5	15.7	14.9	(0.2)	<5.6>	69.4	(-1.1)	<-4.8>
中南勢	22	16.8	35.4	29.7	16.0	19.0	(3.0)	<4.8>	65.1	(-3.7)	<-5.8>
伊勢志摩	20	14.0	33.2	35.9	14.9	16.0	(5.4)	<6.3>	69.1	(-4.8)	<-9.8>
東紀州	5.9		30.3	47.5	14.9	7.3	(0.3)	<-2.5>	77.8	(-0.7)	<-0.4>
性別	1.4										
男性	23	16.3	36.4	32.5	12.5	18.6	(3.1)	<4.4>	68.9	(-4.1)	<-7.1>
女性	20	16.4	32.3	30.5	18.7	18.4	(3.5)	<5.1>	62.8	(-4.9)	<-7.6>
年齢											
20歳代	24	19.0	33.5	35.6	9.5	21.4	(4.3)	<3.9>	69.1	(-4.7)	<-1.4>
30歳代	30	18.4	32.2	34.2	12.1	21.4	(5.2)	<5.4>	66.4	(-7.8)	<-6.9>
40歳代	13	18.0	36.4	31.2	13.2	19.3	(3.4)	<6.7>	67.6	(-9.0)	<-12.7>
50歳代	17	14.2	33.6	39.2	11.2	15.9	(4.7)	<4.8>	72.8	(-6.0)	<-8.6>
60歳代	16	14.4	37.3	31.6	15.1	16.0	(1.9)	<3.6>	68.9	(-1.9)	<-4.4>
70歳以上	3.1	17.0	30.3	21.8	27.7	20.1	(2.2)	<4.3>	52.1	(-3.0)	<-9.3>
主な職業											
農林水産業	5.7	17.2	32.8	25.9	18.4	22.9	(-3.4)	<2.7>	58.7	(-4.7)	<-5.6>
自営業・自由業	24	14.6	34.1	33.3	15.5	17.0	(1.0)	<3.8>	67.4	(-3.8)	<-7.8>
正規職員	25	18.8	36.8	33.0	9.0	21.3	(5.0)	<5.4>	69.8	(-5.3)	<-6.7>
パート・アルバイト・派遣	19	16.2	35.5	33.9	12.4	18.1	(4.7)	<6.8>	69.4	(-7.7)	<-9.7>
その他の職業	7	17.9	30.8	38.1	12.4	18.6	(3.5)	<3.4>	68.9	(-1.3)	<-1.5>
学生		20.0	40.0	28.0	12.0	20.0	(-3.6)	<4.4>	68.0	(3.3)	<3.0>
専業主婦・主夫	15	13.8	33.0	31.2	20.6	15.3	(1.7)	<2.5>	64.2	(-3.7)	<-7.3>
無職	17	15.5	31.0	26.1	25.6	17.2	(2.6)	<4.7>	57.1	(-5.3)	<-9.7>
配偶関係											
未婚	24	16.7	33.2	34.9	12.6	19.2	(5.0)	<5.5>	68.1	(-4.7)	<-6.6>
有配偶	8	16.9	35.3	31.1	14.9	18.7	(3.3)	<4.8>	66.4	(-5.3)	<-7.5>
離別・死別	2.9	14.1	30.2	30.2	22.7	17.0	(3.2)	<4.4>	60.4	(-2.8)	<-6.3>
世帯類型											
単独世帯	25	17.0	26.1	30.5	23.9	19.5	(6.2)	<6.0>	56.6	(-4.7)	<-10.3>
一世代世帯	17	16.2	34.3	30.0	17.8	17.9	(2.8)	<3.9>	64.3	(-1.1)	<-7.7>
二世帯世帯	20	16.5	36.4	31.9	13.2	18.5	(2.8)	<6.0>	68.3	(-5.2)	<-8.0>
三世帯世帯	3.3	16.9	31.1	33.5	15.1	20.2	(5.3)	<2.4>	64.6	(-9.2)	<-4.0>
世帯収入											
~100万円未満	40	13.7	23.8	30.4	28.2	17.7	(-)	<->	54.2	(-)	<->
~200万円未満	26	10.7	29.8	37.9	19.1	13.3	(-)	<->	67.7	(-)	<->
~300万円未満	9	13.0	35.3	33.7	17.1	13.9	(-)	<->	69.0	(-)	<->
~400万円未満	16	17.0	33.5	33.5	14.3	18.6	(-)	<->	67.0	(-)	<->
~500万円未満	18	17.1	36.7	33.8	10.5	18.9	(-)	<->	70.5	(-)	<->
~600万円未満	21	17.1	37.3	30.3	13.2	19.2	(-)	<->	67.6	(-)	<->
~800万円未満	23	20.2	34.6	29.0	14.0	22.5	(-)	<->	63.6	(-)	<->
~1,000万円未満	20	21.2	37.4	25.4	14.1	23.2	(-)	<->	62.8	(-)	<->
1,000万円以上	27	22.4	38.8	24.1	11.9	25.1	(-)	<->	62.9	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (15) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。

(関連の政策分野：世界に開かれた三重)

国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が32.8%で、『実感していない層』の割合(48.8%)より16.0ポイント低くなっています。

前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が11.8ポイント高く、『実感していない層』は9.8ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅と『実感していない層』の減少幅が最も大きくなっています。

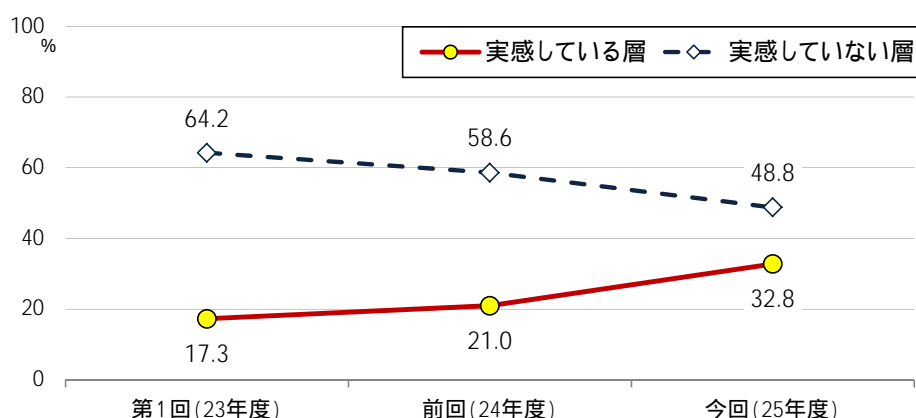
第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が15.5ポイント高く、『実感していない層』は15.4ポイント低くなっています。

問2の16項目の中では、『実感している層』の増加幅と『実感していない層』の減少幅が最も大きくなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は全体より5.2ポイント低い。
- ・伊勢志摩の『実感している層』は全体より7.5ポイント高く、前回調査より16.6ポイント、第1回調査より23.0ポイントそれぞれ高い。
- ・東紀州の『実感している層』は全体より7.9ポイント低い。
- ・男性の『実感していない層』は女性より10.1ポイント高い。
- ・30歳代の『実感していない層』は前回調査より15.4ポイント低い。
- ・50歳代の『実感していない層』は前回調査より15.1ポイント、第1回調査より20.9ポイントそれぞれ低い。
- ・学生の『実感している層』は全体より8.5ポイント高く、前回調査より19.3ポイント、第1回調査より21.8ポイントそれぞれ高い。

図表 2-2-30 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-31 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	4.8	28.0	28.4	20.4	18.5	32.8	(11.8)	<15.5>	48.8	(-9.8)	<-15.4>
地域											
北勢	4.1	27.6	29.9	21.3	17.1	31.7	(11.4)	<14.5>	51.2	(-9.4)	<-14.2>
伊賀	4.5	23.1	30.4	23.1	18.9	27.6	(8.7)	<13.3>	53.5	(-6.1)	<-13.0>
中南勢	5.7	28.1	28.2	18.5	19.6	33.8	(11.4)	<14.8>	46.7	(-10.8)	<-15.1>
伊勢志摩	6.0	34.3	23.2	17.9	18.7	40.3	(16.6)	<23.0>	41.1	(-13.0)	<-23.7>
東紀州	4.7	22.2	25.8	24.0	25.3	24.9	(7.6)	<11.1>	49.8	(-6.3)	<-11.4>
性別											
男性	4.0	26.3	31.3	23.2	15.2	30.3	(11.3)	<14.4>	54.5	(-10.5)	<-14.3>
女性	5.3	29.6	26.2	18.2	20.7	34.9	(12.3)	<16.3>	44.4	(-9.2)	<-16.3>
年齢											
20歳代	8.7	26.6	25.9	25.6	13.2	35.3	(12.2)	<17.2>	51.5	(-13.3)	<-18.5>
30歳代	5.9	26.7	26.7	24.5	16.1	32.6	(11.9)	<14.8>	51.2	(-15.4)	<-18.9>
40歳代	4.7	30.2	29.9	22.3	12.9	34.9	(14.0)	<17.8>	52.2	(-12.4)	<-17.1>
50歳代	3.0	29.5	28.6	23.0	15.9	32.5	(15.3)	<18.5>	51.6	(-15.1)	<-20.9>
60歳代	3.4	25.3	32.4	20.4	18.4	28.7	(8.9)	<12.5>	52.8	(-5.9)	<-10.6>
70歳以上	6.1	29.5	24.6	12.4	27.5	35.6	(10.6)	<14.5>	37.0	(-5.8)	<-13.7>
主な職業											
農林水産業	7.5	29.3	28.7	19.0	15.5	36.8	(8.8)	<14.7>	47.7	(-7.7)	<-13.3>
自営業・自由業	4.3	26.6	28.4	20.3	20.3	30.9	(7.2)	<15.3>	48.7	(-11.6)	<-18.9>
正規職員	4.5	28.2	31.1	25.3	10.9	32.7	(13.4)	<17.2>	56.4	(-11.9)	<-16.3>
パート・アルバイト・派遣	4.2	29.9	28.2	19.6	18.1	34.1	(14.5)	<16.8>	47.8	(-13.4)	<-18.1>
その他の職業	4.4	28.9	26.4	25.6	14.6	33.3	(15.2)	<19.5>	52.0	(-8.0)	<-17.1>
学生	5.3	36.0	24.0	26.7	8.0	41.3	(19.3)	<21.8>	50.7	(-16.9)	<-16.9>
専業主婦・主夫	4.3	29.9	26.0	18.6	21.2	34.2	(10.7)	<16.4>	44.6	(-9.0)	<-17.4>
無職	4.9	25.4	28.4	15.4	25.7	30.3	(8.6)	<10.8>	43.8	(-6.6)	<-10.1>
配偶関係											
未婚	6.2	25.6	27.0	23.8	17.4	31.8	(10.5)	<14.3>	50.8	(-11.6)	<-18.3>
有配偶	4.4	29.3	29.5	20.4	16.5	33.7	(12.5)	<16.6>	49.9	(-10.9)	<-15.5>
離別・死別	5.1	25.4	26.8	18.2	24.5	30.5	(11.6)	<11.7>	45.0	(-2.9)	<-9.1>
世帯類型											
単独世帯	5.3	24.9	26.1	17.0	26.7	30.2	(11.2)	<13.1>	43.1	(-8.6)	<-16.0>
一世代世帯	4.9	29.1	28.0	19.8	18.3	34.0	(12.4)	<18.4>	47.8	(-6.4)	<-17.4>
二世帯世帯	4.3	28.4	29.5	21.7	16.1	32.7	(12.7)	<14.7>	51.2	(-12.1)	<-14.6>
三世帯世帯	5.9	28.1	28.6	19.5	17.9	34.0	(10.2)	<14.4>	48.1	(-12.5)	<-14.8>
世帯収入											
~100万円未満	7.9	20.7	19.4	21.6	30.4	28.6	(-)	<->	41.0	(-)	<->
~200万円未満	5.3	23.0	26.3	19.9	25.5	28.3	(-)	<->	46.2	(-)	<->
~300万円未満	3.7	30.6	29.6	18.6	17.6	34.3	(-)	<->	48.2	(-)	<->
~400万円未満	6.4	26.3	30.1	21.5	15.8	32.7	(-)	<->	51.6	(-)	<->
~500万円未満	4.2	27.3	32.0	20.3	16.2	31.5	(-)	<->	52.3	(-)	<->
~600万円未満	5.1	32.4	29.4	19.2	13.9	37.5	(-)	<->	48.6	(-)	<->
~800万円未満	4.7	28.5	28.1	22.8	16.0	33.2	(-)	<->	50.9	(-)	<->
~1,000万円未満	4.5	32.1	29.2	22.5	11.8	36.6	(-)	<->	51.7	(-)	<->
1,000万円以上	2.4	32.0	32.0	22.4	11.2	34.4	(-)	<->	54.4	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

問2 - (16) 道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。

(関連の政策分野：安心と活力を生み出す基盤)

道路や公共交通機関等が整っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が40.3%で、『実感していない層』の割合(52.6%)より12.3ポイント低くなっています。

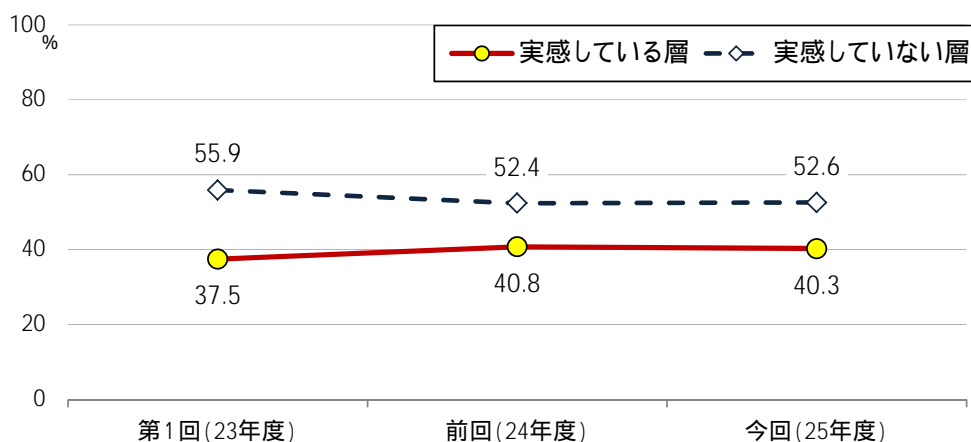
前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.5ポイント低く、『実感していない層』は0.2ポイント高くなっています。

第1回調査の割合と比較すると、『実感している層』が2.8ポイント高く、『実感していない層』は3.3ポイント低くなっています。

属性や属性項目における主な特徴(全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等)は次のとおりです。(統計的有意性は未確認)

- ・伊賀の『実感している層』は全体より11.9ポイント低い。
- ・東紀州の『実感している層』は前回調査より9.4ポイント、第1回調査より20.6ポイントそれぞれ高い。
- ・50歳代の『実感している層』は全体より5.2ポイント低い。
- ・70歳以上の『実感している層』は全体より5.3ポイント高い。
- ・自営業・自由業の『実感している層』は前回調査より6.6ポイント、第1回調査より2.7ポイントそれぞれ低い。
- ・学生の『実感している層』は全体より10.3ポイント高く、前回調査より9.4ポイント、第1回調査より11.6ポイントそれぞれ高い。

図表 2-2-32 道路や公共交通機関等が整っている(第1回調査からの推移)



「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-33 道路や公共交通機関等が整っている(属性別)

	感じる					実感している層			実感していない層		
	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	7.0	33.3	28.1	24.5	7.1	40.3	(-0.5)	<2.8>	52.6	(0.2)	<-3.3>
地域											
北勢	7.9	35.0	28.0	22.2	6.8	42.9	(-0.8)	<0.6>	50.2	(-0.7)	<-2.1>
伊賀	4.7	23.7	31.5	32.5	7.7	28.4	(-2.8)	<2.9>	64.0	(3.1)	<-4.1>
中南勢	6.7	35.4	28.1	23.0	6.9	42.1	(-0.5)	<2.2>	51.1	(0.7)	<-1.0>
伊勢志摩	5.7	31.6	27.1	27.9	7.7	37.3	(-1.2)	<6.6>	55.0	(2.8)	<-6.1>
東紀州	9.0	30.3	24.0	28.5	8.1	39.3	(9.4)	<20.6>	52.5	(-12.4)	<-23.9>
性別											
男性	7.4	32.8	29.5	25.6	4.8	40.2	(-1.9)	<2.3>	55.1	(2.0)	<-2.4>
女性	6.6	34.0	27.2	23.8	8.5	40.6	(0.9)	<3.4>	51.0	(-1.1)	<-3.7>
年齢											
20歳代	7.4	31.1	30.9	25.9	4.8	38.5	(-4.8)	<0.3>	56.8	(4.2)	<0.5>
30歳代	6.7	33.4	26.1	27.5	6.2	40.1	(2.1)	<2.6>	53.6	(-3.9)	<-6.1>
40歳代	6.8	33.1	27.4	27.9	4.9	39.9	(1.9)	<4.1>	55.3	(-2.4)	<-3.7>
50歳代	4.3	30.8	31.4	28.1	5.4	35.1	(-2.6)	<-0.7>	59.5	(2.4)	<-0.6>
60歳代	6.4	34.5	28.9	23.4	6.8	40.9	(-0.9)	<3.4>	52.3	(0.0)	<-4.1>
70歳以上	9.9	35.7	25.8	17.9	10.7	45.6	(0.6)	<5.8>	43.7	(0.7)	<-4.2>
主な職業											
農林水産業	6.9	34.5	24.1	25.3	9.1	41.4	(-2.6)	<4.8>	49.4	(-4.4)	<-6.9>
自営業・自由業	7.3	32.1	28.6	24.9	7.1	39.4	(-6.6)	<-2.7>	53.5	(4.7)	<1.3>
正規職員	5.4	33.3	30.0	27.0	4.2	38.7	(1.6)	<0.1>	57.0	(-2.4)	<-1.4>
パート・アルバイト・派遣	5.9	33.2	28.8	25.4	6.7	39.1	(0.6)	<2.5>	54.2	(-0.4)	<-4.1>
その他の職業	5.5	33.0	27.8	28.6	5.1	38.5	(0.5)	<5.7>	56.4	(1.8)	<-2.9>
学生	13.3	37.3	26.7	20.0	2.7	50.6	(9.4)	<11.6>	46.7	(-9.2)	<-11.8>
専業主婦・主夫	8.1	32.8	25.9	24.0	9.2	40.9	(-1.7)	<6.4>	49.9	(-1.0)	<-7.9>
無職	8.6	34.9	27.6	20.7	8.2	43.5	(-0.4)	<6.1>	48.3	(1.5)	<-3.8>
配偶関係											
未婚	7.5	32.1	29.8	23.6	7.0	39.6	(0.6)	<0.6>	53.4	(-0.8)	<-2.1>
有配偶	6.7	34.0	28.6	24.8	5.9	40.7	(-0.6)	<3.1>	53.4	(-0.4)	<-3.2>
離別・死別	6.5	32.9	25.6	24.5	10.4	39.4	(-1.7)	<3.0>	50.1	(3.9)	<-3.1>
世帯類型											
単独世帯	4.6	33.2	25.9	24.6	11.7	37.8	(-0.4)	<2.9>	50.5	(0.3)	<-3.9>
一世帯世帯	8.1	34.4	27.5	23.6	6.3	42.5	(0.4)	<5.0>	51.1	(1.0)	<-5.0>
二世帯世帯	6.0	33.9	29.1	25.0	6.1	39.9	(0.1)	<1.8>	54.1	(-1.0)	<-2.3>
三世帯世帯	8.1	30.5	29.4	25.0	7.1	38.6	(-4.3)	<-0.1>	54.4	(1.7)	<-0.7>
世帯収入											
~100万円未満	9.3	31.7	16.7	23.8	18.5	41.0	(-)	<->	40.5	(-)	<->
~200万円未満	7.7	29.6	24.3	27.6	10.9	37.3	(-)	<->	51.9	(-)	<->
~300万円未満	6.9	33.3	29.3	24.0	6.5	40.2	(-)	<->	53.3	(-)	<->
~400万円未満	7.4	36.5	27.6	23.5	4.9	43.9	(-)	<->	51.1	(-)	<->
~500万円未満	6.4	35.2	29.6	24.3	4.5	41.6	(-)	<->	53.9	(-)	<->
~600万円未満	7.2	32.2	32.2	24.1	4.3	39.4	(-)	<->	56.3	(-)	<->
~800万円未満	6.2	33.3	28.2	26.8	5.4	39.5	(-)	<->	55.0	(-)	<->
~1,000万円未満	6.2	35.4	30.5	23.2	4.7	41.6	(-)	<->	53.7	(-)	<->
1,000万円以上	4.9	36.8	31.7	24.1	2.5	41.7	(-)	<->	55.8	(-)	<->

世帯収入について、前回調査は個人収入を質問し、第1回調査では収入区分が同一でないことから、比較は行っていません。

3 . 生活や仕事のこと

第1回及び第2回調査の結果から、「就労や収入」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには「若者の就労」や「女性がこれまで以上に活躍できる環境」、「高齢者の就労」などが課題として挙げられることが明らかになってきました。

ここでは、「生活や仕事のこと」をテーマとして質問した「女性就労についての考え方」、「出勤時刻、帰宅時刻、通勤時間」、「希望する就業時間」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
女性就労についての考え方	・女性が働く（収入のある仕事をする）ことについて、あなたはどのように思いますか。 (問4)
女性就労についての考え方（仕事と子育てが両立しやすい場合）	（問4で、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び働く方がよい」と回答した方に） ・もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとするならば、どのように考えますか。 (問4 - 2)
職業	・あなたの主な職業は何ですか。 (問5)
出勤・帰宅時刻、通勤時間	・通常、仕事のために家を出る時刻、家に帰る時刻、通勤時間はどのくらいですか。 (問5 - 3)
希望する就業時間	・もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるとすれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。 (問3)
就業時間	・通常、一週間に働く時間（残業時間を含み、通勤時間は除く）はどのくらいですか。 (問5 - 2)
（参考集計） 就業時間の希望と現状	・就業時間の希望（問3）と現状（問5 - 2）との関係

女性が働く（収入のある仕事をする）ことについて、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。（は1つだけ） （問4）

➤ 女性就労についての考え方

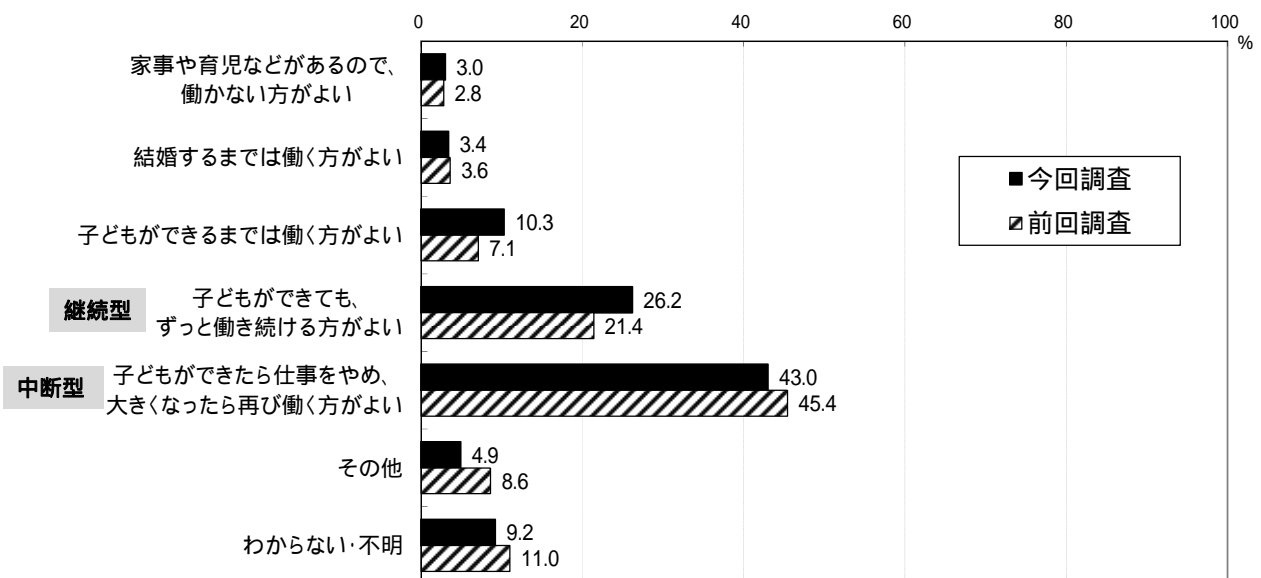
女性が働くことについてどう思うか質問したところ、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び働くほうがよい」の『中断型』が43.0%と最も高く、次いで「子どもができて、ずっと働き続けるほうがよい」の『継続型』（26.2%）となっています。

前回調査と比較すると、『中断型』と『継続型』の順位に変更はありませんが、『中断型』が2.4ポイント低くなった一方、『継続型』は4.8ポイント高くなっています。

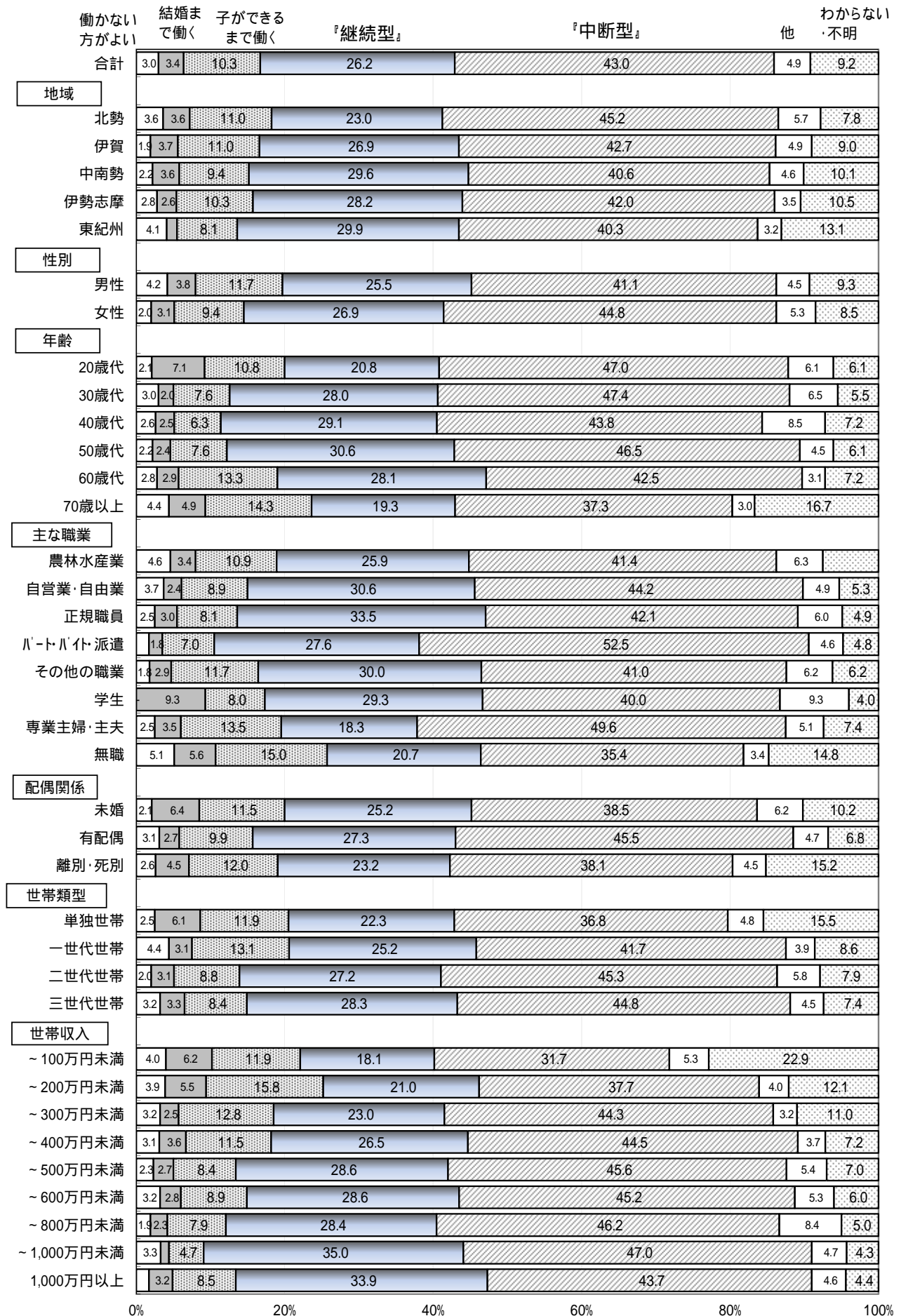
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・20歳代は『継続型』が全体より5.4ポイント低い。
- ・パート・アルバイト・派遣社員は『中断型』が全体より9.5ポイント高い。
- ・専業主婦・主夫は『中断型』が全体より6.6ポイント高く、『継続型』が7.9ポイント低い。

図表 2-3-1 女性就労についての考え方



図表 2-3-2 女性就労についての考え方(属性別)



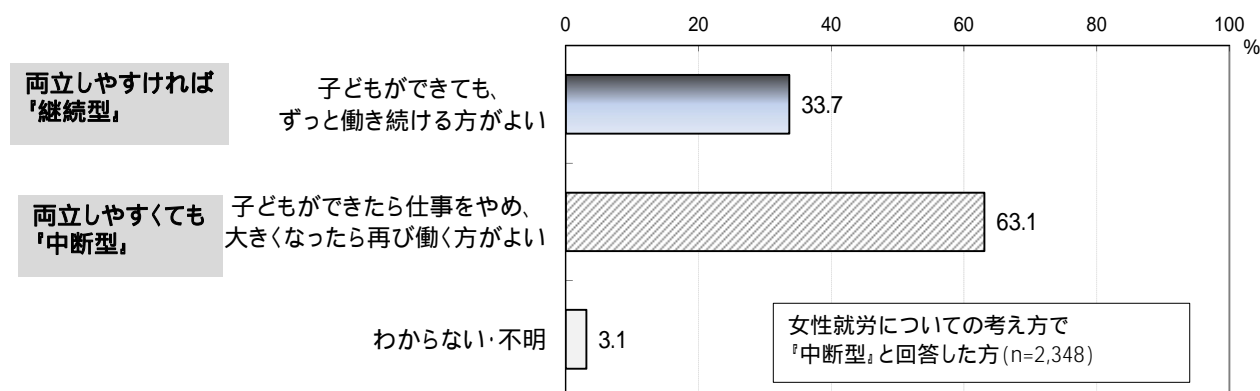
(女性就労についての考え方の質問で、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び働く方がよい」と回答した方に)

もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとするならば、どのように考えますか。(は1つだけ) (問4-2)

➤ 女性就労についての考え方(仕事と子育てが両立しやすい場合)

女性就労についての考え方の質問について『中断型』と回答した方に、仕事と子育てが両立しやすい場合の考え方を質問したところ、「両立しやすければ『継続型』」の割合が33.7%、「両立しやすくても『中断型』」が63.1%となっています。

図表 2-3-3 女性就労についての考え方(仕事と子育てが両立しやすい場合)

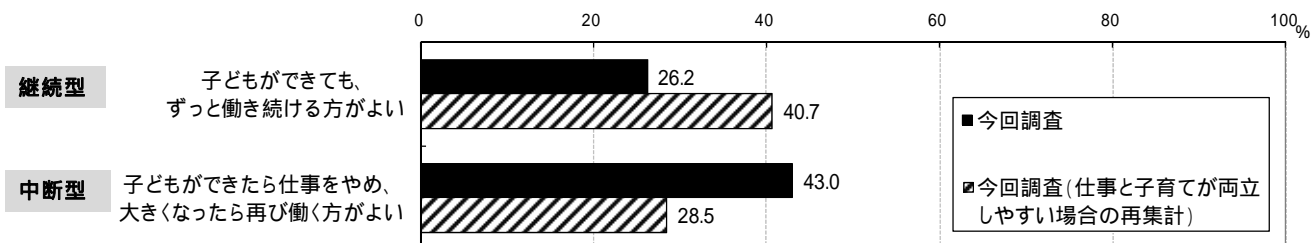


➤ 女性就労についての考え方の再質問(仕事と子育てが両立しやすい場合)を含めた集計

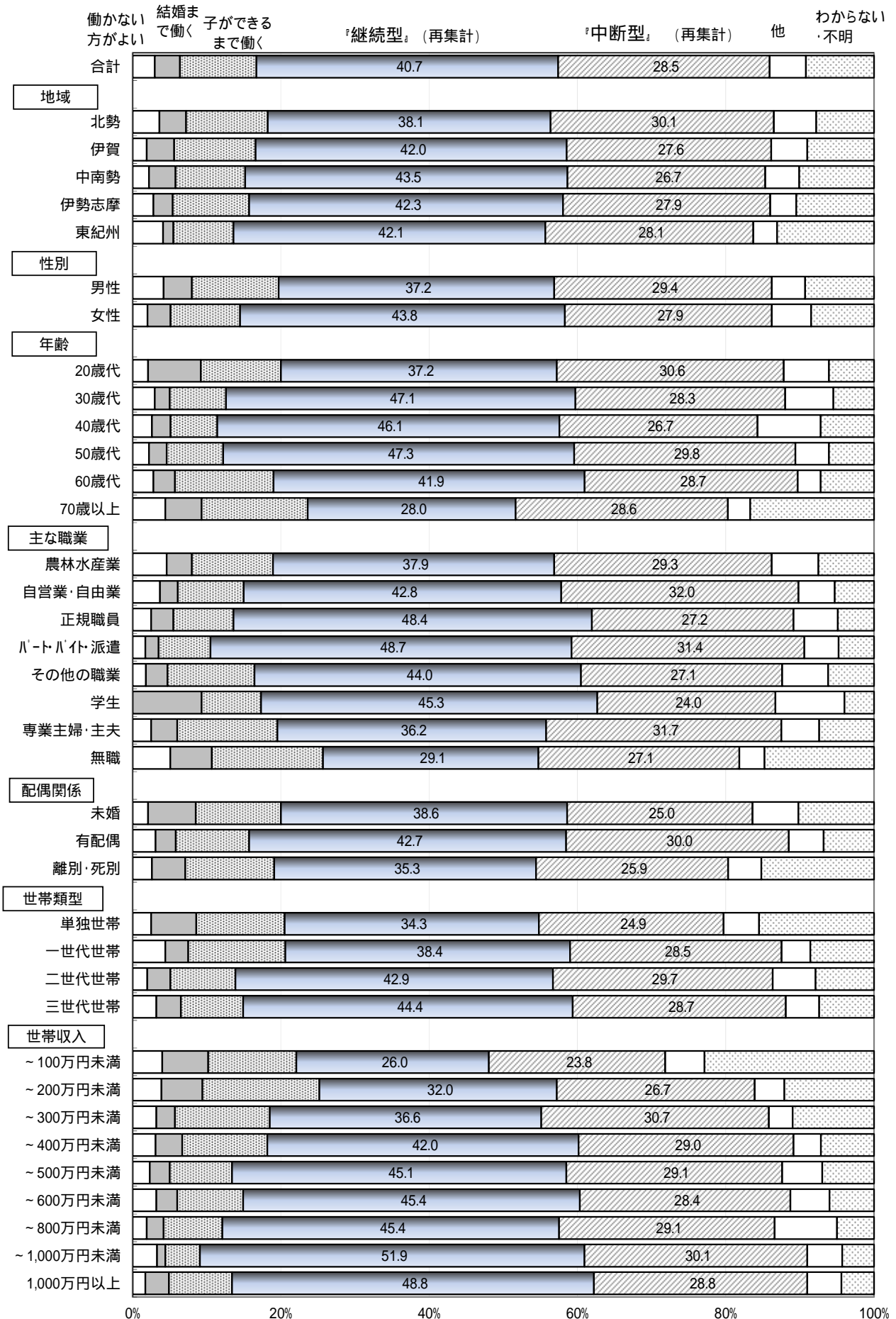
女性就労に対する考え方について、『中断型』と回答した方に対する仕事と子育てが両立しやすい場合の再質問を含めて集計すると、『継続型』の割合が26.2%から40.7%へ14.5ポイント増加し、『中断型』の割合が43.0%から28.5%へ14.5ポイント減少することになります。

- ・性別では女性は『継続型』が男性より6.6ポイント高くなっています。
- ・30歳代から50歳代までは『継続型』が全体より5ポイント以上高くなっています。

図表 2-3-4 女性就労についての考え方(仕事と子育てが両立した場合の再質問を含めた集計)



図表 2-3-5 女性就労についての考え方(仕事と子育てが両立した場合の再質問を含めた集計)(属性別)



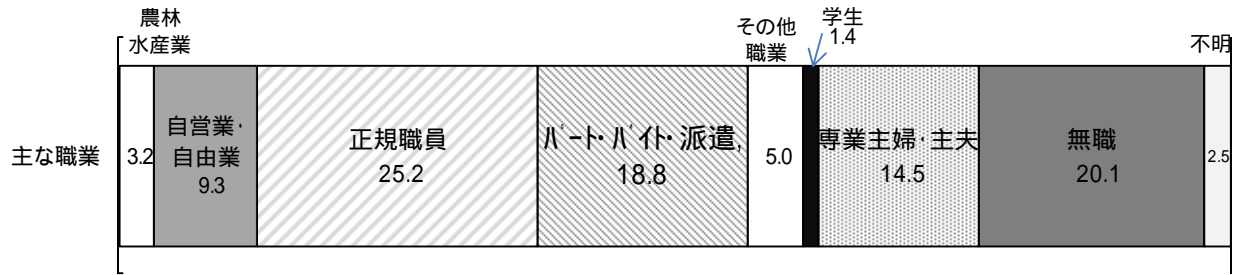
あなたの主な職業は何ですか。(は1つだけ)

問5

➤ 主な職業

主な職業の構成割合は、「農林水産業」が 3.2%、「自営業、自由業」が 9.3%、「正規職員」が 25.2%、「パート・アルバイト・派遣社員」が 18.8%、「その他の職業」が 5.0%、「学生」が 1.4%、「専業主婦・主夫」が 14.5%、「無職」が 20.1%となっています。

図表 2-3-6 主な職業



(問5の主な職業で、「農林水産業」、「自営業、自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート、派遣社員など」、「その他、収入のある仕事」と回答した方に)

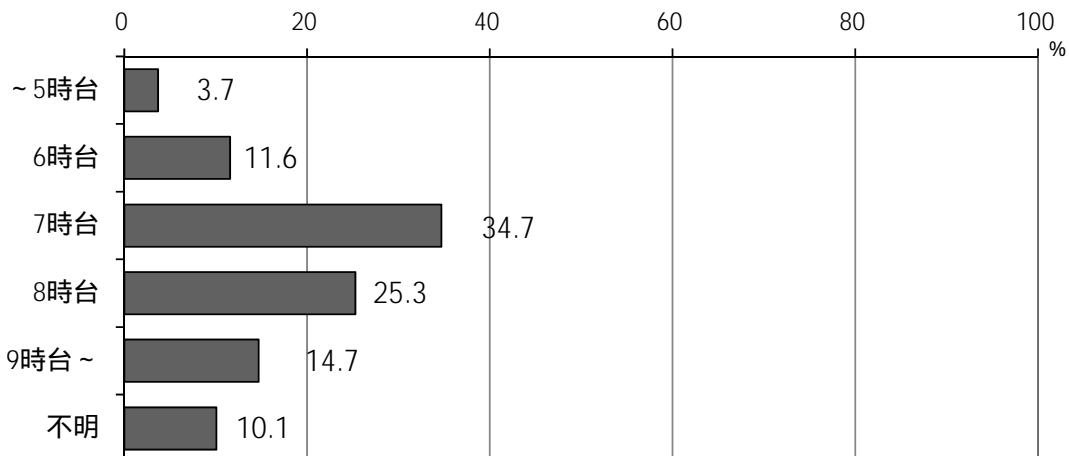
通常、仕事のために家を出る時刻、家に帰る時刻、通勤時間はどのくらいですか。

問5 - 3

➤ (1) 出勤時刻

仕事のために家を出る時刻を質問したところ、7時台(34.7%)、8時台(25.3%)の順に高くなっています。平均の時刻は8時1分となっています。

図表 2-3-7 出勤時刻

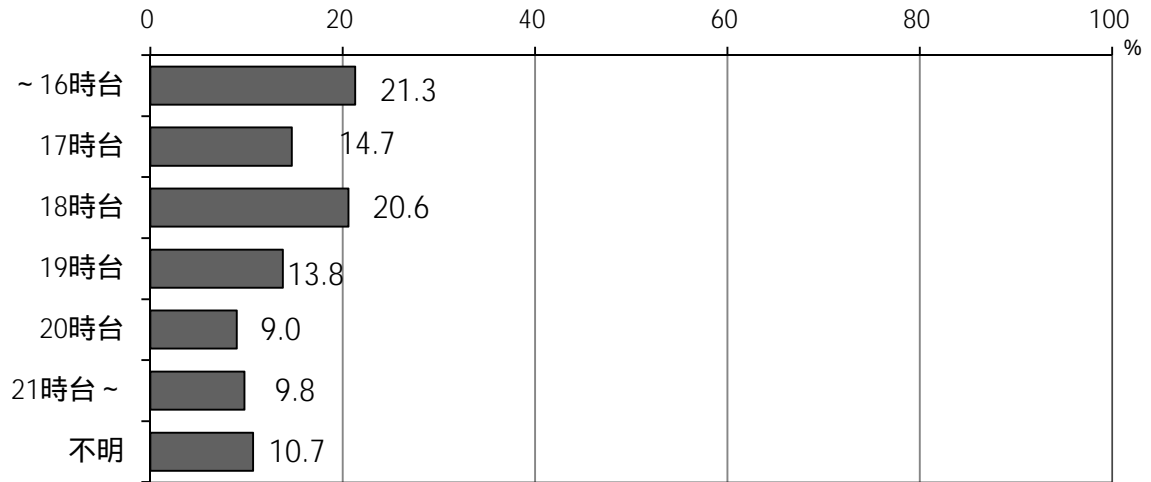


0時から5時59分までを「~5時台」、9時から23時59分までを「9時台~」としています。

➤ (2) 帰宅時刻

仕事から家に帰る時刻を質問したところ、平均時刻は17時45分で、16時台までの割合が21.3%で最も高くなっています。

図表 2-3-8 帰宅時刻

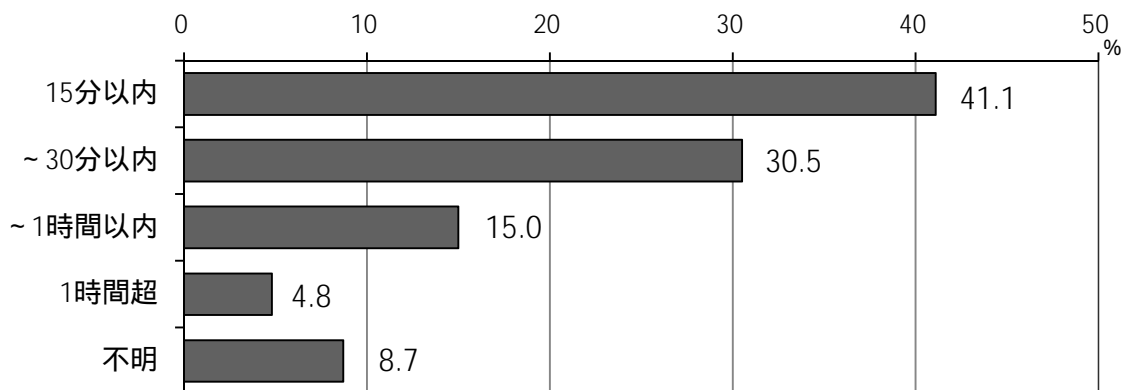


0時から16時59分までを「~16時台」、21時から23時59分までを「21時台~」としています。

➤ (3) 通勤時間

通勤時間の平均は25分で、「15分以内」が41.1%、「16分以上30分以内」が30.5%、「31分以上1時間以内」が15.0%、「1時間超」が4.8%となっています。

図表 2-3-9 通勤時間



もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるとすれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。
（ は1つだけ） （問3）

➤ 希望する就業時間

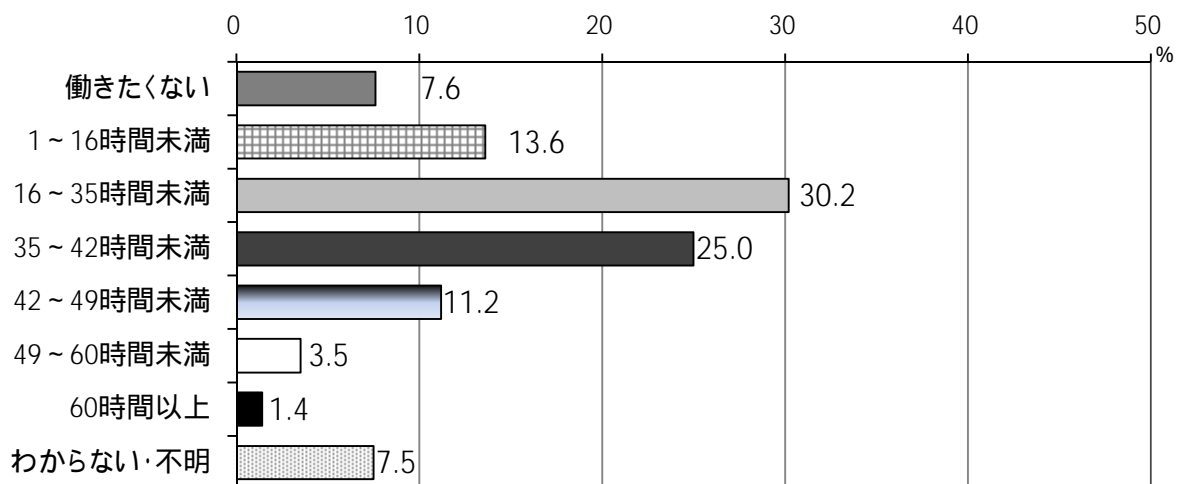
希望する就業時間（1週間）を現在働いていない方も含め全員に質問したところ、「16～35 時間未満」の割合が30.2%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（25.0%）、「1～16 時間未満」（13.6%）の順となっています。

また、「働きたくない」の割合は7.6%、「60時間以上」は1.4%となっています。

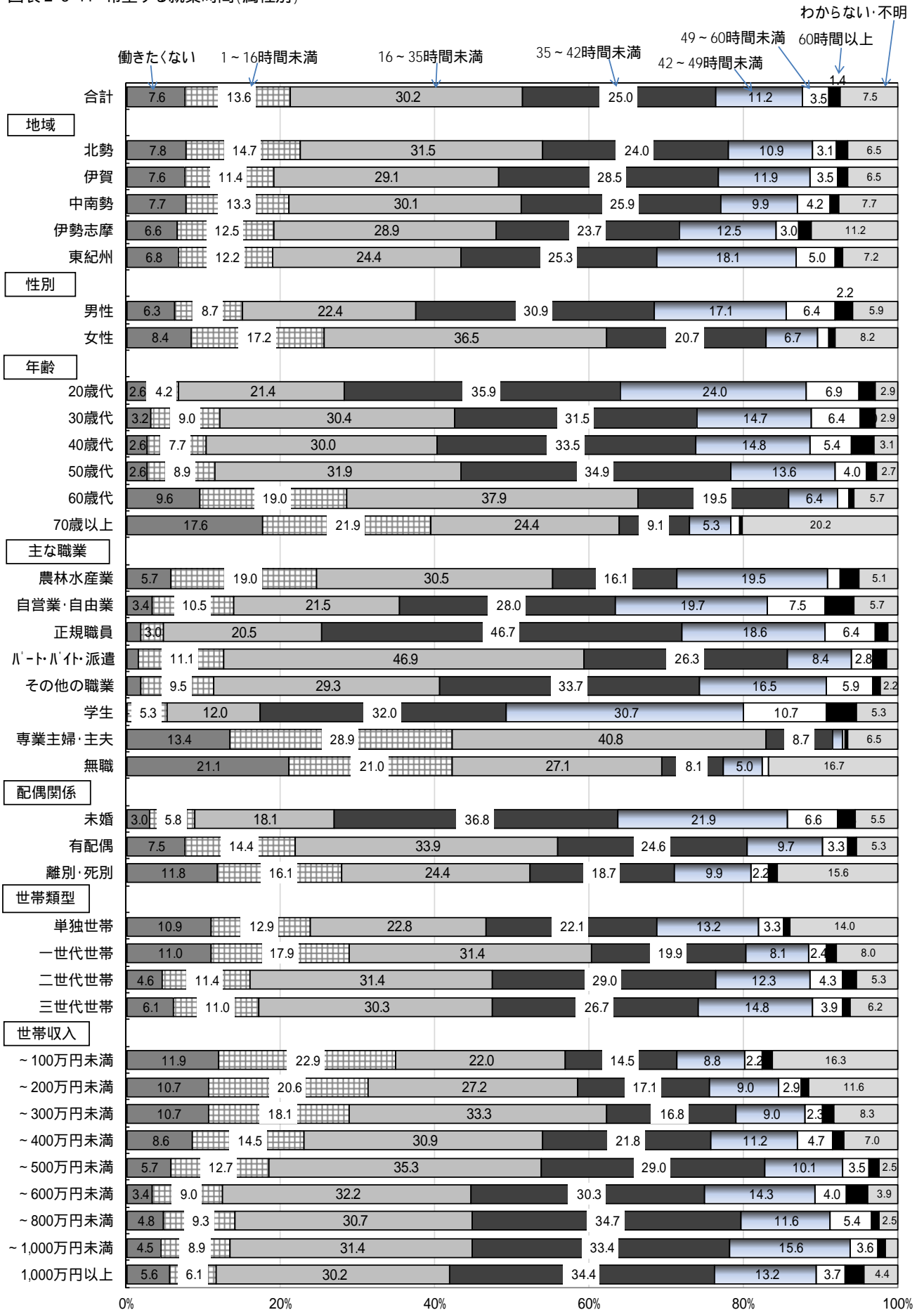
属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

- ・男性は「35～42 時間未満」が30.9%で最も高く、次いで「16～35 時間未満」（22.4%）、「42～49 時間未満」（17.1%）の順。
- ・女性は「16～35 時間未満」が36.5%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（20.7%）、「1～16 時間未満」（17.2%）の順。
- ・パート・アルバイト・派遣社員は「16～35 時間未満」が46.9%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（26.3%）、「1～16 時間未満」（11.1%）の順。
- ・専業主婦・主夫は「16～35 時間未満」が40.8%で最も高く、次いで「1～16 時間未満」（28.9%）、「働きたくない」（13.4%）の順。
- ・無職は「16～35 時間未満」が27.1%で最も高く、次いで「働きたくない」（21.1%）、「1～16 時間未満」（21.0%）の順。

図表 2-3-10 希望する就業時間



図表 2-3-11 希望する就業時間(属性別)



(問5の主な職業で、「農林水産業」、「自営業、自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート、派遣社員など」、「その他、収入のある仕事」と回答した方に)

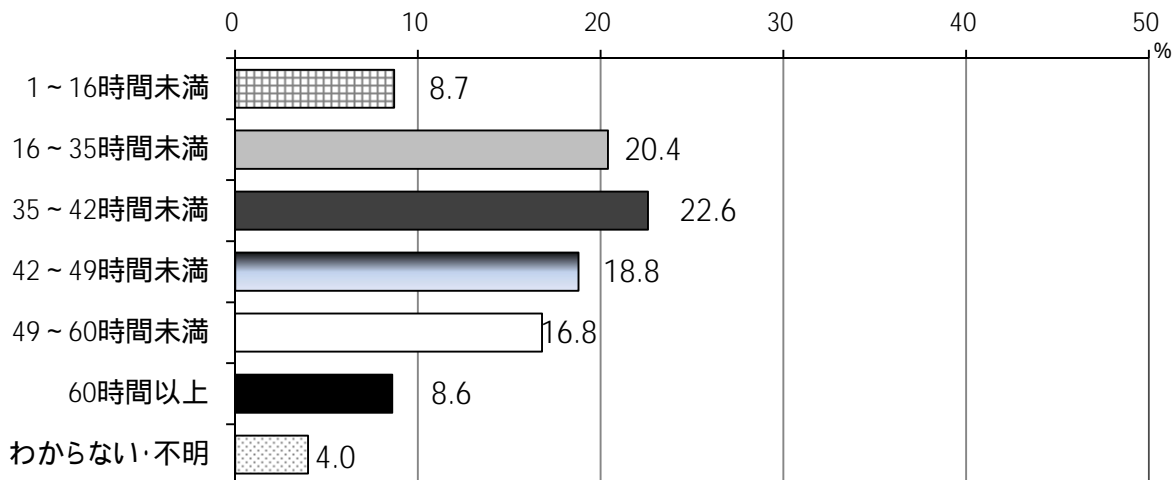
通常、1週間に働く時間(残業時間を含み、通勤時間は除く)はどのくらいですか。

問5 - 2

➤ 1週間の平均的な就業時間

1週間の平均的な就業時間は、「35～42時間未満」が22.6%で最も高く、次いで「16～35時間未満」(20.4%)、「42～49時間未満」(18.8%)の順となっています。

図表 2-3-12 一週間の平均的な就業時間

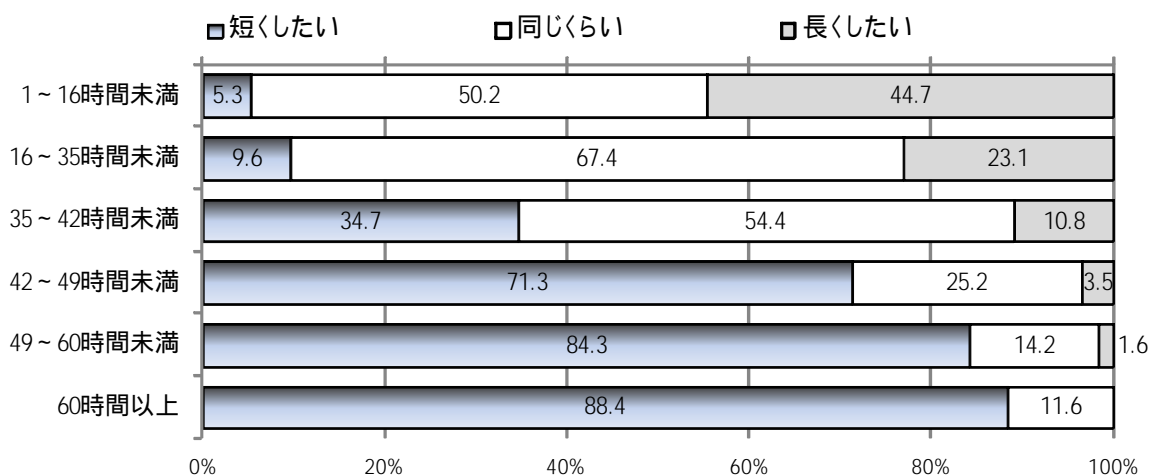


➤ 就業時間の希望と現状（参考集計）

就業時間の希望（問3）と現状（問5-2）との関係を見ると、以下のとおりです。

- ・現在の就業時間が1～16時間未満の層は、「短くしたい(働きたくない)」を希望する割合が5.3%、「同じくらい(1～16時間未満)」が50.2%、「長くしたい(16時間以上)」が44.7%となっています。
- ・現在の就業時間が16～35時間未満の層は、「短くしたい(働きたくない～16時間未満)」が9.6%、「同じくらい(16～35時間未満)」が67.4%、「長くしたい(35時間以上)」が23.1%となっています。
- ・現在の就業時間が35～42時間未満の層は、「短くしたい(働きたくない～35時間未満)」が34.7%、「同じくらい(35～42時間未満)」が54.4%、「長くしたい(42時間以上)」が10.8%となっています。
- ・現在の就業時間が42～49時間未満の層は、「短くしたい(働きたくない～42時間未満)」が71.3%、「同じくらい(42～49時間未満)」が25.2%、「長くしたい(49時間以上)」が3.5%となっています。
- ・現在の就業時間が49～60時間未満の層は、「短くしたい(働きたくない～49時間未満)」が84.3%、「同じくらい(49～60時間未満)」が14.2%、「長くしたい(60時間以上)」が1.6%となっています。
- ・現在の就業時間が60時間以上の層は、「短くしたい(働きたくない～60時間未満)」が88.4%、「同じくらい(60時間以上)」が11.6%となっています。

図表 2-3-13 就業時間の希望と現状



主な職業が農林水産業、自営業・自由業、正規職員、パート・アルバイト・派遣社員、その他の職業のいずれかで、かつ現在と希望の就業時間のいずれにも「わからない」以外の回答があったものを対象に集計。(n=3,165)

短くしたい…希望する就業時間で回答した選択肢が、現在の就業時間(問5-2)で回答した選択肢より短い区分の場合
 同じくらい…希望する就業時間で回答した選択肢が、現在の就業時間(問5-2)で回答した選択肢と同じ区分の場合
 長くしたい…希望する就業時間で回答した選択肢が、現在の就業時間(問5-2)で回答した選択肢より長い区分の場合

4 . 地域や社会とのつながり

第1回及び第2回調査の結果から、「地域や社会とのつながり」は県民の幸福実感と密接な関連があることが明らかになってきました。

ここでは、「地域や社会とのつながり」をテーマとして質問した「地域の住みやすさ」や「会話の程度」、「地域活動への参加状況と意欲」の集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
地域の住みやすさ	<p>・あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。</p> <p style="text-align: right;">(問6)</p>
会話の程度 (参考集計) ふだん会話しない層	<p>・あなたは、ご家族やご近所、職場や学校の方、友人や知人の誰かと、ふだんの程度、直接会って会話をしていますか。(電話やメールなどの対面ではない場合は除きます。また店での注文など、知らない人との会話も除きます。)</p> <p>(1)家族 (2)近所の人 (3)職場や学校の人 (4)友人・知人</p> <p style="text-align: right;">(問7)</p> <p>・会話の程度が「月に1回～年に数回」、「年に1回」、「まったくしていない(もしくはいない)」の場合を『ふだん会話しない』とみなし、家族、近所の人、職場や学校の人、友人・知人を合わせて集計。</p>
地域活動への参加状況と意欲	<p>・あなたは、今までに、自治会やボランティア、サークル、団体などで行う次のような活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いませんか。</p> <p>(1)教育を助ける活動 (2)結婚支援や子育てを助ける活動 (3)防犯・防災・交通安全の活動 (4)要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動 (5)まちづくり、地域振興の活動 (6)環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動 (7)運動・スポーツ活動 (8)文化芸術・趣味・娯楽活動</p> <p style="text-align: right;">(問8)</p>

あなたにとって、現在お住まいの地域は住みやすいですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

問6

➤ 地域の住みやすさ

お住まいの地域が住みやすいか質問したところ、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合計した『肯定的回答』の割合が 81.1%で、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合計した『否定的回答』の割合(12.2%)より 68.9 ポイント高くなっています。

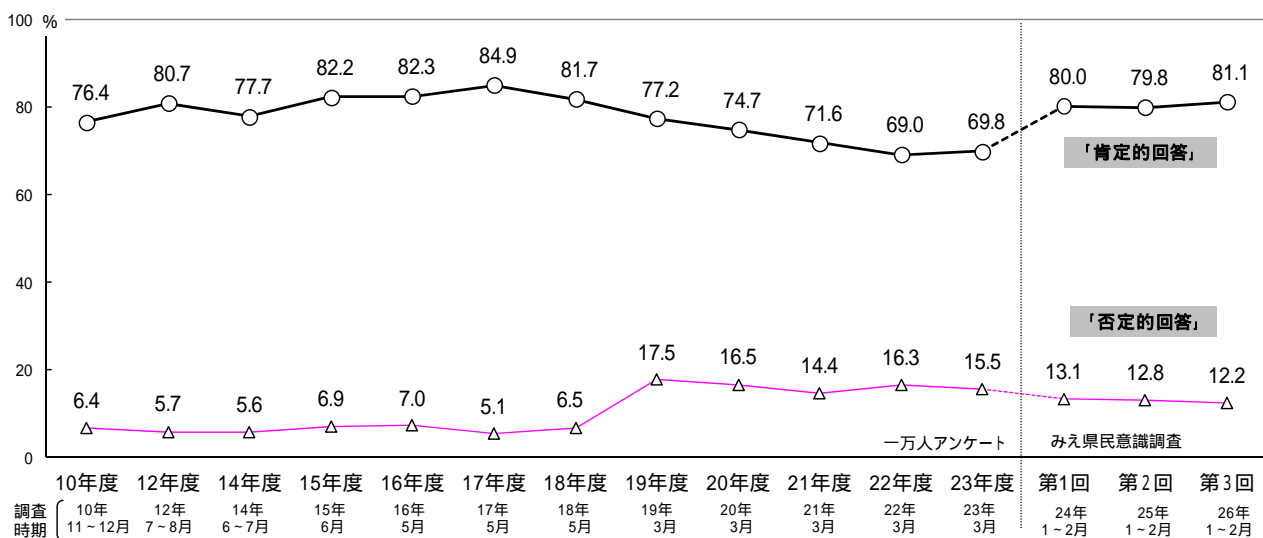
前回調査と比較すると『肯定的回答』の割合が 1.3 ポイント高く、『否定的回答』の割合は 0.6 ポイント低くなっています。

第1回調査と比較すると『肯定的回答』の割合が 1.1 ポイント高く、『否定的回答』の割合は 0.9 ポイント低くなっています。

➤ 一万人アンケートの結果を含む推移

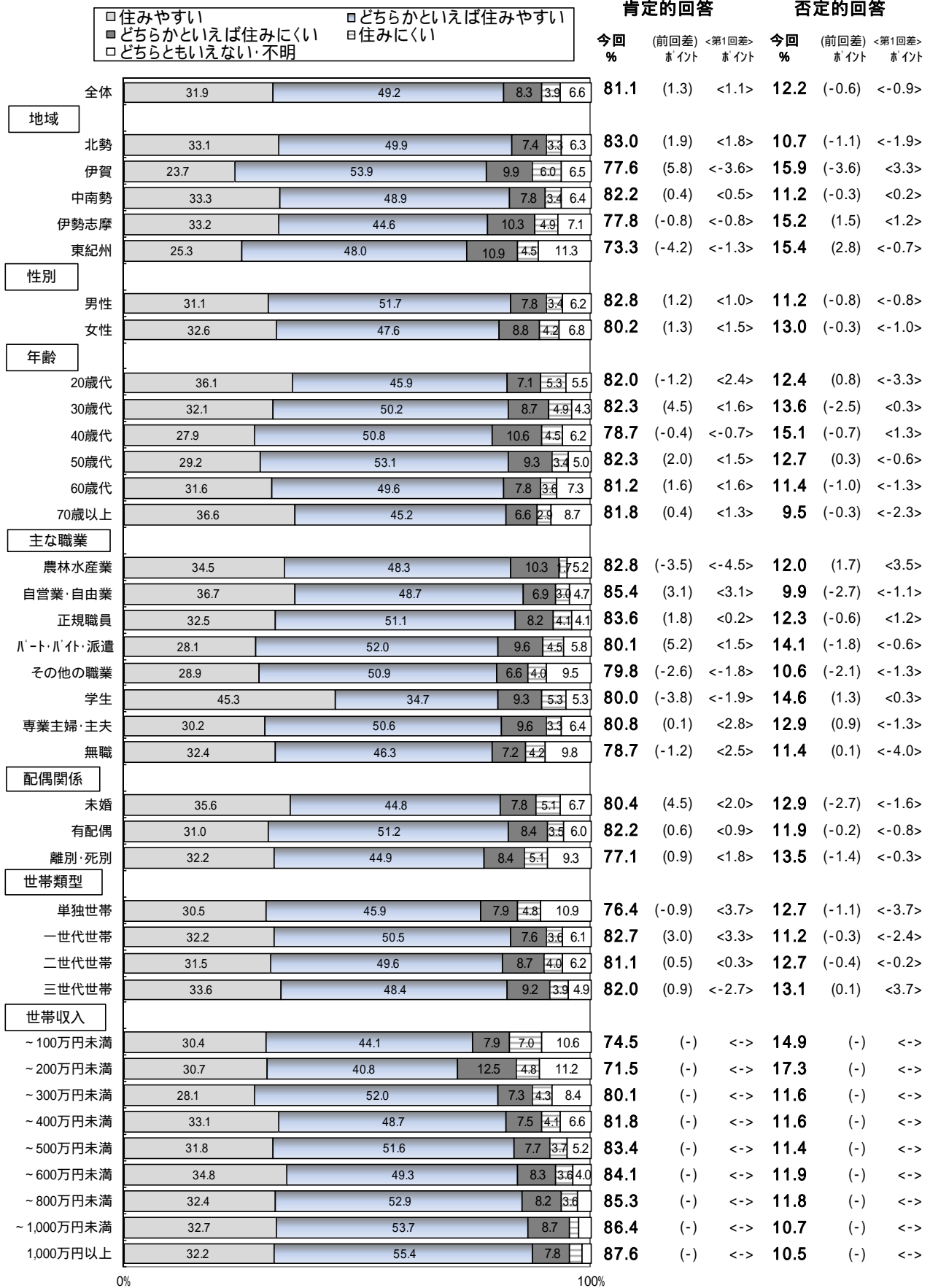
地域の住みやすさについての意識は一万人アンケート(平成10年度~23年度実施)から継続して調査しています。一万人アンケートの結果を含む推移は以下のとおりです。

図表 2-4-1 (参考)一万人アンケート(23年度まで)とみえ県民意識調査の「地域の住みやすさ」の推移



一万人アンケートの「肯定的回答」…「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合計したもの。
一万人アンケートの「否定的回答」…「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合計したもの。

図表 2-4-2 地域の住みやすさ(属性別)



「肯定的回答」の割合・・・「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 「否定的回答」の割合・・・「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

あなたは、ご家族やご近所、職場や学校の方、友人や知人の誰かと、ふだんどの程度、直接会って会話をしていますか。(電話やメールなどの対面ではない場合は除きます。また店での注文など、知らない人との会話も除きます)(は1つずつ、合計4つ) 問7

➤ 会話の程度 (4項目全体の集計結果)

項目毎の集計結果は65ページから68ページに記載

どの程度会って会話をしているかを「家族」、「近所の人」、「職場や学校の人」、「友人・知人」に分けて質問しました。

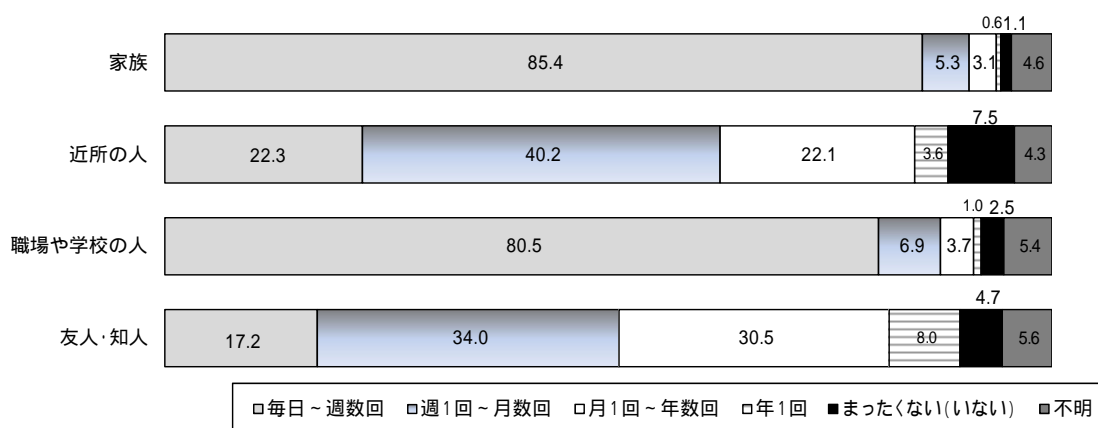
家族との会話の程度については、「毎日～週に数回」が85.4%、「週に1回～月に数回」が5.3%、「月に1回～年に数回」が3.1%、「年に1回」が0.6%、「まったくしていない(もしくはいない)」が4.6%となっています。

近所の人との会話の程度については、「毎日～週に数回」が22.3%、「週に1回～月に数回」が40.2%、「月に1回～年に数回」が22.1%、「年に1回」が3.6%、「まったくしていない(もしくはいない)」が7.5%となっています。

職場や学校の人との会話の程度については、専業主婦・主夫及び無職を除いて集計したところ、「毎日～週に数回」が80.5%、「週に1回～月に数回」が6.9%、「月に1回～年に数回」が3.7%、「年に1回」が1.0%、「まったくしていない(もしくはいない)」が2.5%となっています。

友人・知人との会話の程度については、「毎日～週に数回」が17.2%、「週に1回～月に数回」が34.0%、「月に1回～年に数回」が30.5%、「年に1回」が8.0%、「まったくしていない(もしくはいない)」が4.7%となっています。

図表 2-4-3 会話の程度

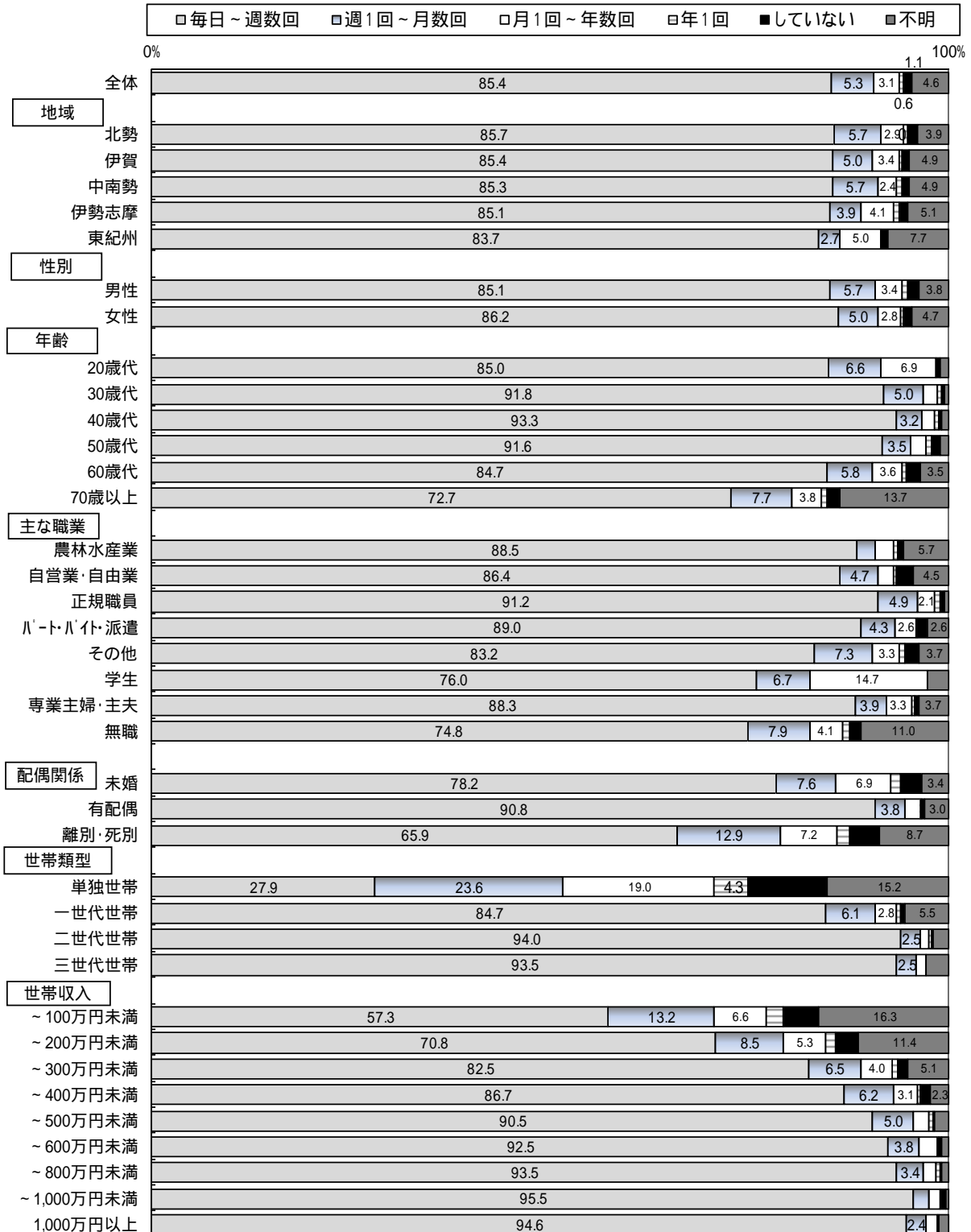


「家族」、「近所の人」、「友人・知人」は有効回答者全てを対象に集計し (n=5,456) 「職場や学校の人」は「専業主婦・主夫」、「無職」と回答した人を除いて集計しています。(n=3,431)

➤ (1) 家族との会話の程度

家族との会話の程度は、「毎日～週に数回」が85.4%、「週に1回～月に数回」が5.3%、「月に1回～年に数回」が3.1%、「年に1回」が0.6%、「まったくしていない(もしくはいない)」が1.1%となっています。

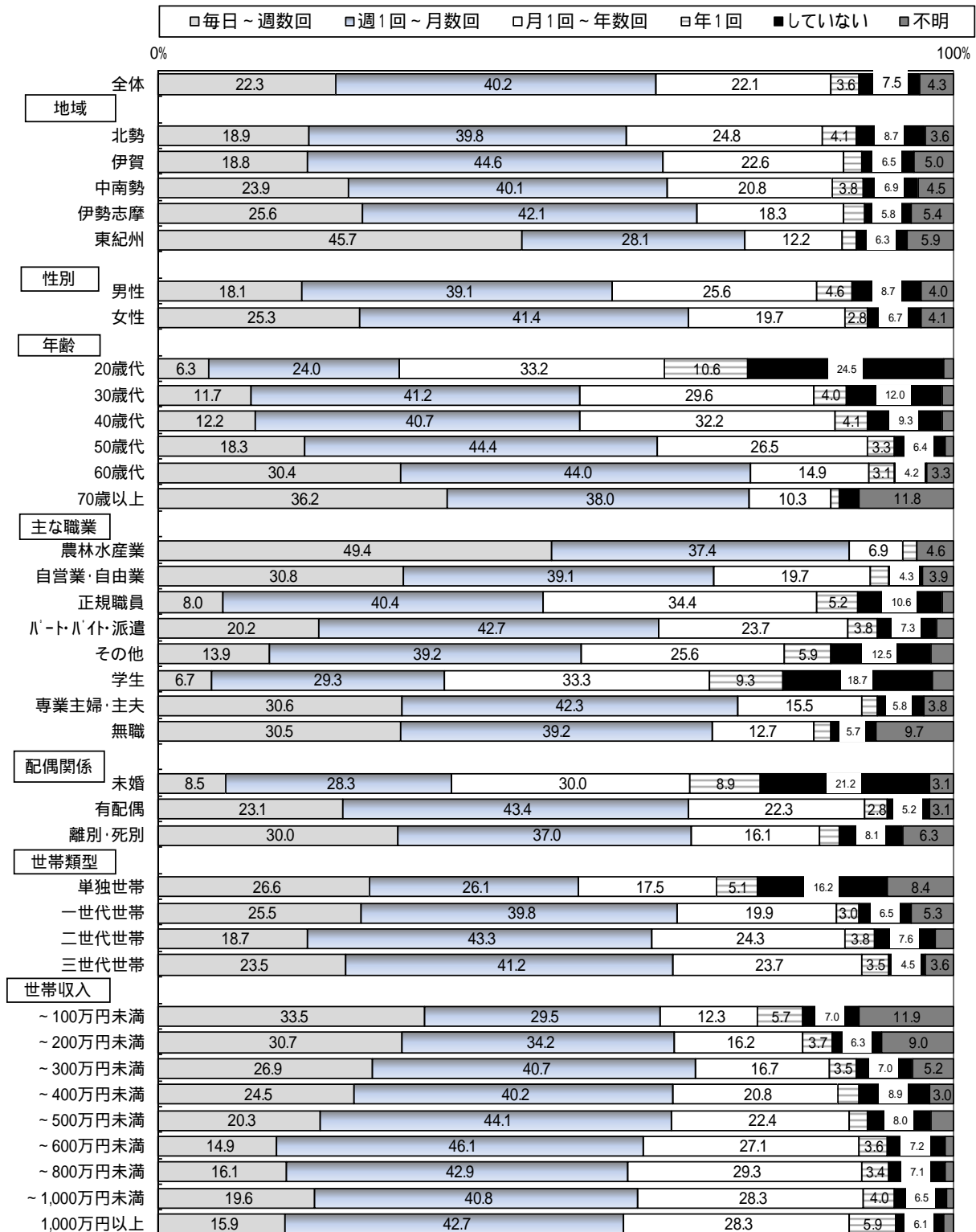
図表 2-4-4 会話の程度(家族・属性別)



➤ (2) 近所の人との会話の程度

近所の人との会話の程度については、「毎日～週に数回」が22.3%、「週に1回～月に数回」が40.2%、「月に1回～年に数回」が22.1%、「年に1回」が3.6%、「まったくしていない(もしくははない)」が7.5%となっています。

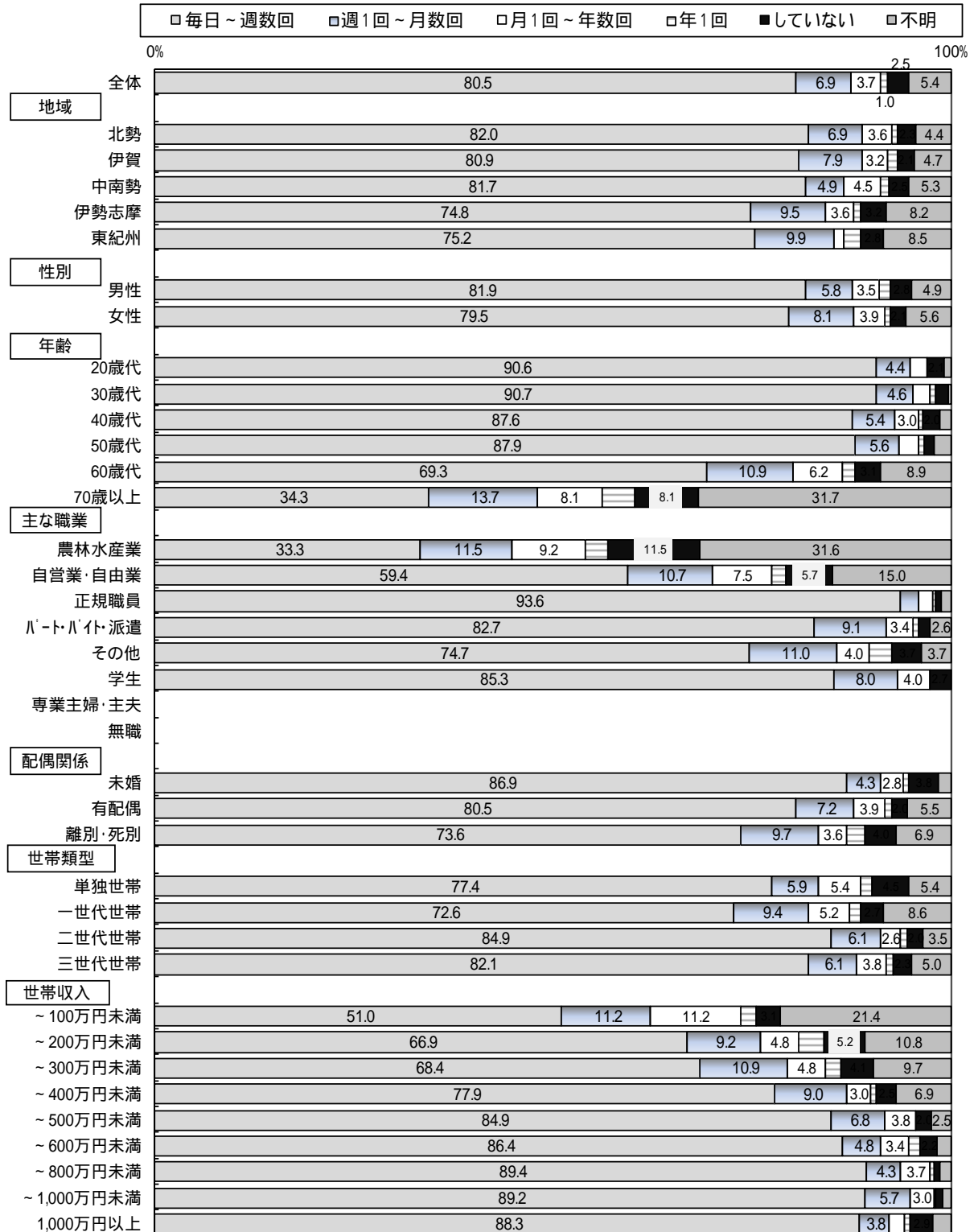
図表 2-4-5 会話の程度(近所の人・属性別)



➤ (3) 職場や学校の人との会話の程度

職場や学校の人との会話の程度については、専業主婦・主夫及び無職を除いて集計したところ、「毎日～週に数回」が80.5%、「週に1回～月に数回」が6.9%、「月に1回～年に数回」が3.7%、「年に1回」が1.0%、「まったくしていない(もしくはいない)」が2.5%となっています。

図表 2-4-6 会話の程度(職場や学校の人・属性別)

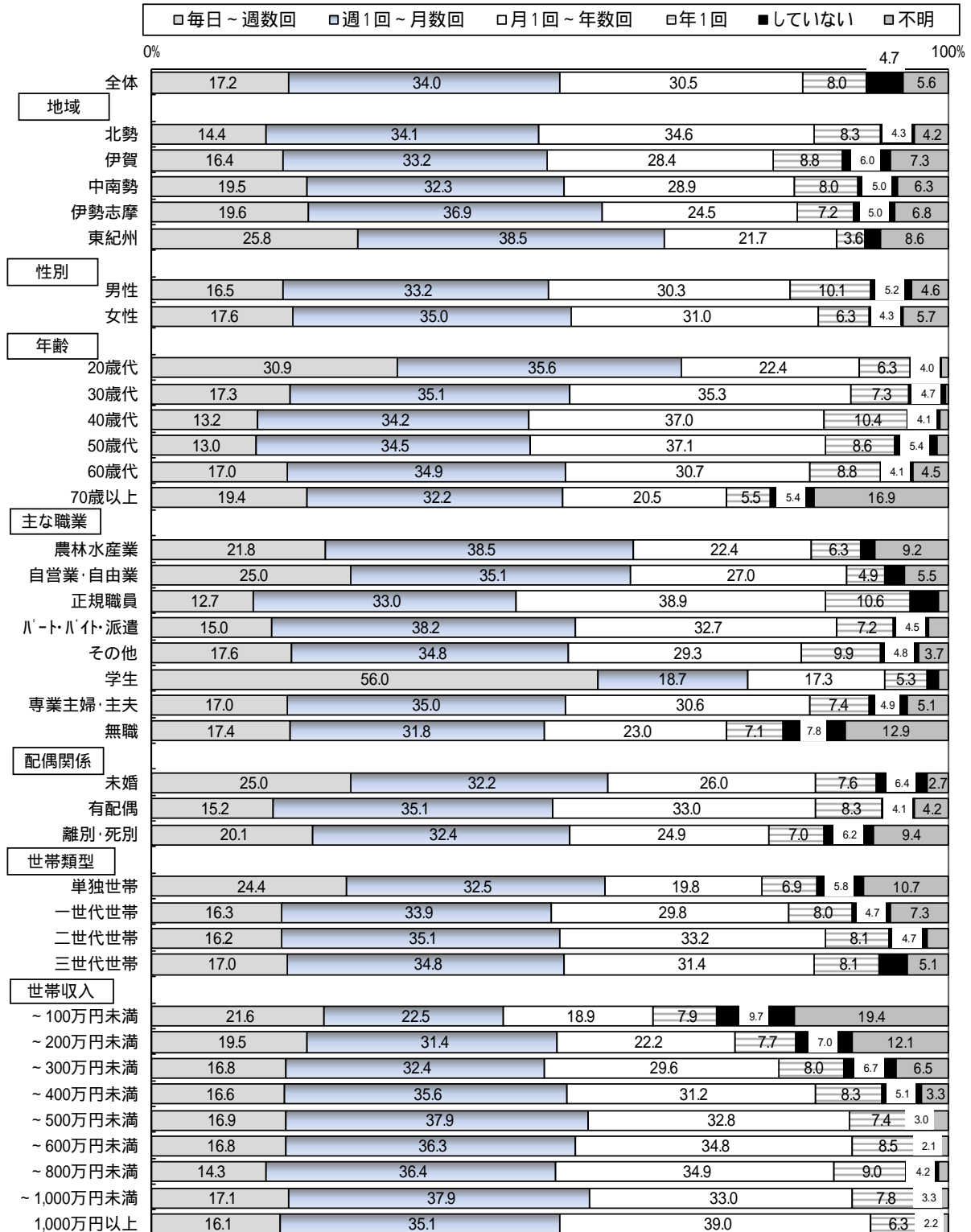


n=3,431 (主な職業で「専業主婦・主夫」、「無職」と回答した人を除く。)

➤ (4) 友人・知人との会話の程度

友人・知人との会話の程度については、「毎日～週に数回」が17.2%、「週に1回～月に数回」が34.0%、「月に1回～年に数回」が30.5%、「年に1回」が8.0%、「まったくしていない(もしくははいない)」が4.7%となっています。

図表 2-4-7 会話の程度(友人・知人・属性別)

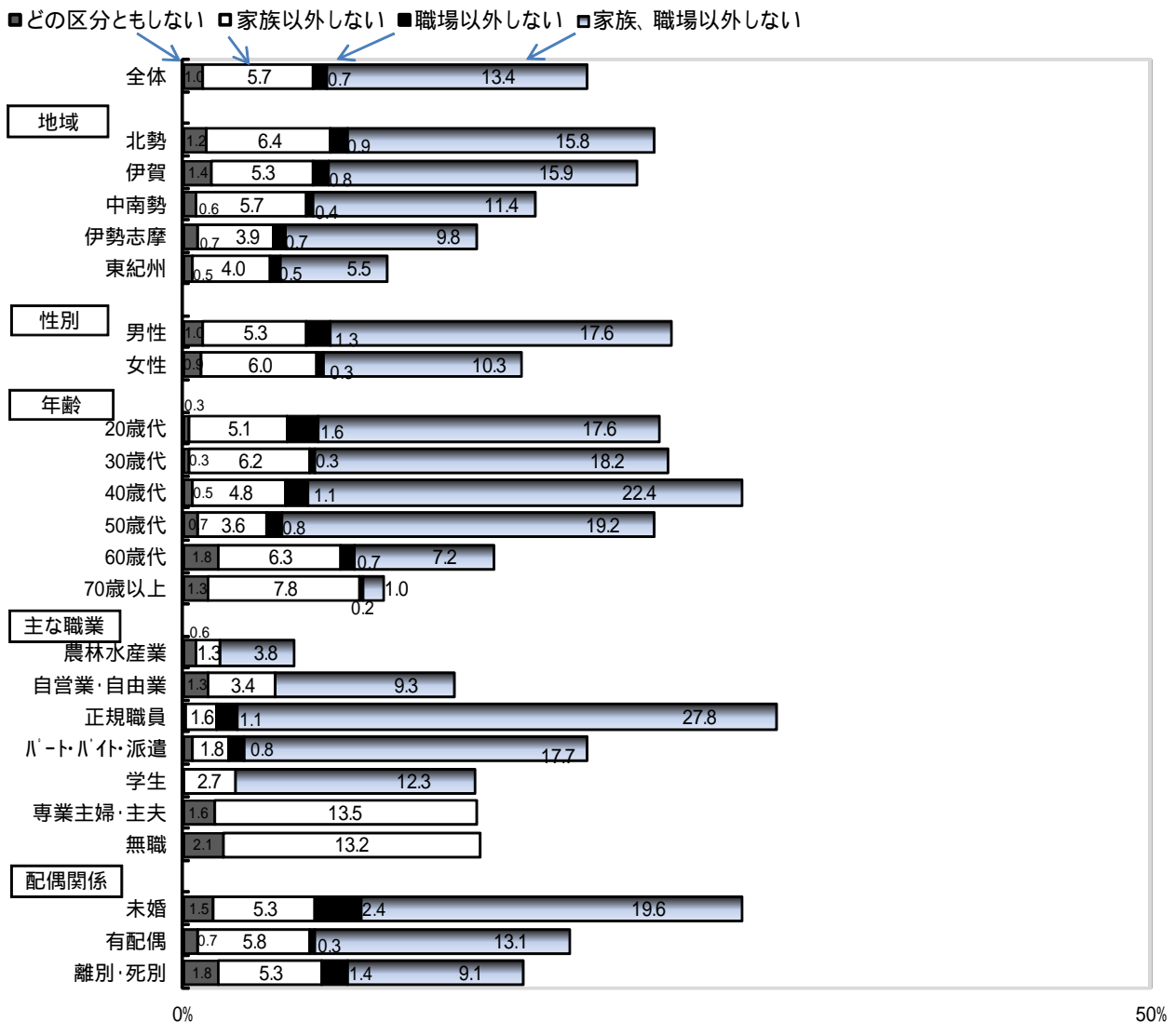


➤ ふだん会話しない層（参考集計）

会話の程度が「月に1回～年に数回」、「年に1回」、「まったくしていない（もしくはいない）」の場合を『ふだん会話しない』とみなし、家族、近所の人、職場や学校の人、友人・知人を合わせて集計しました。

- ・どの区分の人とも『ふだん会話しない』割合は1.0%となっています。
- ・家族以外と『ふだん会話しない』は5.7%で、属性項目別では、専業主婦・主夫や無職などが高くなっています。
- ・職場や学校の人以外と『ふだん会話しない』は0.7%となっています。
- ・家族、職場や学校の人以外と『ふだん会話しない』は13.4%で、属性項目別では、男性や40歳代、正規職員などが高くなっています。

図表 2-4-8 ふだん会話しない層



近所の人及び友人・知人のいずれかもしくはいずれにも回答がなかったものを除外して集計（n=5,060）

あなたは、今までに、自治会やボランティア、サークル、団体などで行う次のような活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。あてはまるものを1つずつ選んでください。(はそれぞれ1つずつ、合計8つ)

問8

➤ 地域活動への参加状況と意欲（8項目全体の集計結果）

項目毎の集計結果は71ページから78ページに記載

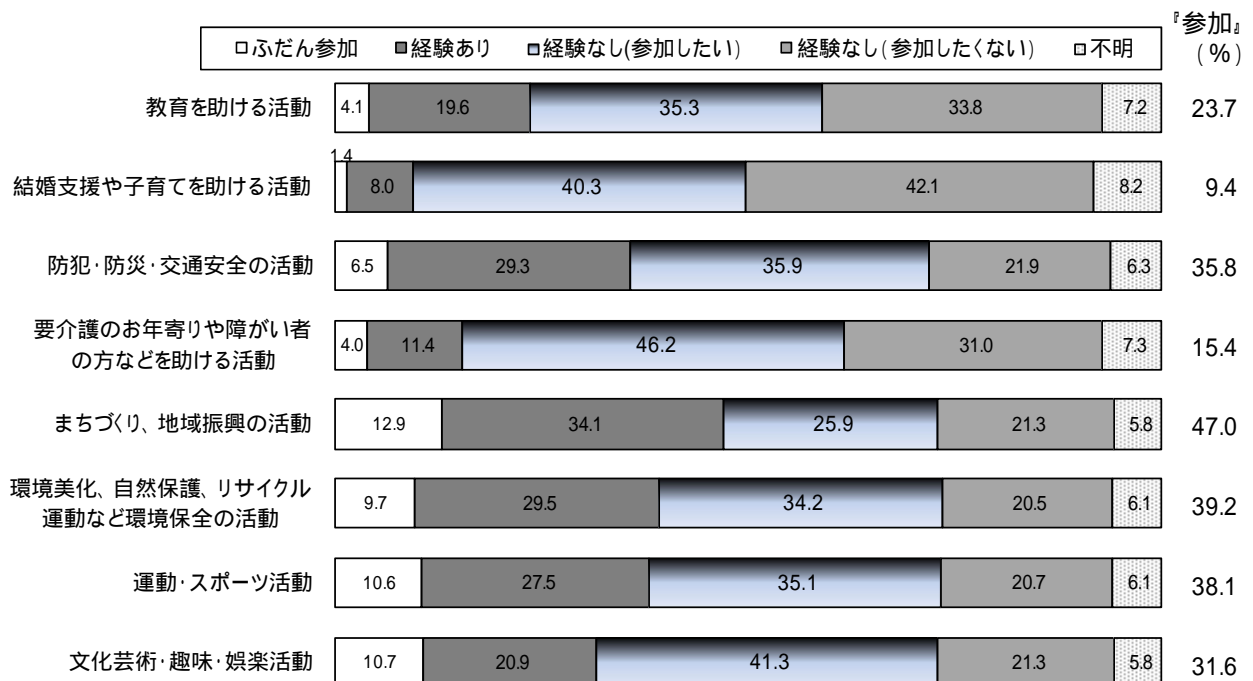
自治会やボランティア、サークル、団体などで行う地域活動への参加状況と意欲について、8分野について質問しました。

「ふだん参加している」と「参加した経験がある」を合計した『参加』の割合は「まちづくり、地域振興の活動」が47.0%で最も高く、次いで「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」(39.2%)、「運動・スポーツ活動」(38.1%)となっています。一方、「結婚支援や子育てを助ける活動」は9.4%で最も低くなっています。

「参加したことはないが、機会があれば参加したい」の割合は、「要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動」が46.2%で最も高く、次いで「文化芸術・趣味・娯楽活動」(41.3%)、「結婚支援や子育てを助ける活動」(40.3%)となっています。

「参加したことはなく、参加したいとも思わない」の割合は、「結婚支援や子育てを助ける活動」が42.1%で最も高く、次いで「教育を助ける活動」(33.8%)、「要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動」(31.0%)となっています。

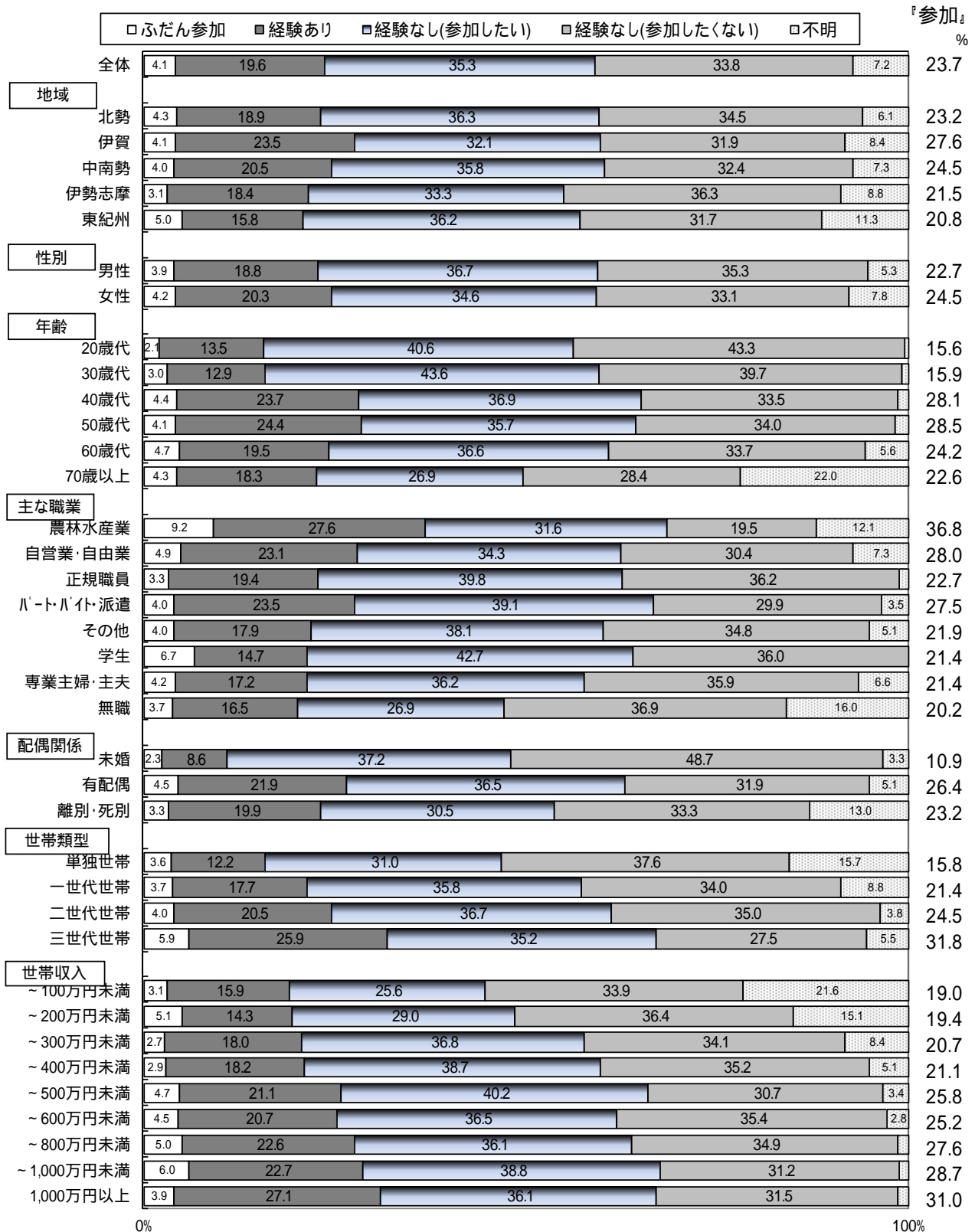
図表 2-4-9 地域活動への参加状況と意欲



➤ 教育を助ける活動（学校支援ボランティアを含む）への参加状況と意欲

教育を助ける活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が23.7%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が35.3%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は33.8%となっています。

図表 2-4-10 地域活動への参加状況と意欲(教育を助ける活動・属性別)



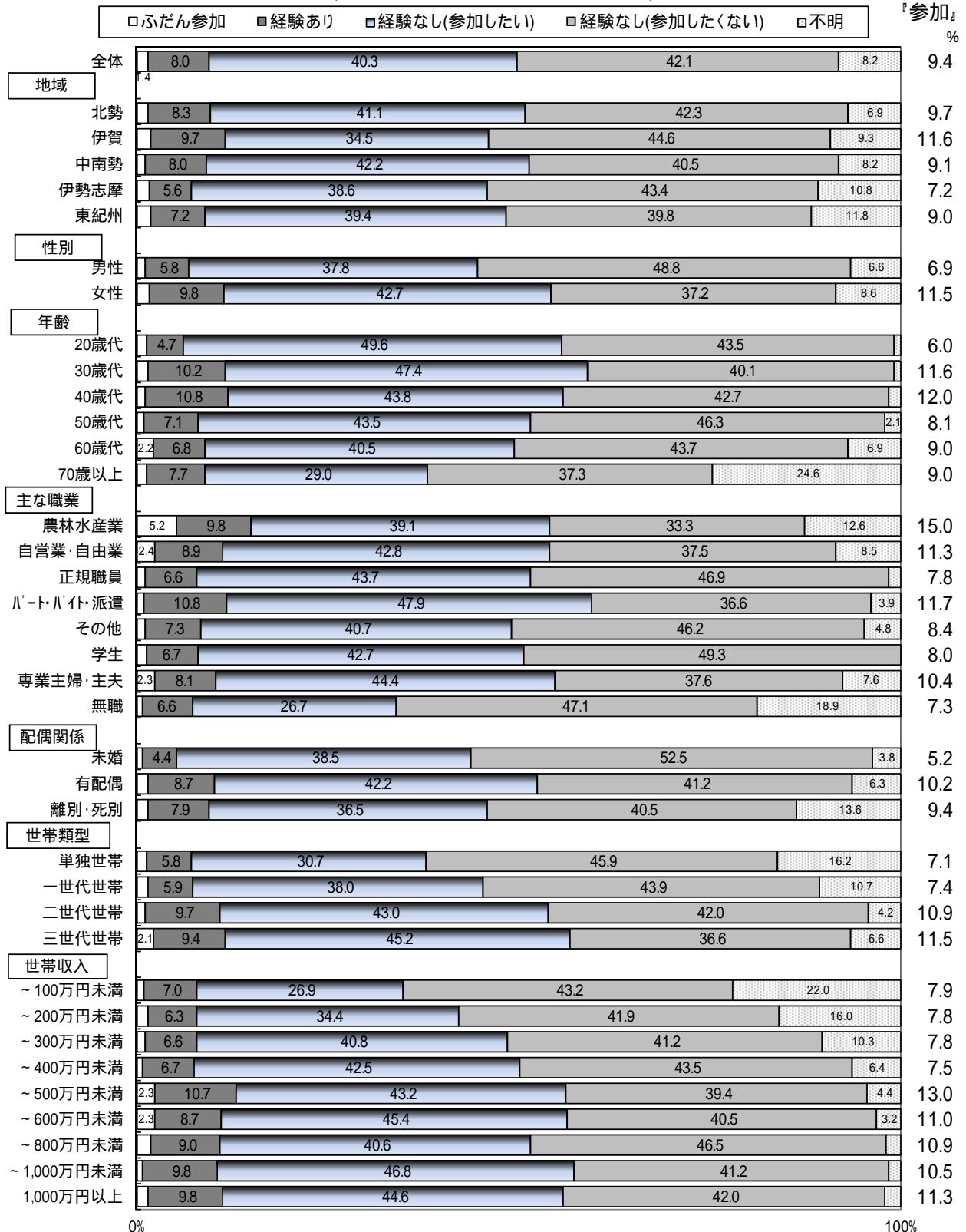
0%

100%

➤ (2) 結婚支援や子育てを助ける活動への参加状況と意欲

結婚支援や子育てを助ける活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合は9.4%で質問した8項目の中で最も低く、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が40.3%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は8項目の中で最も高い42.1%となっています。

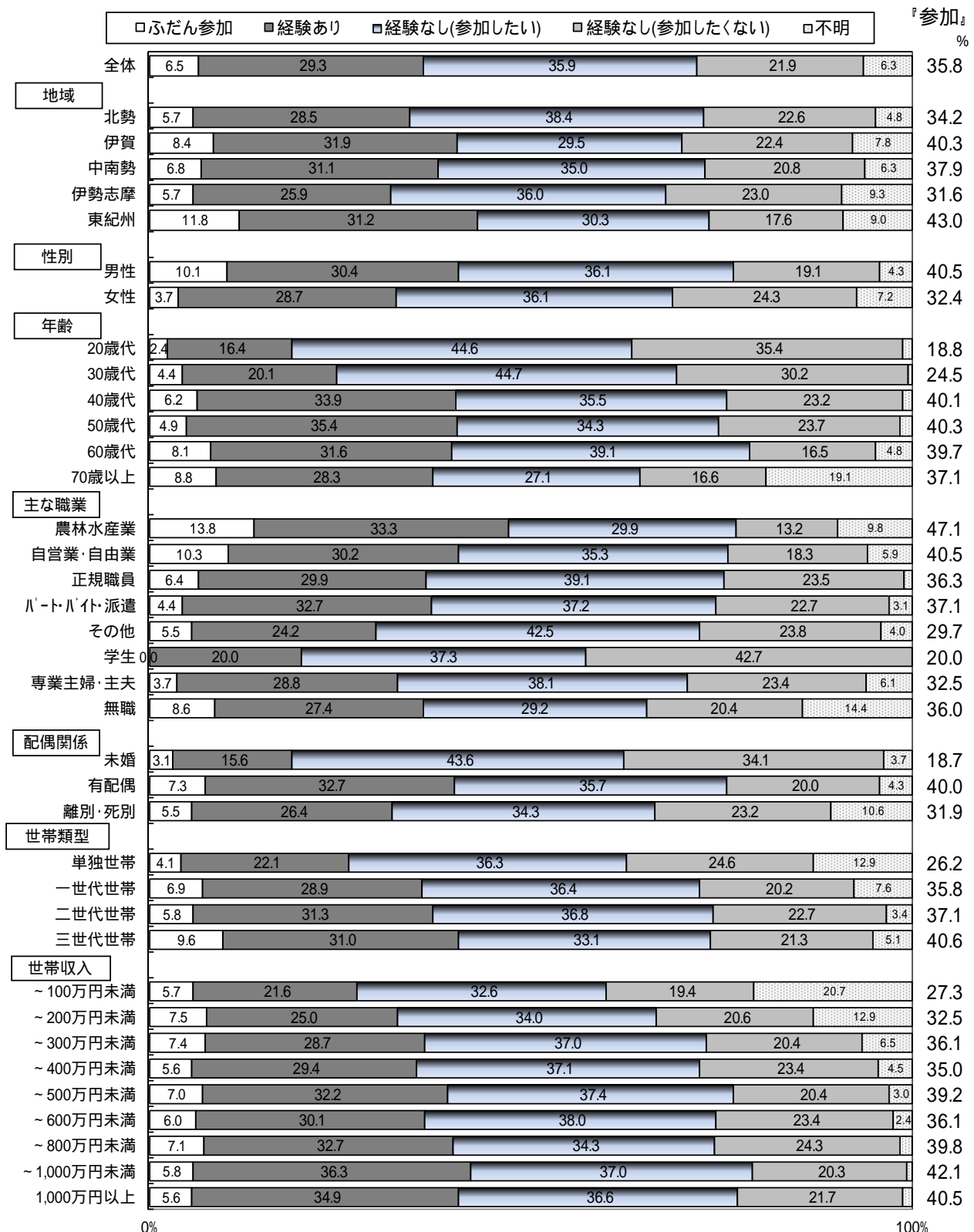
図表 2-4-11 地域活動への参加状況と意欲(結婚支援や子育てを助ける活動・属性別)



➤ (3) 防犯・防災・交通安全の活動への参加状況と意欲

防犯・防災・交通安全の活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が35.8%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が35.9%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は21.9%となっています。

図表 2-4-12 地域活動への参加状況と意欲(防犯・防災・交通安全の活動・属性別)



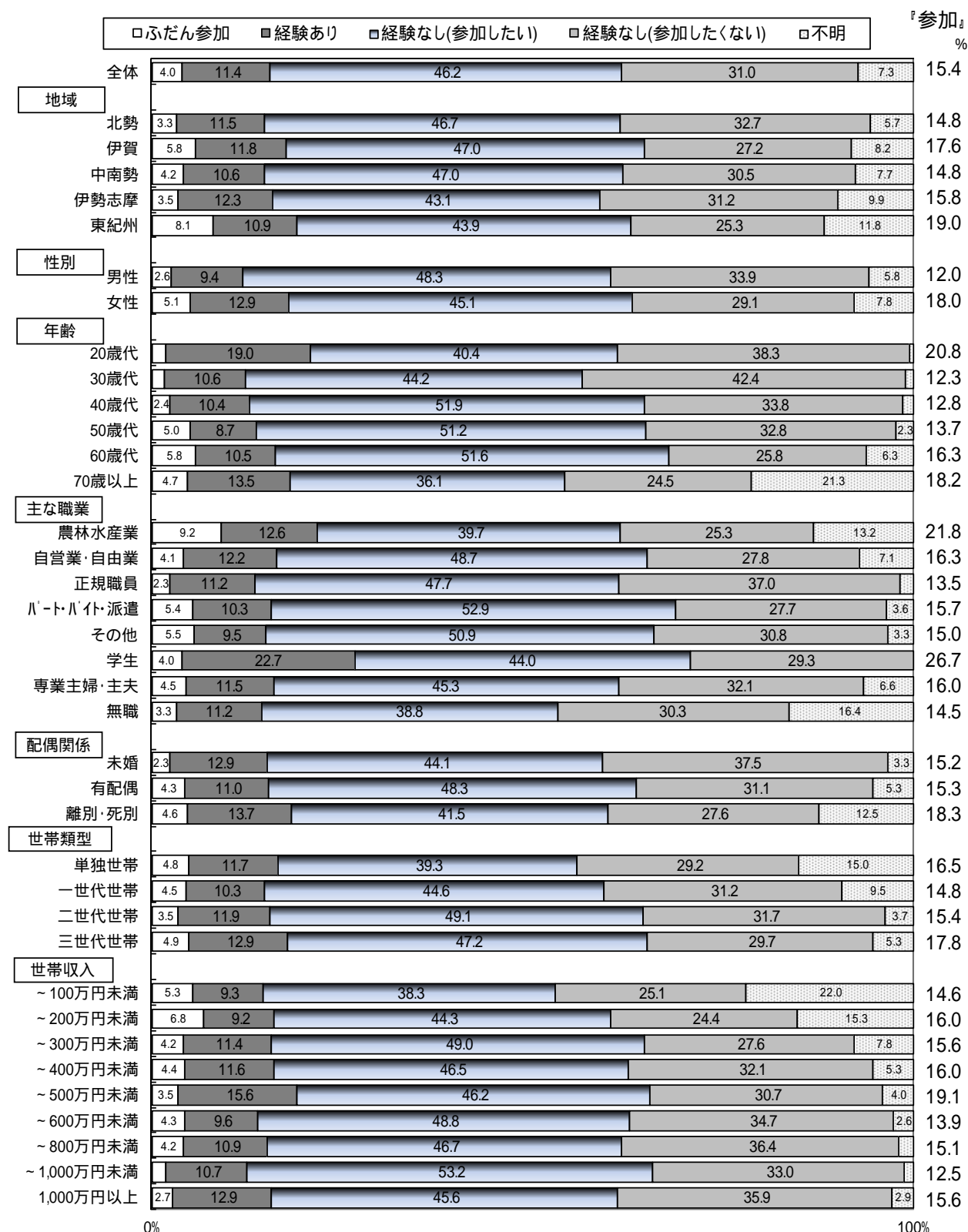
0%

100%

(4) 要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動への参加状況と意欲

要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が15.4%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が46.2%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は31.0%となっています。質問した8項目の中で、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」の割合が最も高くなっています。

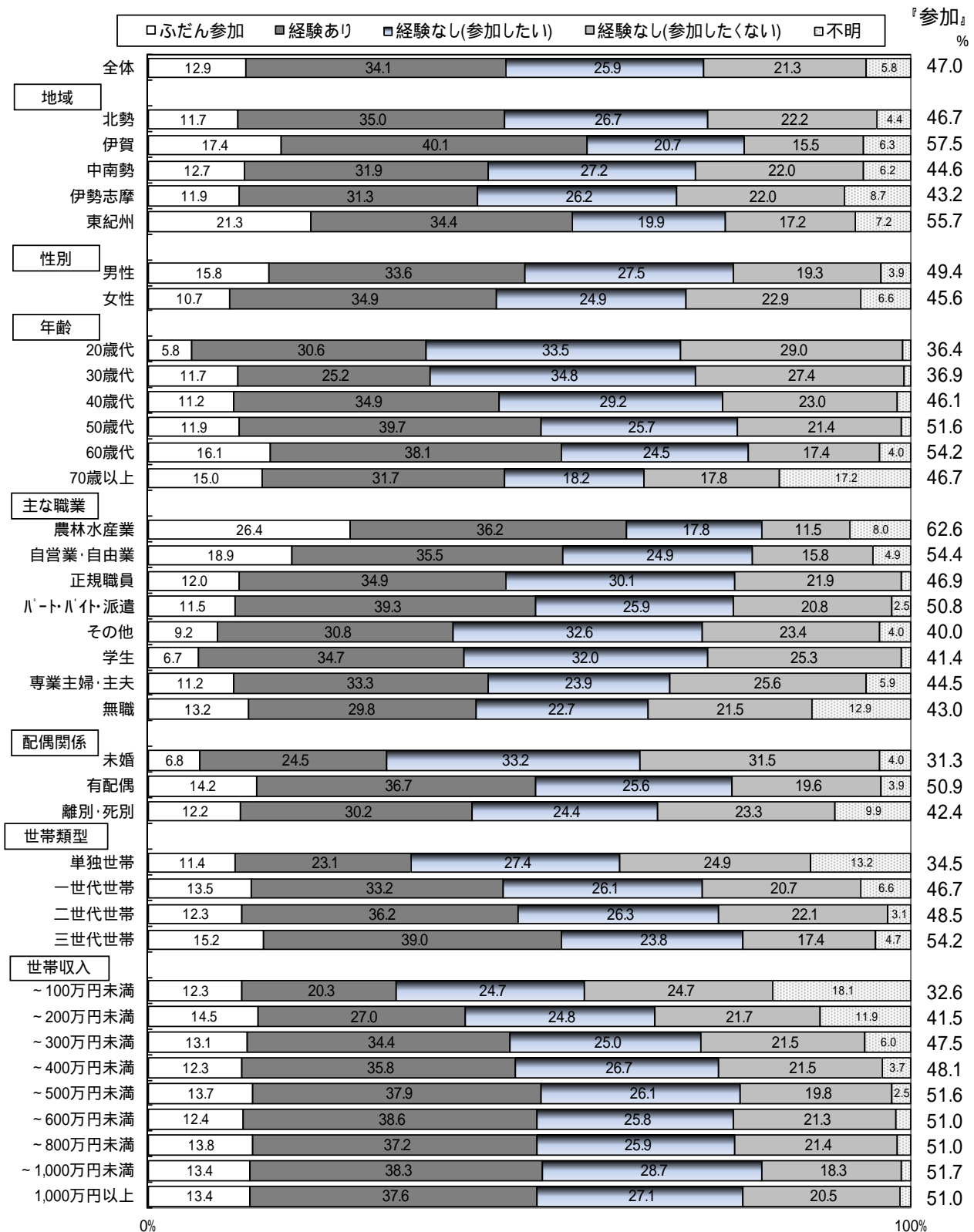
図表 2-4-13 地域活動への参加状況と意欲(要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動・属性別)



➤ (5) まちづくり、地域振興(祭りや地域の行事を含む)の活動への参加状況と意欲

まちづくり、地域振興の活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が47.0%で質問した8項目の中で最も高く、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が25.9%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は21.3%となっています。

図表 2-4-14 地域活動への参加状況と意欲(まちづくり、地域振興の活動・属性別)



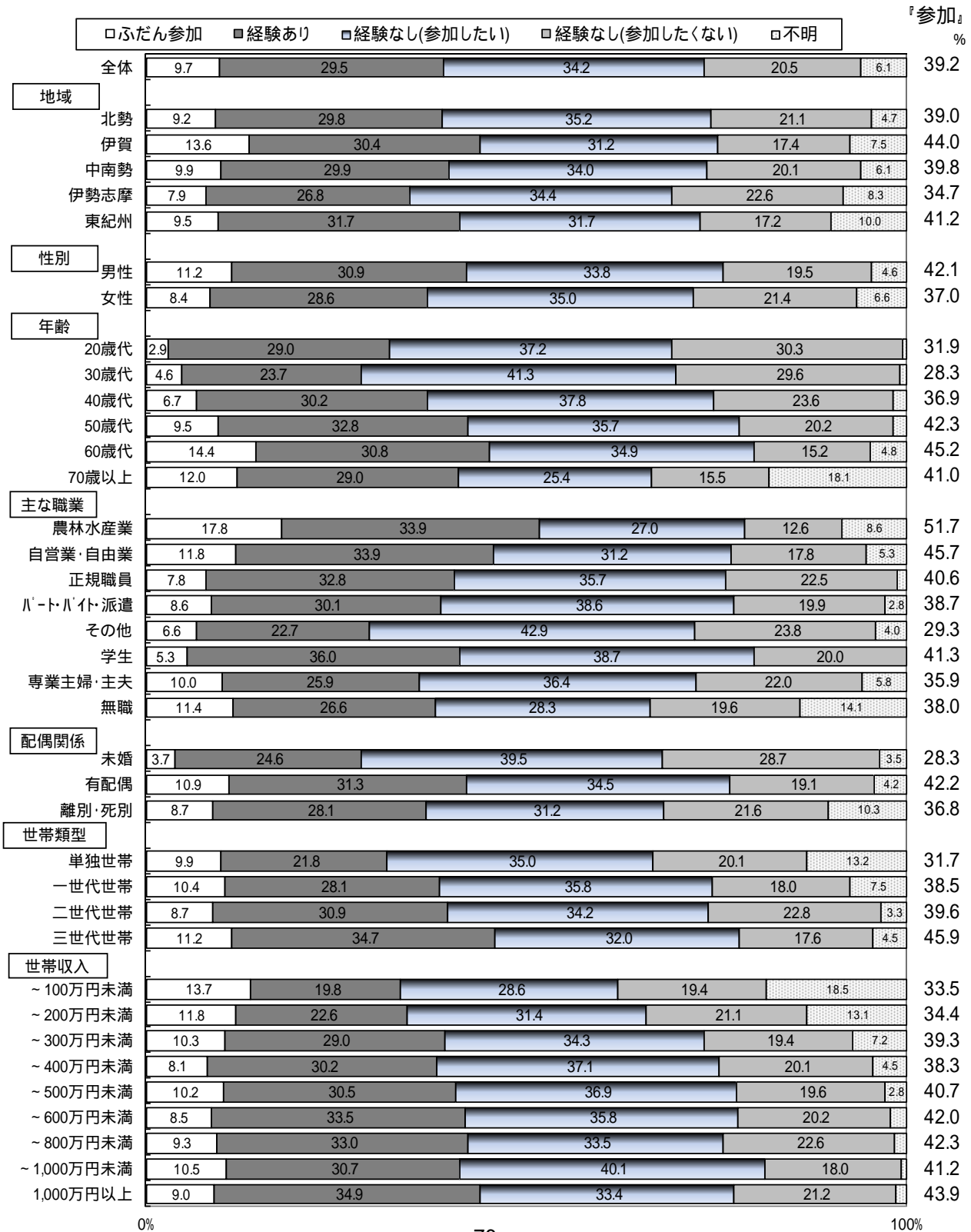
0%

100%

➤ (6) 環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動への参加状況と意欲

環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が39.2%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が34.2%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は20.5%となっています。

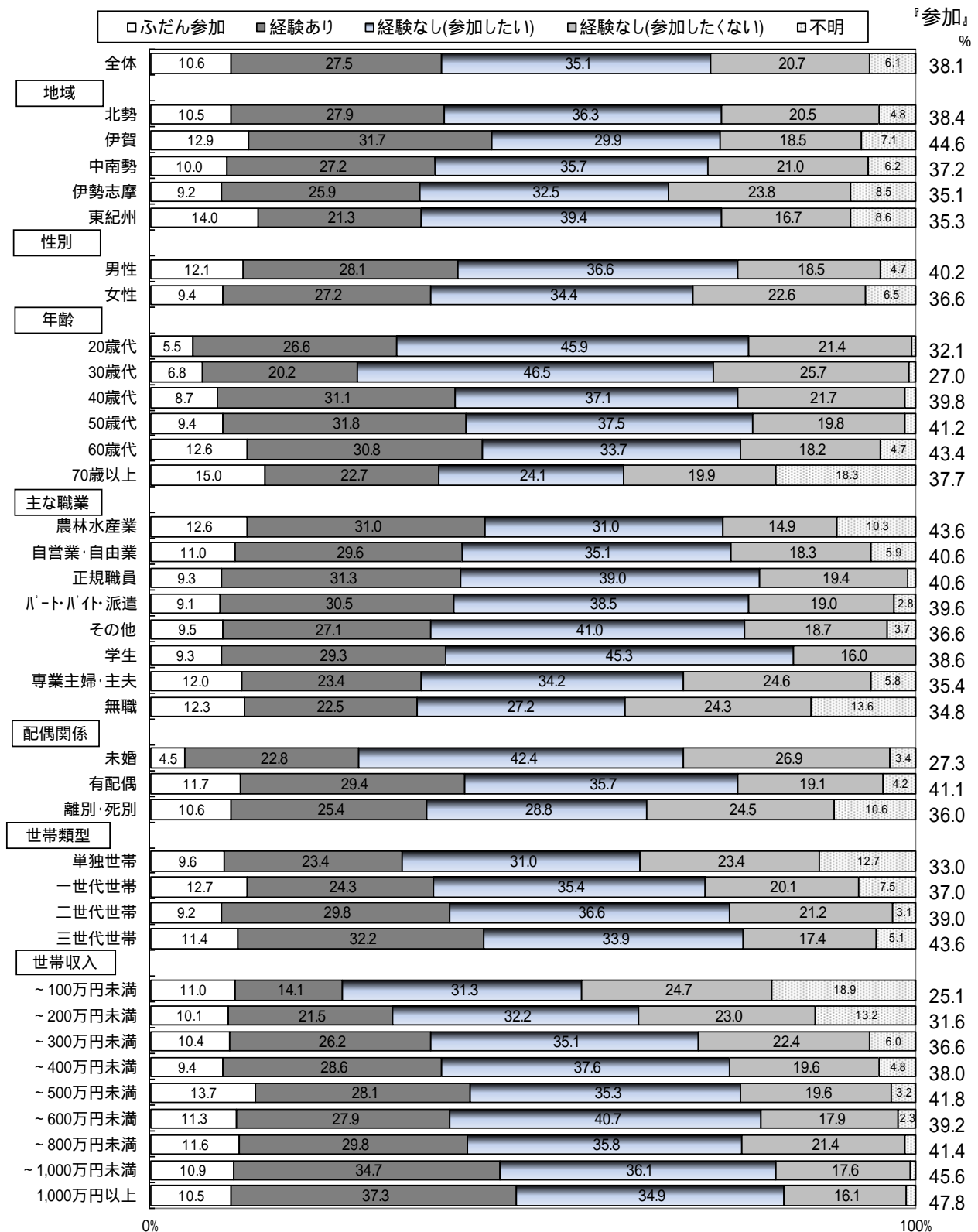
図表 2-4-15 地域活動への参加状況と意欲(環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動・属性別)



➤ (7) 運動・スポーツ(健康づくりのための活動を含む)活動への参加状況と意欲

運動・スポーツ活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が38.1%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が35.1%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は20.7%となっています。

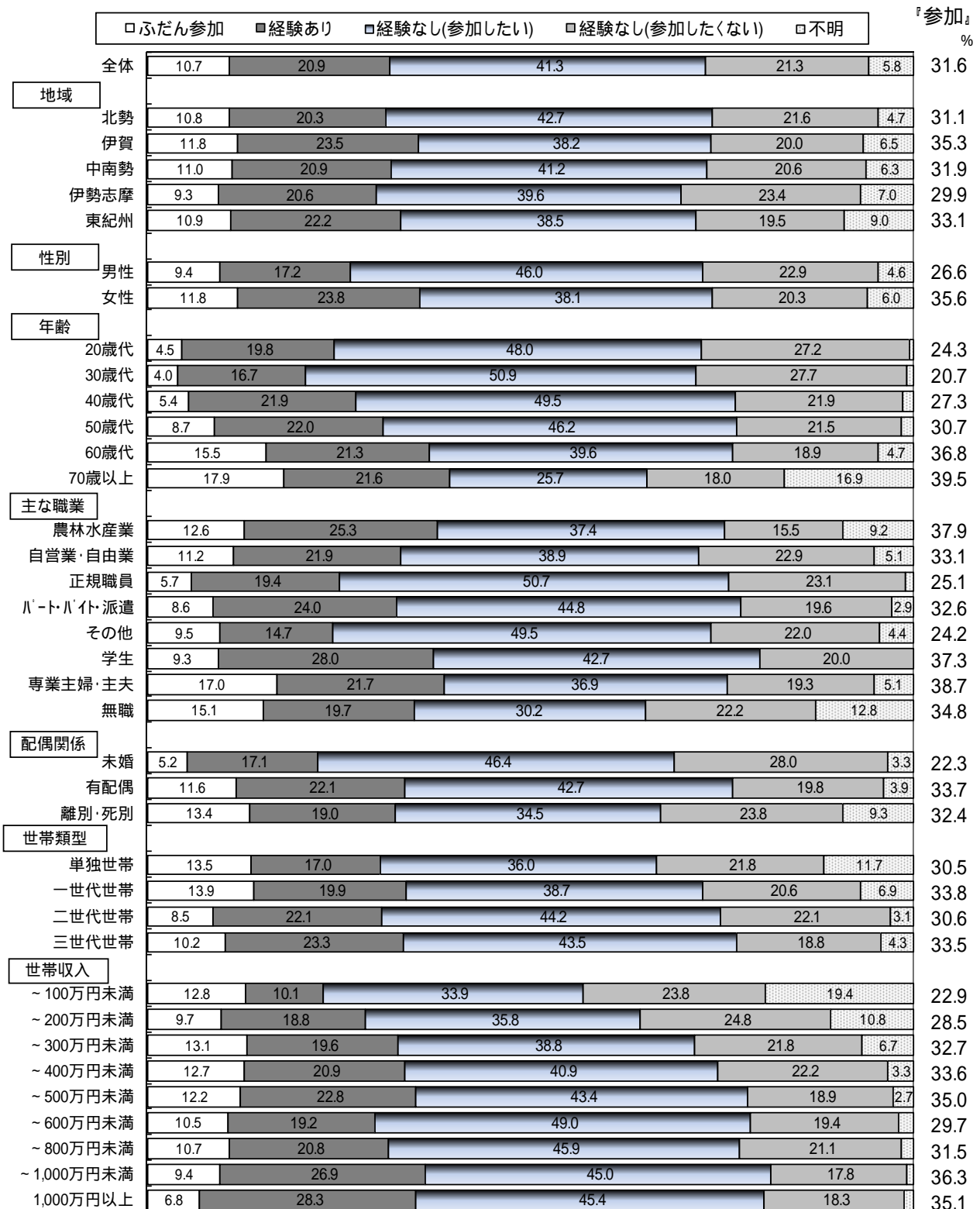
図表 2-4-16 地域活動への参加状況と意欲(運動・スポーツ活動・属性別)



➤ (8) 文化芸術・趣味・娯楽活動(団体やサークルに所属する人たちの楽しみや研さんなどが目的)への参加状況と意欲

文化芸術・趣味・娯楽活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が31.6%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が41.3%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は21.3%となっています。

図表 2-4-17 地域活動への参加状況と意欲(文化芸術・趣味・娯楽活動・属性別)



5 . 家族や精神的なゆとり

第1回及び第2回調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには「望む人が結婚し、望む人が子どもを持ち、安心して子育てできる地域社会」や「夫婦が共に働き、一緒に子育てできる社会」が求められることなどが明らかになってきました。

ここでは、「家族や精神的なゆとり」をテーマとして質問した「父親の育児参画についての考え方」、「理想の子どもの数」、「結婚意向と未婚理由」、「悩みや不安、心配ごと」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
父親の育児参画についての考え方	・父親が育児をすることについて、あなたはどう思いますか。（問10）
理想の子どもの数	・あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。（問9）
子どもの数	・お子さんは何人いらっしゃいますか。 （お子さんがいらっしゃる方へ） ・現在、お子さんはいくつですか。年齢をご記入ください。（問11）
（参考集計） 子どもの数の理想と現実のギャップ）	・理想の子どもの数（問9）と現在の子どもの数（問11）との関係
結婚経験	あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。（問12）
結婚意向と未婚理由	（問12で「未婚」、「既婚・死別」、「既婚・離別」と回答した方へ） ・今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。 (1) いずれ結婚するつもり (2) 結婚するつもりはない（問13） （問13で「いずれ結婚するつもり」と回答した方へ） ・現在、結婚していない理由は何ですか。（問13-2）
配偶者の職業	（問12で「既婚・配偶者あり」と回答した方へ） あなたの配偶者の主な職業は何ですか。（問14）
親の住む場所	・親ごさんは現在どこにお住まいですか。 ご両親が別々にお住まいの場合は、近くにお住まいの親ごさんについてお答えください。（問15）
悩みや不安、心配ごとなど	・悩みや不安、心配ごとなど、精神面で負担となっていることはありますか。 ・その原因としてあてはまるものは何ですか。（問16）

父親が育児をすることについて、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。(は1つだけ)

問10

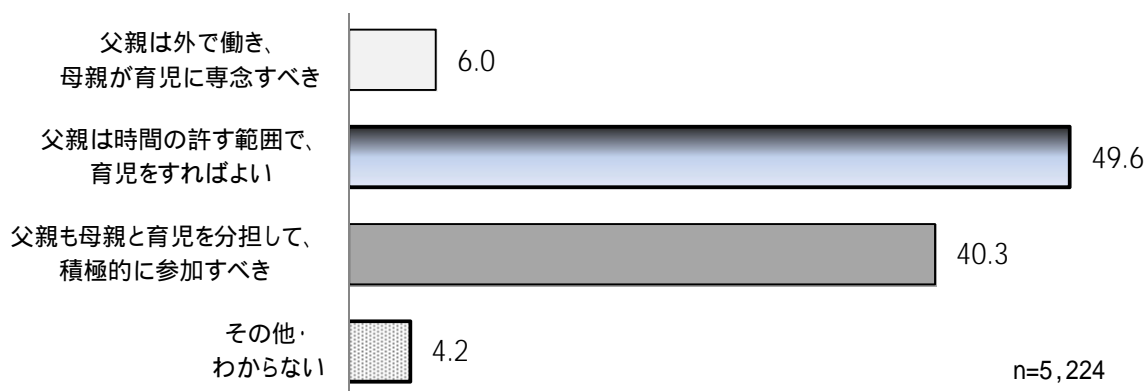
➤ 父親の育児参画についての考え方

父親の育児参画についての考え方を質問したところ、「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」の割合が49.6%で最も高く、「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」が40.3%、「父親は外で働き、母親が育児に専念すべき」は6.0%となっています。

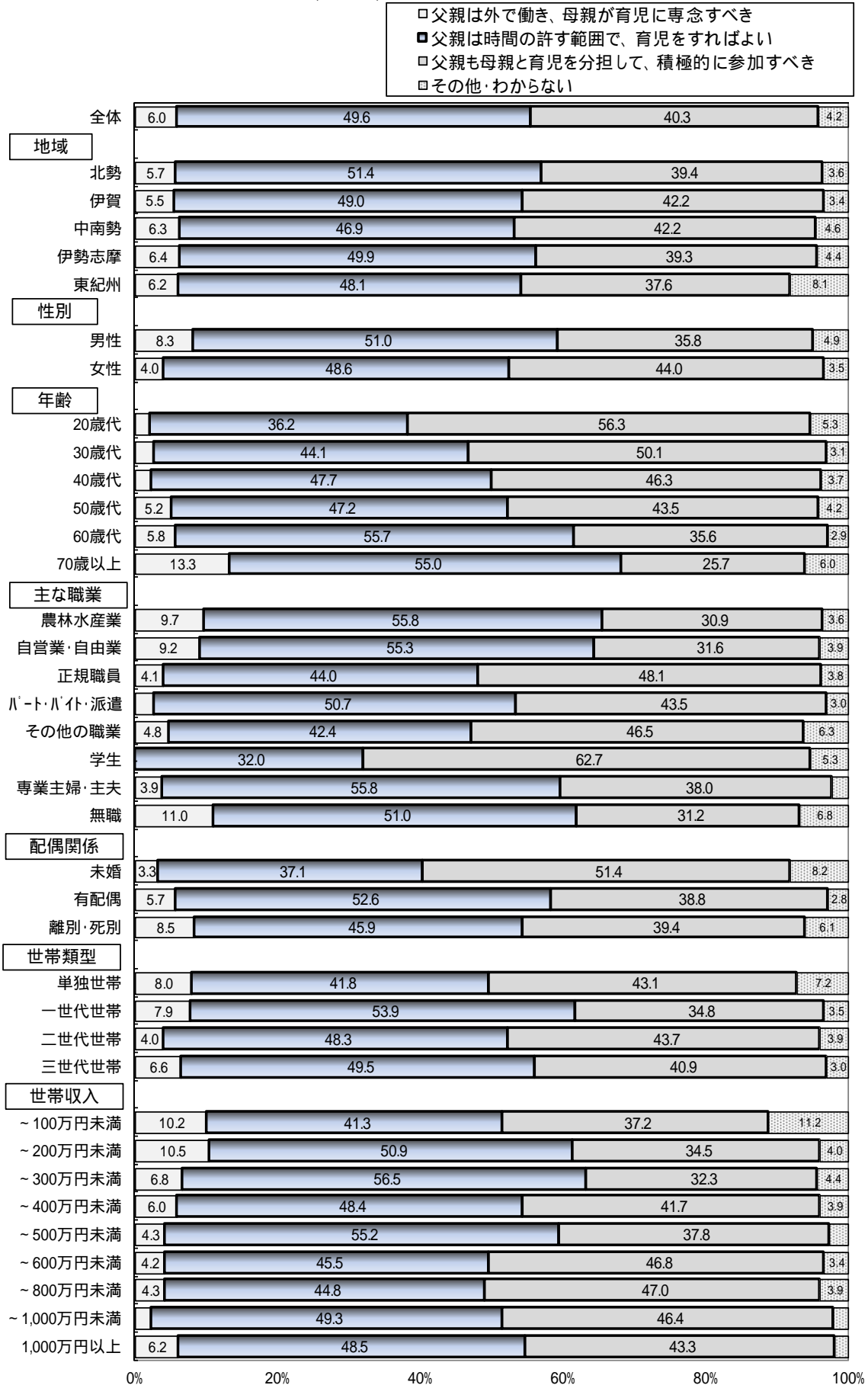
20歳代と30歳代、正規職員、学生、未婚などについては「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」が「父親は時間の許す範囲内で、育児をすればよい」よりも高くなっています。

性別では、女性は男性より「父親も母親と育児を分担して、積極的に参加すべき」が8.2ポイント高くなっています。

図表2-5-1 父親の育児参画についての考え方



図表 2-5-2 父親の育児参画についての考え方(属性別)



「不明」(未回答など)を除いて回答割合を算出しています。

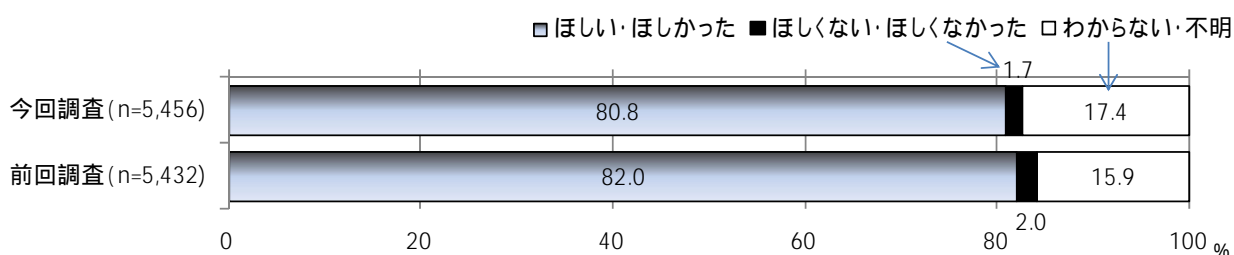
あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。(は1つだけ。「1」に をつけた方は()に人数も記入してください。)

問9

子どもを希望する割合

「子どもがほしい・ほしかった」の割合は80.8%、「ほしくない・ほしくなかった」が1.7%で、いずれも前回調査より低くなっており、「わからない・不明」が高くなっています。

図表 2-5-3 子どもを希望する割合

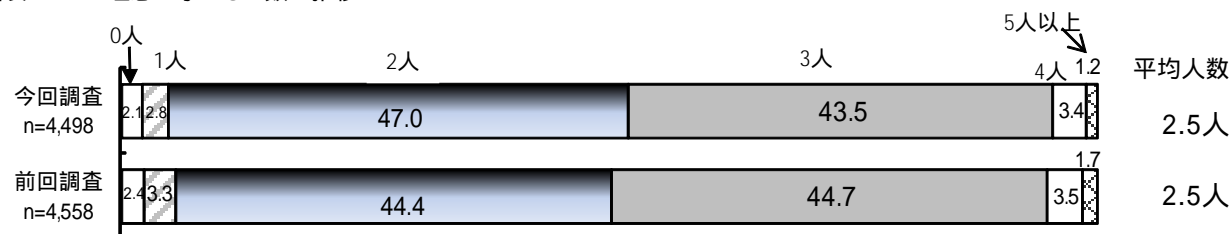


理想の子どもの数

理想の子どもの数については、「2人」の割合が47.0%で最も高く、次いで「3人」(43.5%)となっています。前回調査と比較すると「2人」の割合が2.6ポイント高くなった一方、「0人(ほしくない、ほしくなかった)」、「1人」、「3人」などの割合は低くなっています。

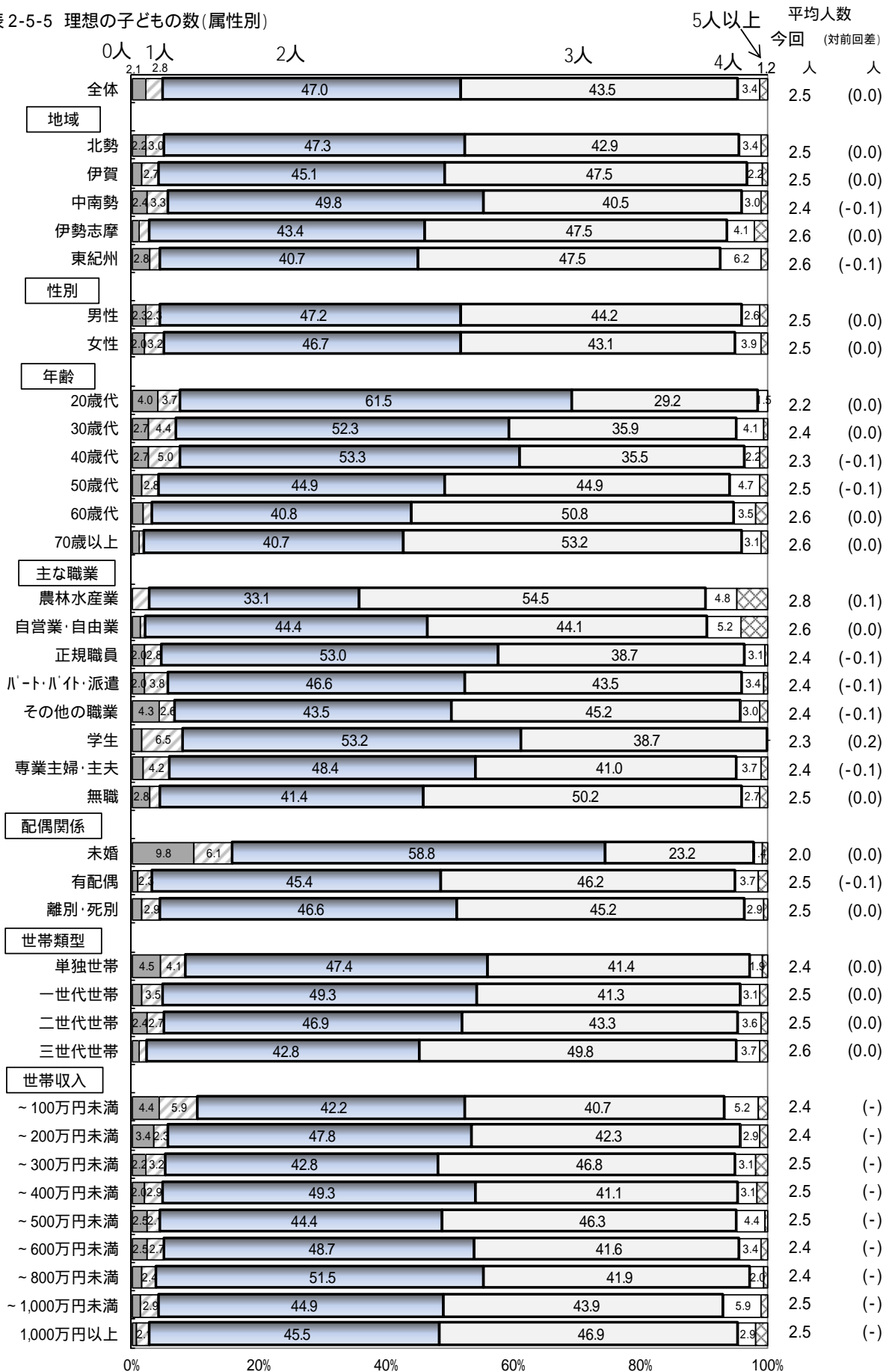
理想の子どもの数の平均は2.5人で、前回調査と同じとなっています。

図表 2-5-4 理想の子どもの数の推移



理想の子どもの人数が明記された回答、及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。(n=4,498)
平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

図表 2-5-5 理想の子どもの数(属性別)



理想の子どもの人数が明記された回答、及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。

平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「0人」としています。

お子様は何人いらっしゃいますか。いない方は「0」とお答えください。

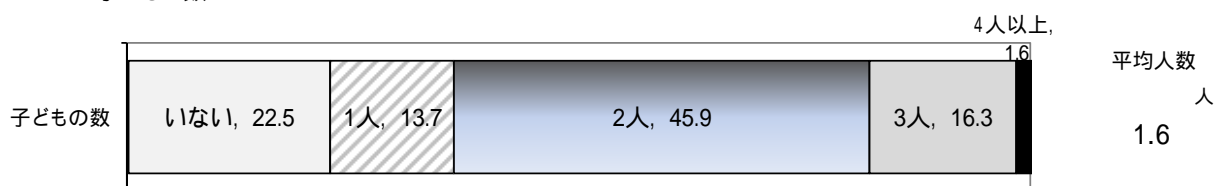
問11

➤ 子どもの数

子どもの数には、「2人」が45.9%、「いない」が22.5%、「3人」が16.3%、「1人」が13.7%となっています。

なお、回答して頂いた方の子どもの平均人数は1.6人となっています。

図表 2-5-6 子どもの数

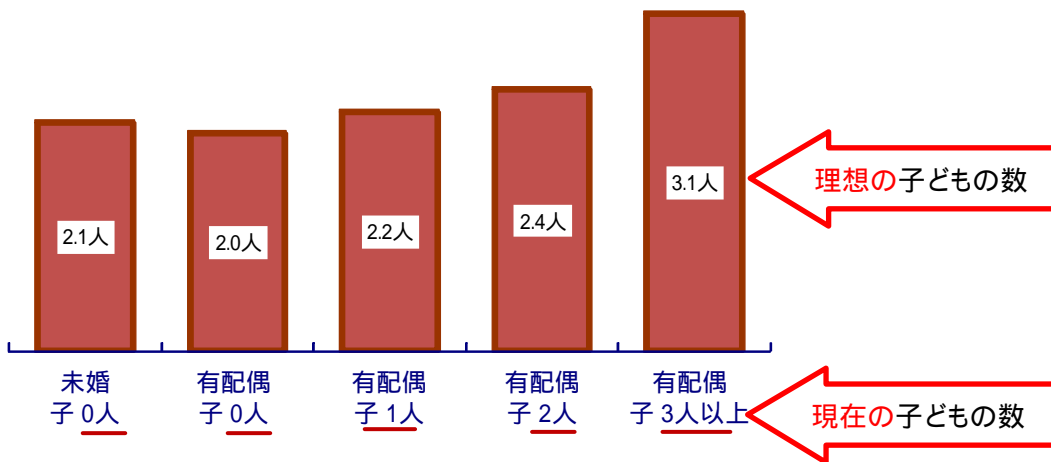


「不明」を除いて回答割合 (%) や平均人数を算出しています。

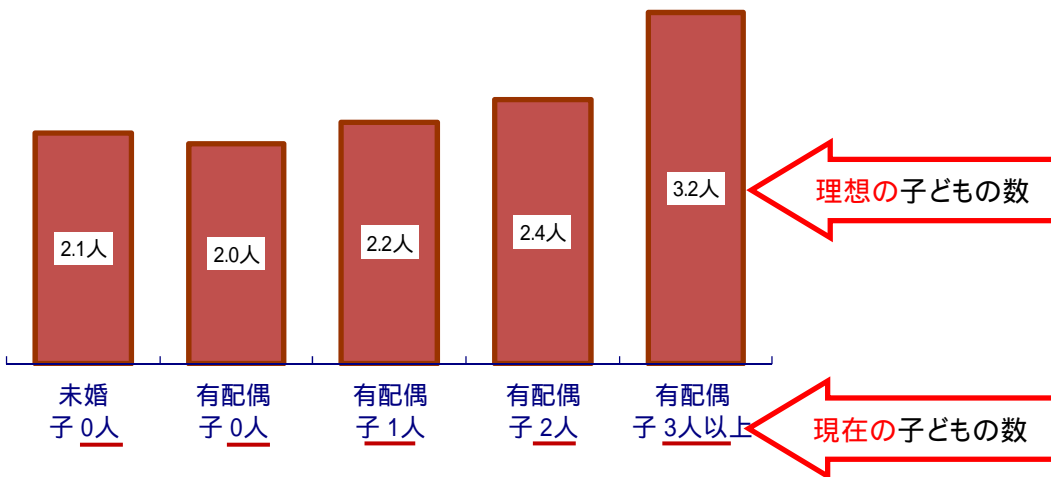
➤ 子どもの数の理想と現実のギャップ（参考集計）

20歳代から40歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもいない層は2.1人、有配偶で子どもいない層は2.0人、有配偶で子ども1人の層は2.2人、有配偶で子ども2人の層は2.4人、有配偶で子ども3人以上の層は3.1人で、現在の子どもの数は理想の数より少なく、前回と同様の結果となっています。

図表 2-5-7 20歳代～40歳代の子どもの数の理想と現実(今回調査)



図表 2-5-8 20歳代～40歳代の子どもの数の理想と現実(前回調査)



あなたはこれまでに結婚したことはありますか。

問12

➤ 配偶関係

回答者の配偶関係は、「未婚」が13.0%、「有配偶」が72.6%、「離別・死別」が10.7%となっています。

図表 2-5-9 配偶関係



今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対する考え方は、次のうちどちらですか。問13

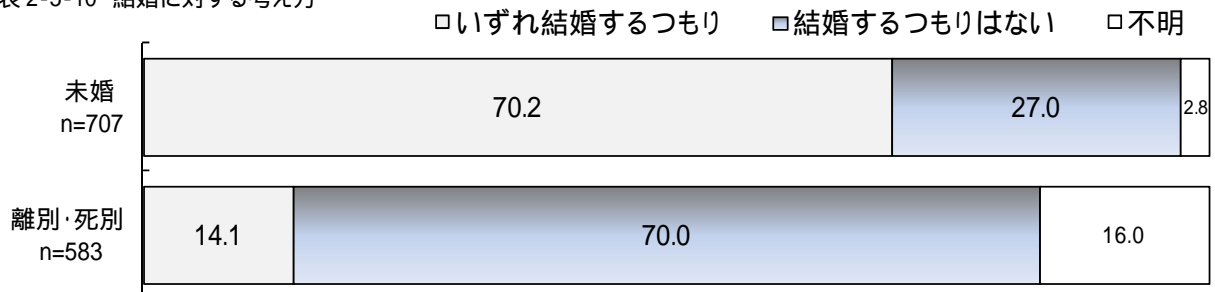
➤ 結婚に対する考え方

結婚に対する考え方について、未婚は「いずれ結婚するつもり」が70.2%、「結婚するつもりはない」が27.0%となっています。離別・死別は「いずれ結婚するつもり」が14.1%、「結婚するつもりはない」が70.0%となっています。

「未婚」における属性や属性項目における主な特徴（全体との差が大きい項目等）は次のとおりです。（統計的有意性は未確認）

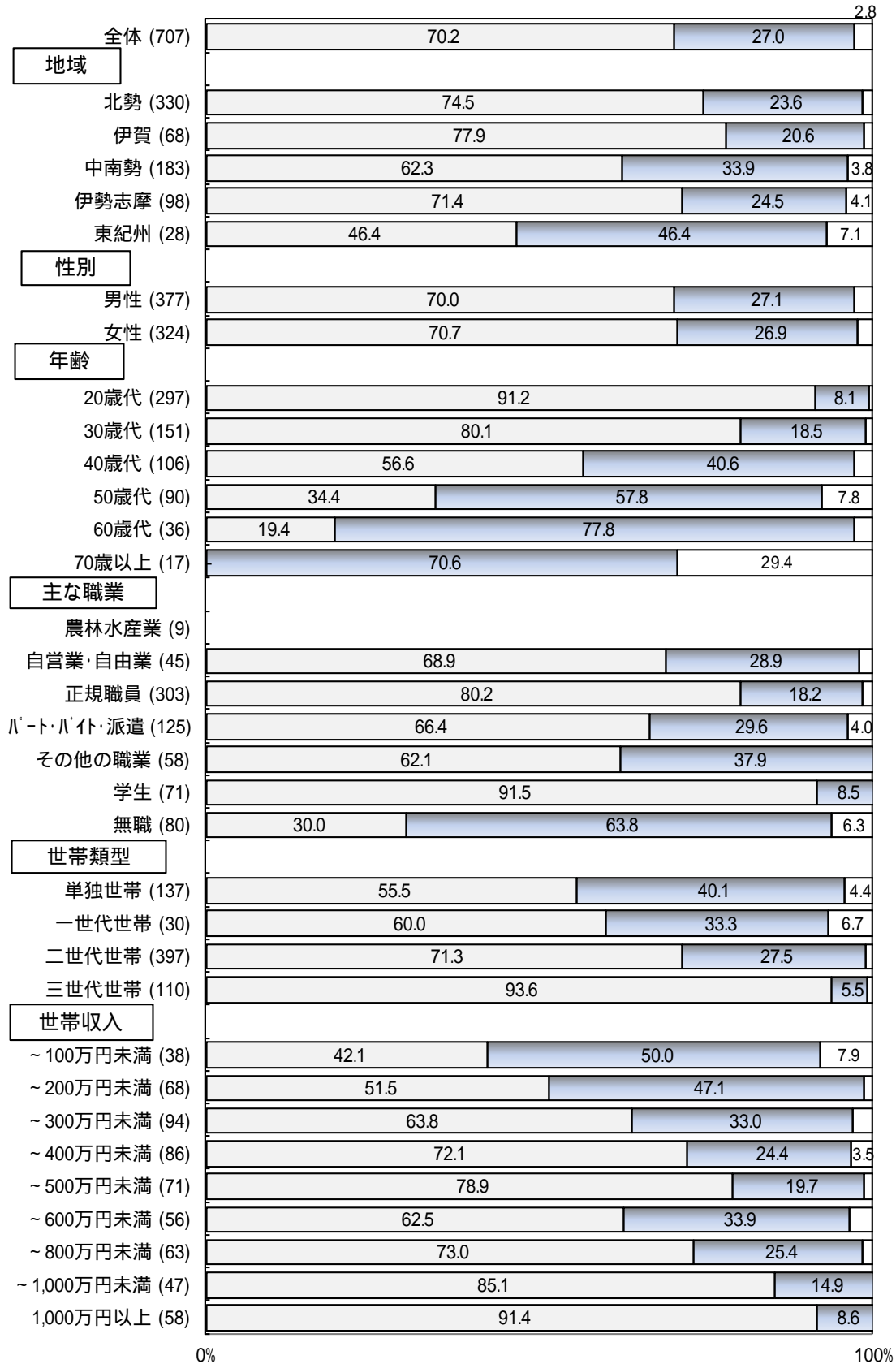
- ・20歳代は「いずれ結婚するつもり」が91.2%となっています。
- ・主な職業別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、学生及び正規職員は全体より高い。

図表 2-5-10 結婚に対する考え方



図表 2-5-11 「未婚」の結婚に対する考え方(属性別)

□いずれ結婚するつもり □結婚するつもりはない □不明



()内はサンプル数です。

農林水産業はサンプル数が少ないため、非表示としています。

(問13で「いずれ結婚するつもり」と回答した方へ)

現在、結婚していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに をつけてください。

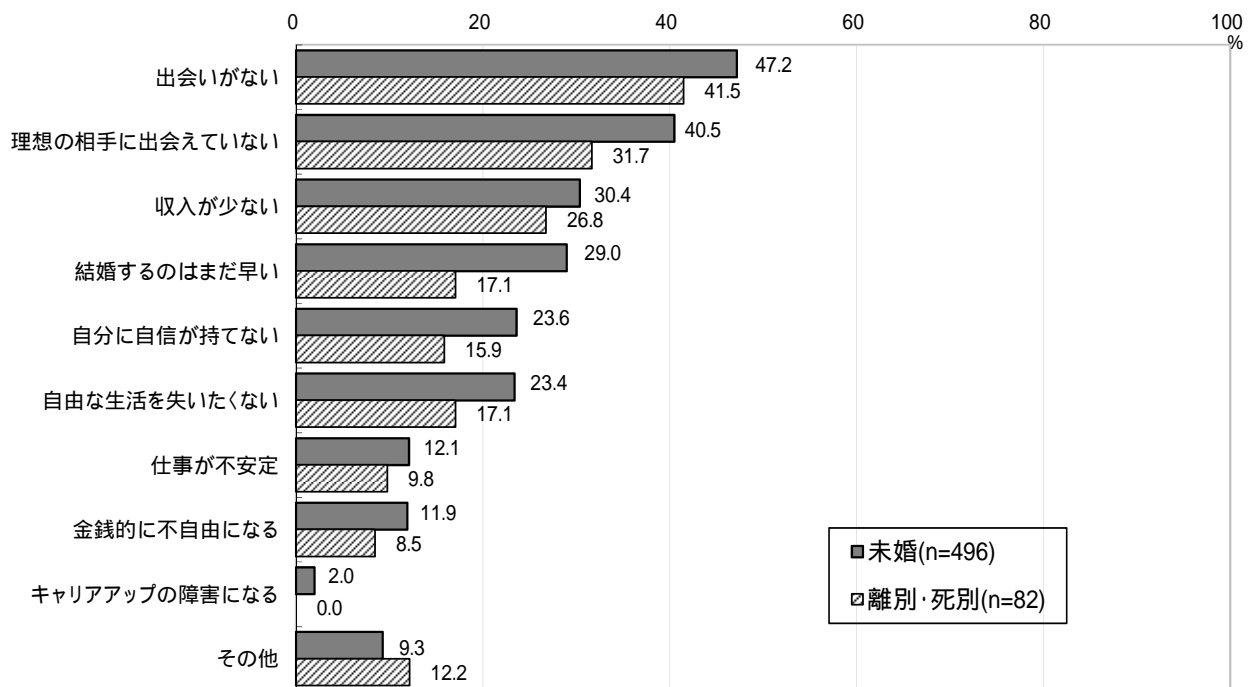
問13-2

➤ 結婚していない理由

「いずれ結婚するつもり」と回答した方に結婚していない理由を質問したところ、未婚、離別・死別いずれも、「出会いがない」の割合が最も高く、次いで「理想の相手に出会えていない」、「収入が少ない」の順となっています。

- ・未婚男性は「出会いがない」、「収入が少ない」の順に高くなっています。
- ・未婚女性は「理想の相手に出会えていない」、「出会いがない」の順に高くなっています。

図表 2-5-12 結婚していない理由



図表 2-5-13 「未婚」の結婚していない理由(属性別、全体の上位7項目)

(%)

		出会いがない	理想の相手に出会えていない	収入が少ない	結婚するのはまだ早い	自分に自信が持てない	自由な生活を失いたくない	仕事不安定
全体		47.2	40.5	30.4	29.0	23.6	23.4	12.1
地域	北勢	50.8	40.2	29.3	31.7	24.0	21.1	11.8
	伊賀	52.8	47.2	28.3	20.8	22.6	20.8	9.4
	中南勢	42.1	43.0	29.8	36.0	21.1	26.3	13.2
	伊勢志摩	42.9	37.1	37.1	17.1	27.1	27.1	15.7
	東紀州	23.1	15.4	30.8	15.4	23.1	30.8	0.0
性別	男性	54.2	37.5	41.7	27.7	22.3	20.5	16.7
	女性	38.9	43.7	17.0	30.6	25.3	26.6	7.0
年齢	20歳代	36.9	39.1	29.5	50.2	21.0	21.0	11.1
	30歳代	58.7	36.4	28.1	5.0	21.5	27.3	9.9
	40歳代	63.3	53.3	35.0	1.7	38.3	23.3	20.0
	50歳代	51.6	38.7	32.3	0.0	29.0	29.0	16.1
主な職業	自営業・自由業	41.9	41.9	58.1	9.7	22.6	29.0	41.9
	正規職員	50.2	45.3	21.8	23.5	23.5	25.5	3.3
	パート・バイト・派遣	49.4	38.6	36.1	14.5	27.7	28.9	22.9
	その他の職業	50.0	41.7	36.1	22.2	22.2	11.1	25.0
	学生	32.3	29.2	29.2	86.2	16.9	16.9	9.2
	無職	45.8	37.5	41.7	20.8	29.2	16.7	12.5
世帯類型	単独世帯	50.0	39.5	28.9	26.3	28.9	17.1	10.5
	一世代世帯	55.6	50.0	33.3	33.3	27.8	27.8	11.1
	二世帯世帯	46.6	42.4	32.2	25.8	20.8	24.7	14.1
	三世帯世帯	46.6	35.9	24.3	39.8	25.2	22.3	6.8
世帯収入	~100万円未満	43.8	25.0	37.5	37.5	25.0	31.3	43.8
	~200万円未満	42.9	34.3	57.1	22.9	22.9	14.3	22.9
	~300万円未満	48.3	40.0	45.0	21.7	35.0	11.7	18.3
	~400万円未満	51.6	37.1	30.6	19.4	21.0	27.4	14.5
	~500万円未満	48.2	41.1	17.9	16.1	21.4	16.1	7.1
	~600万円未満	54.3	48.6	20.0	25.7	25.7	28.6	2.9
	~800万円未満	47.8	47.8	19.6	30.4	21.7	23.9	10.9
	~1,000万円未満	45.0	47.5	35.0	35.0	22.5	40.0	5.0
	1,000万円以上	34.0	39.6	26.4	45.3	11.3	26.4	7.5

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

回答割合全体の上位7項目のみを記載しています。

サンプル数が10未満の属性項目は図表に記載していません。

離別・死別の図表は省略しています。

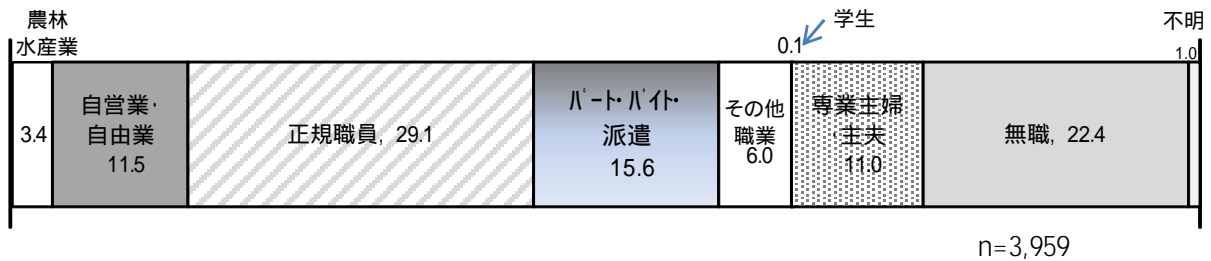
あなたの配偶者の主な職業は何ですか。(は1つだけ)

問 1 4

➤ 配偶者の職業

現在、配偶者のいる方に配偶者の職業を質問したところ、「正規職員」が 29.1%と最も高く、次いで「無職」(22.4%)、「パート・アルバイト・派遣社員」(15.6%)などとなっています。

図表 2-5-14 配偶者の主な職業



親ごさんは現在どこにお住まいですか。ご両親が別々にお住まいの場合は、近くにお住まいの親ごさんについてお答えください。

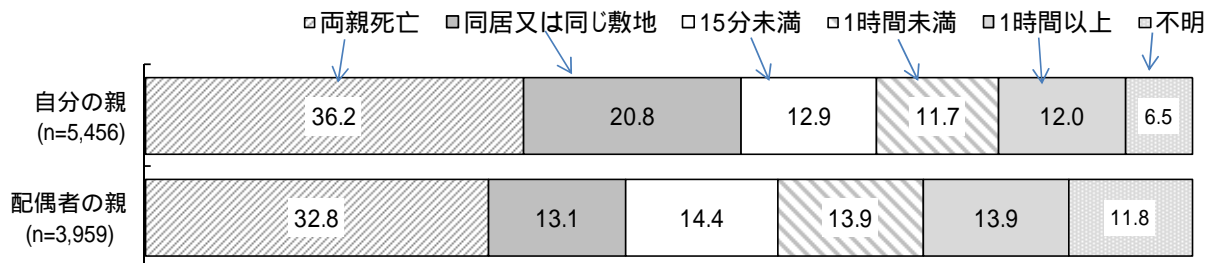
問 1 5

➤ 親の住む場所

自分の親の住む場所は「両親とも死亡」の割合が 36.2%で最も高く、次いで「同居または同じ敷地内の別の住宅」が 20.8%、「片道 15 分未満の場所」が 12.9%、「片道 1 時間以上の場所」が 12.0%、「片道 1 時間未満の場所」が 11.7%となっています。

配偶者の親の住む場所は「両親とも死亡」の割合が 32.8%で最も高く、次いで「片道 15 分未満の場所」が 14.4%、「片道 1 時間未満の場所」と「片道 1 時間以上の場所」が 13.9%、「同居または同じ敷地内の別の住宅」が 13.1%となっています。

図表 2-5-15 親の住む場所



配偶者の親は有配偶のみを集計しています。

あなたは、悩みや不安、心配ごとなど、精神面で負担となっていることはありますか。

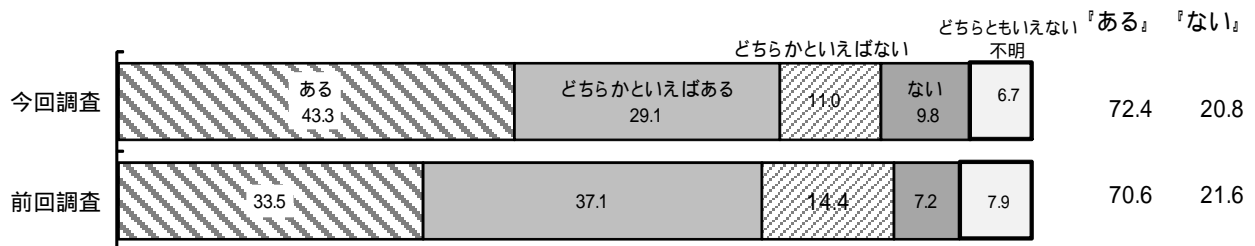
問16

➤ 悩みや不安、心配ごとの有無

悩みや不安、心配ごとなど精神面で負担となっていることがあるか質問したところ、「ある」と「どちらかといえばある」を合計した『ある』の割合が72.4%、「ない」と「どちらかといえばない」を合計した『ない』の割合（20.8%）より51.6ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、『ある』が1.8ポイント高くなった一方、『ない』が0.8ポイント、「どちらともいえない・不明」が1.2ポイントそれぞれ低くなっています。

図表 2-5-16 悩みや不安、心配ごとの有無



『ある』の割合・・・「ある」と「どちらかといえばある」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 『ない』の割合・・・「ない」と「どちらかといえばない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 割合は、「どちらともいえない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

問16（悩みや不安、心配ごとなど）で「ある」または「どちらかといえばある」と回答した方に）

その原因としてあてはまるものは何ですか。次の中からあてはまるものすべてに をつけてください。（はいくつでも）

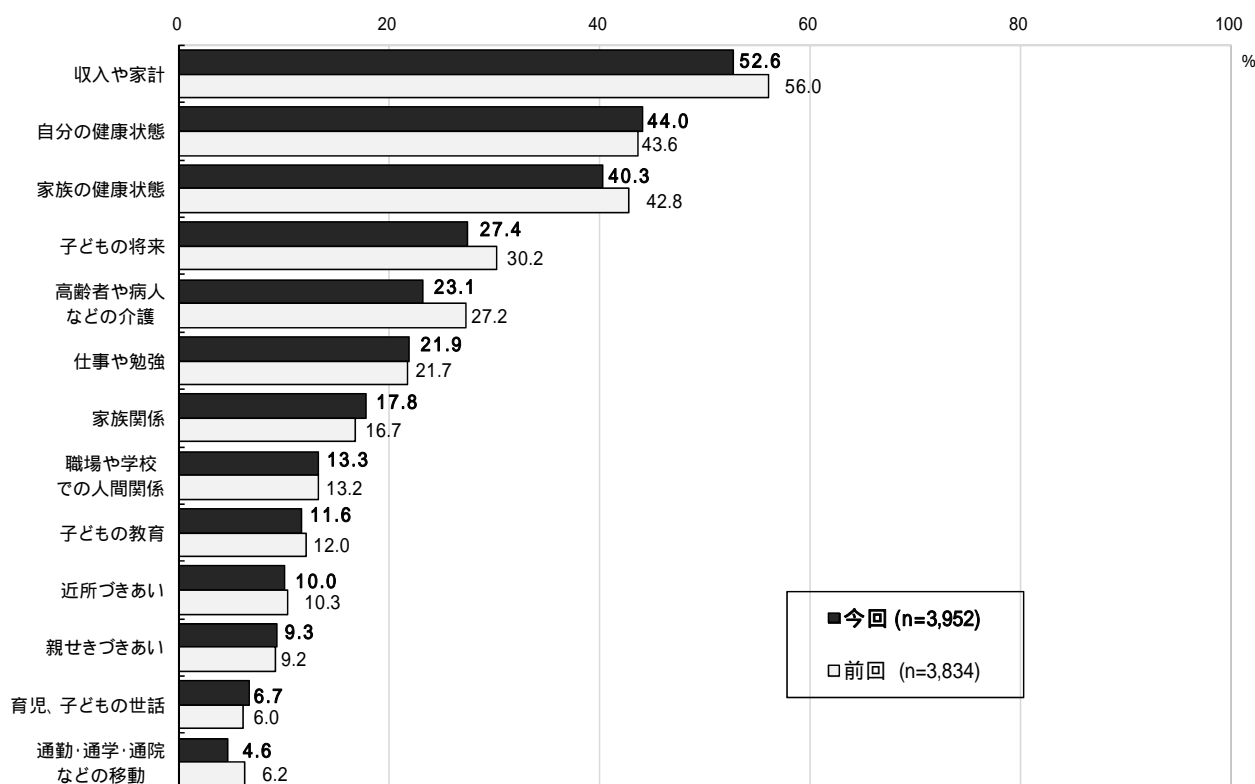
問16-2

➤ 悩みや不安、心配ごとの原因

悩みや不安、心配ごとなど精神面で負担となっていることが「ある」か「どちらかといえばある」と回答した方に悩みや不安、心配ごとなどの原因について質問したところ、「収入や家計」の割合が52.6%で最も高く、次いで「自分の健康状態」(44.0%)、「家族の健康状態」(40.3%)となっています。

前回調査と比較すると、「高齢者や病人などの介護」、「収入や家計」、「子どもの将来」、「家族の健康状態」などの割合が低くなった一方、「家族関係」、「育児、子どもの世話」などの割合が高くなっています。

図表 2-5-17 悩みや不安、心配ごとの原因



図表 2-5-18 悩みや不安、心配ごとの原因(属性項目別、上位3項目)

		1位		2位		3位	
全体		収入や家計	52.6	自分の健康	44.0	家族の健康	40.3
地域	北勢	収入や家計	50.3	自分の健康	43.2	家族の健康	40.1
	伊賀	収入や家計	58.0	家族の健康	43.6	自分の健康	41.5
	中南勢	収入や家計	51.1	自分の健康	45.3	家族の健康	40.5
	伊勢志摩	収入や家計	56.6	自分の健康	44.7	家族の健康	39.0
	東紀州	収入や家計	61.4	自分の健康	46.4	家族の健康	36.6
性別	男性	収入や家計	53.9	自分の健康	45.9	家族の健康	36.8
	女性	収入や家計	51.6	家族の健康	42.8	自分の健康	42.5
年齢	20歳代	仕事や勉強	57.3	収入や家計	55.6	職場・学校の間関係	33.6
	30歳代	収入や家計	64.8	仕事や勉強	36.5	子の教育	30.8
	40歳代	収入や家計	58.7	子の将来	38.8	家族の健康	38.2
	50歳代	収入や家計	56.9	家族の健康	45.8	自分の健康	43.8
	60歳代	自分の健康	53.0	収入や家計	49.2	家族の健康	46.3
	70歳以上	自分の健康	65.5	家族の健康	47.3	収入や家計	34.2
主な職業	農林水産業	収入や家計、家族の健康			50.9	自分の健康	48.2
	自営業・自由業	収入や家計	55.3	自分の健康	41.1	家族の健康	36.4
	正規職員	収入や家計	54.0	仕事や勉強	39.4	自分の健康	36.2
	パート・アルバイト・派遣	収入や家計	65.8	家族の健康	40.5	自分の健康	37.2
	その他の職業	収入や家計	56.4	自分の健康	42.1	家族の健康	35.6
	学生	仕事や勉強	78.8	収入や家計、職場・学校の間関係			40.4
	専業主婦・主夫	家族の健康	49.7	自分の健康	48.1	収入や家計	44.4
	無職	自分の健康	64.2	家族の健康	45.9	収入や家計	41.7
配偶関係	未婚	収入や家計	57.6	仕事や勉強	49.7	自分の健康	37.8
	有配偶	収入や家計	51.9	家族の健康	43.9	自分の健康	43.2
	離別・死別	自分の健康	57.1	収入や家計	52.8	家族の健康	27.4
世帯類型	単独世帯	自分の健康	61.1	収入や家計	51.2	仕事や勉強	22.1
	一世代世帯	自分の健康	50.4	収入や家計	50.3	家族の健康	47.6
	二世帯世帯	収入や家計	55.3	家族の健康	38.9	自分の健康	38.7
	三世帯世帯	収入や家計	50.2	家族の健康	41.8	自分の健康	38.4
世帯収入	～100万円未満	収入や家計	64.1	自分の健康	54.5	家族の健康	25.6
	～200万円未満	収入や家計	67.1	自分の健康	54.1	家族の健康	41.9
	～300万円未満	収入や家計	56.5	自分の健康	52.0	家族の健康	47.3
	～400万円未満	収入や家計	55.9	自分の健康	45.0	家族の健康	43.2
	～500万円未満	収入や家計	54.9	自分の健康	39.9	家族の健康	38.1
	～600万円未満	収入や家計	55.9	家族の健康	38.5	自分の健康	38.0
	～800万円未満	収入や家計	49.0	家族の健康	36.9	自分の健康	35.5
	～1,000万円未満	子の将来	39.8	家族の健康	39.2	収入や家計	38.9
	1,000万円以上	自分の健康	38.9	家族の健康、子の将来		35.5	

その他

最後に このたびのアンケート調査に対するご感想、または三重県政に対するご意見などございましたら、ご自由にお書き下さい。今後の参考にさせていただきます。

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数 5,456 人のうち、1,477 人の方から自由意見が寄せられました。

調査に関する御意見と調査以外のことに関する御意見の 2 つに整理しました。

(1) みえ県民意識調査に関する御意見(256件)

今後できるだけ多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

目的や活用に関すること

- ・ 意識調査を実施することは大切なこと。それを反映させることがもっと大切なこと。
- ・ このアンケート調査は役立つと思うので、今後も続けてほしい。
- ・ アンケート結果の裏にある少数派の意見にも耳を傾けることを願います。
- ・ アンケートをしても無駄。もっと県民のために税金を使ってほしい。
- ・ アンケートだけではなく、現場を訪れて、生の声を聞くことも大切だと思います。

調査票の内容や構成に関すること

- ・ まずは記入する人の年齢や立場から聞いていくのが、答えやすいのではないかな。
- ・ 一万人規模の調査なら、世代別に内容を変えるべきではないですか。
- ・ 年齢を考えたアンケート内容にするべき。若い人向けの設問が多かった。
- ・ 何をもちて“幸せ”とするのか。個人の意識が関係するのでとても難しい。
- ・ マル秘なら、もっと詳しい内容でアンケートをとるべきと思う。

その他(実施方法、分析、公表など)に関すること

- ・ 前にも県の調査票がきました。同じ人に来ないようにしてほしい。
- ・ アンケートに回答させる以上、その結果を報告ください。
- ・ インターネットでも出来るようにしてほしい。
- ・ 本人及び家族の住んでいる地域や取り巻く環境によって回答が変わってくると思うので、地域や環境別に集計を行って欲しい。

(2) 調査以外のことに関する御意見 (延べ 1 , 5 8 5 件)

さまざまな分野に関する御意見もたくさんいただきました。

県政に関する御意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民力ビジョン」における 16 の政策別およびその他に分類した内訳は次の通りです。

「みえ県民力ビジョン」

01. 危機管理	71 件
02. 命を守る	77 件
03. 暮らしを守る	45 件
04. 共生の福祉社会	214 件
05. 環境を守る持続可能な社会	42 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	29 件
07. 教育の充実	72 件
08. 子どもの育ちと子育て	147 件
09. スポーツの推進	11 件
10. 地域との連携	50 件
11. 文化と学び	18 件
12. 農林水産業	27 件
13. 強じんて多様な産業	40 件
14. 雇用の確保	133 件
15. 世界に開かれた三重	100 件
16. 安心と活力を生み出す基盤	158 件

その他(行政全般・知事に対して等) 351 件

(参考) 世帯類型の考え方

前回調査では、今回お尋ねした世帯類型ではなく、同居の家族について質問していますが、今回調査との比較を行うため、同居の家族の回答の組み合わせにより、世帯類型を判断しています。

(例)

回答例 (同居の家族)	世帯類型
配偶者	一世代世帯
配偶者、親	二世代世帯
配偶者、子ども、孫	三世代世帯
孫	その他世帯
親、その他	その他世帯

回答に「その他」が含まれている場合には、「その他世帯」とみなしました。

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数(N)、および回答率(P)によって決定されます。

標本誤差 $E = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100 - P)}{N}}$	E : 標本誤差 N : 回答数(人) P : 回答率(%)
--	--------------------------------------

次表は、上式にNとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は3%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が50%の場合、信頼度95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まること）では、1,111件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±2%では2,500件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,456件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

$$\text{サンプル数 } N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P) \quad (1) \quad 1$$

N：サンプル数 P：回答率（%） E：標本誤差 k：信頼度係数 2

1：一般に人口1万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（1）を使用した。

2：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度95%の場合は1.96であるであるが、近似値として2を用いている。

サンプル数決定の早見表(信頼度95%)

標本誤差 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400